

江南市ごみ処理基本計画
(江南市食品ロス削減推進計画)策定に関する
アンケート調査結果

令和 7 年 3 月
江南市

<目 次>

1. アンケート調査結果	1
1.1 調査の概要	1
1.2 市民アンケート調査結果	2
1.3 事業所アンケート調査結果	61
2. アンケート調査票	85
2.1 家庭系アンケート調査票	85
2.2 事業系アンケート調査票	95

1. アンケート調査結果

1.1 調査の概要

(1) 調査の目的

江南市のごみ処理基本計画(江南市食品ロス削減推進計画)の策定に当たり、計画策定に活用することを目的として、市民・事業所のごみ処理に対する意識の変化や取り組みの実態等を確認するためのアンケート調査を実施しました。

(2) 調査の対象

市 民:市内に居住する 18 歳以上の市民から無作為で抽出した 3,000 人
事業所:市内の事業所等から抽出した 200 事業所

(3) 実施方法及び期間

- ・郵送により配布し、郵送回収及び web 回答受付とした。
- ・令和 6 年 8 月 22 日発送、9 月 24 日回答期限

(4) 回答の状況

回答の状況は、以下のとおりである。

	家庭系			事業系		
配布数	3,000			200		
返送数	郵送	web	合計	郵送	web	合計
	786	480	1,266	56	32	88
有効回答数	785	480	1,265	56	32	88
有効回答率	99.9%	100%	99.9%	100%	100%	100%
回収率	42.1%			44.0%		

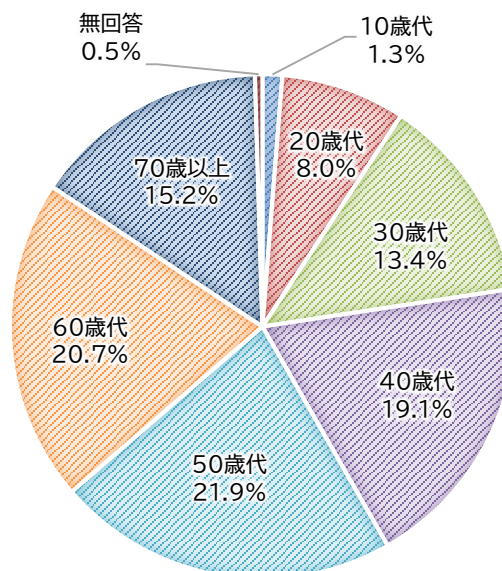
1.2 市民アンケート調査結果

(1) 基礎的事項／回答者の属性について

問1 あなた自身やご家族について、当てはまるものに○をつけてください。

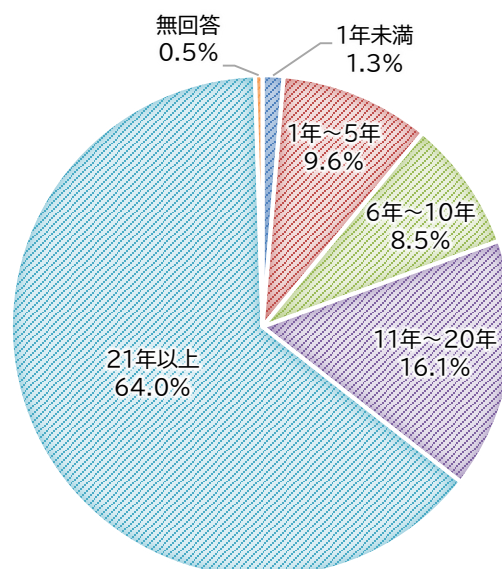
・ 年齢

問1	回答数	比率
1 10歳代	16	1.3%
2 20歳代	101	8.0%
3 30歳代	169	13.4%
4 40歳代	242	19.1%
5 50歳代	277	21.9%
6 60歳代	262	20.7%
7 70歳以上	192	15.2%
無回答	6	0.5%
合計	1,265	100.0%



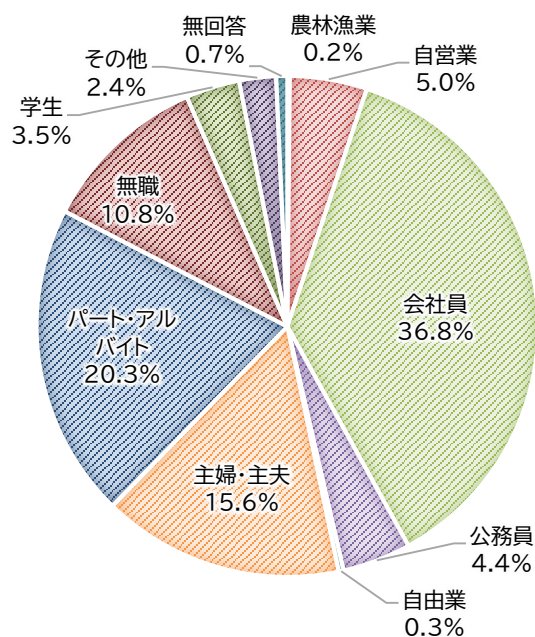
・ 江南市での在住年数

問1	回答数	比率
1 1年未満	17	1.3%
2 1年～5年	122	9.6%
3 6年～10年	107	8.5%
4 11年～20年	204	16.1%
5 21年以上	809	64.0%
無回答	6	0.5%
合計	1,265	100.0%



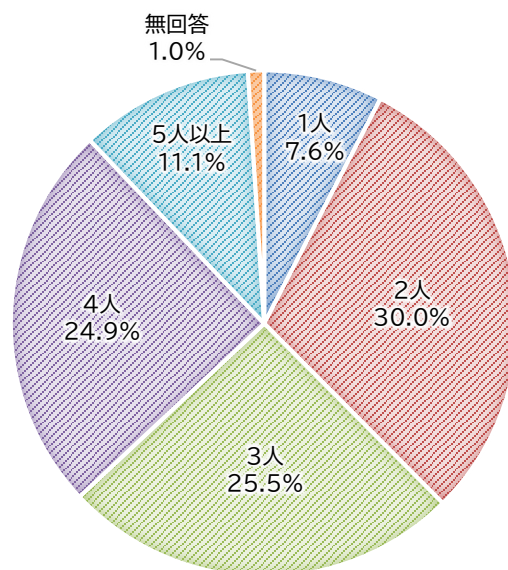
・ あなたの主な職業

問1	回答数	比率
1 農林漁業	2	0.2%
2 自営業	63	5.0%
3 会社員	466	36.8%
4 公務員	56	4.4%
5 自由業	4	0.3%
6 主婦・主夫	197	15.6%
7 パート・アルバイト	257	20.3%
8 無職	137	10.8%
9 学生	44	3.5%
10 その他	30	2.4%
無回答	9	0.7%
合計	1,265	100.0%



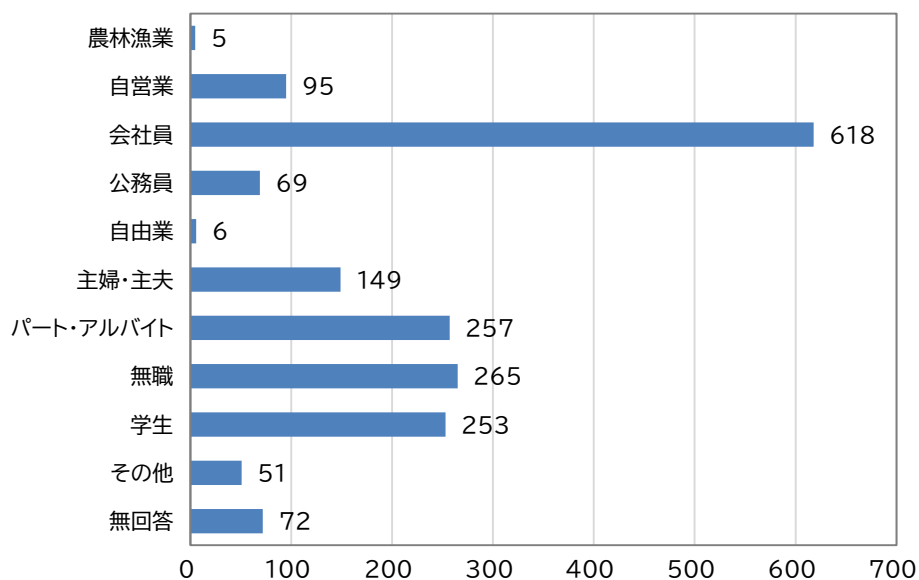
・ 世帯人数

問1	回答数	比率
1 1人	96	7.6%
2 2人	379	30.0%
3 3人	322	25.5%
4 4人	315	24.9%
5 5人以上	140	11.1%
無回答	13	1.0%
合計	1,265	100.0%



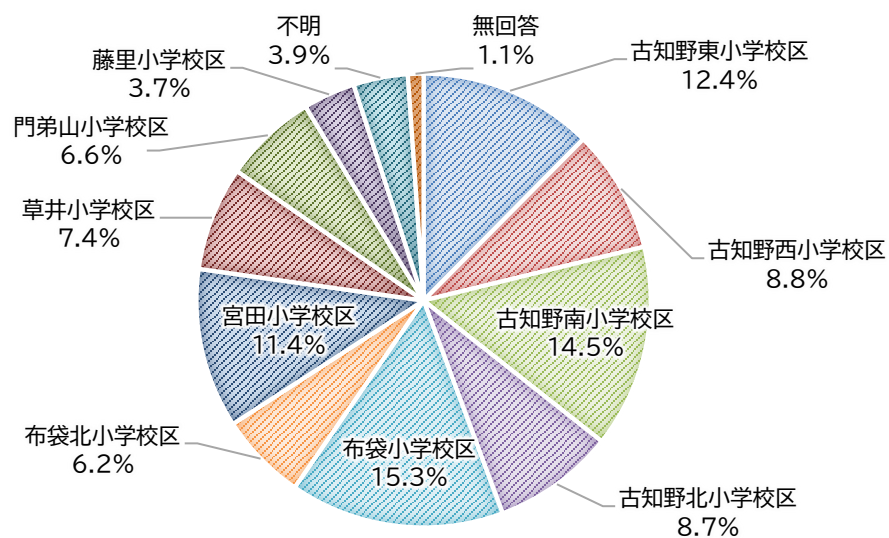
・同居しているご家族の職業

問1	回答数	比率
1 農林漁業	5	0.4%
2 自営業	95	7.5%
3 会社員	618	48.9%
4 公務員	69	5.5%
5 自由業	6	0.5%
6 主婦・主夫	149	11.8%
7 パート・アルバイト	257	20.3%
8 無職	265	20.9%
9 学生	253	20.0%
10 その他	51	4.0%
無回答	72	5.7%
合計	1,840	—



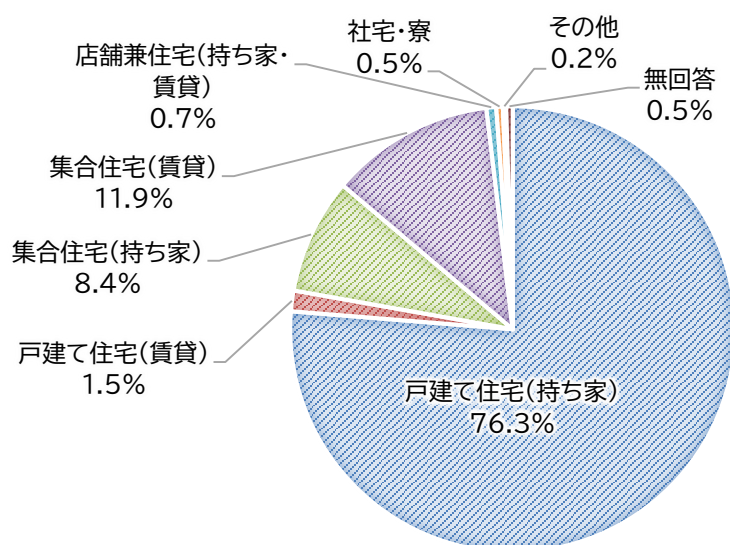
・ お住まいの小学校区

問1	回答数	比率
1 古知野東小学校区	157	12.4%
2 古知野西小学校区	111	8.8%
3 古知野南小学校区	183	14.5%
4 古知野北小学校区	110	8.7%
5 布袋小学校区	193	15.3%
6 布袋北小学校区	79	6.2%
7 宮田小学校区	144	11.4%
8 草井小学校区	94	7.4%
9 門弟山小学校区	84	6.6%
10 藤里小学校区	47	3.7%
11 不明	49	3.9%
無回答	14	1.1%
合計	1,265	100.0%



・ 居住形態

問1	回答数	比率
1 戸建て住宅(持ち家)	965	76.3%
2 戸建て住宅(賃貸)	19	1.5%
3 集合住宅(持ち家)	106	8.4%
4 集合住宅(賃貸)	151	11.9%
5 店舗兼住宅(持ち家・賃貸)	9	0.7%
6 社宅・寮	6	0.5%
7 その他	3	0.2%
無回答	6	0.5%
合計	1,265	100.0%

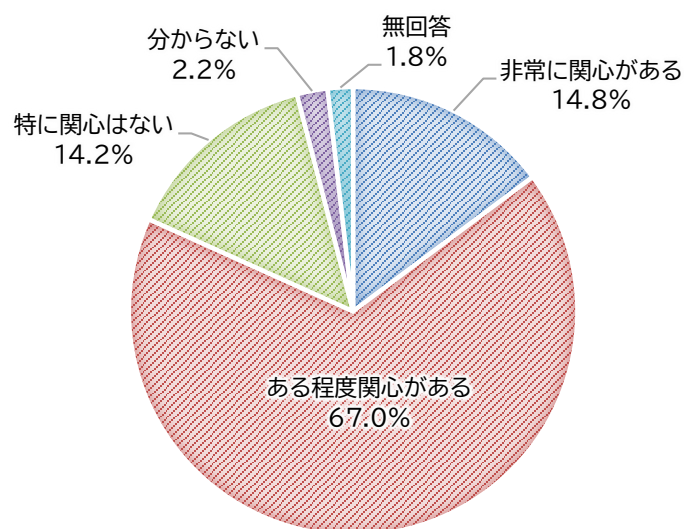


(2) ごみやリサイクルに対する関心や取組みについて

問 2-1 ごみの減量や資源のリサイクルに関心がありますか。【〇は 1 つ】

1.非常に関心がある	2.ある程度関心がある
2.特に関心はない	4.わからない

問2-1	回答数	比率
1 非常に関心がある	187	14.8%
2 ある程度関心がある	847	67.0%
3 特に関心はない	180	14.2%
4 分からない	28	2.2%
無回答	23	1.8%
合計	1,265	100.0%



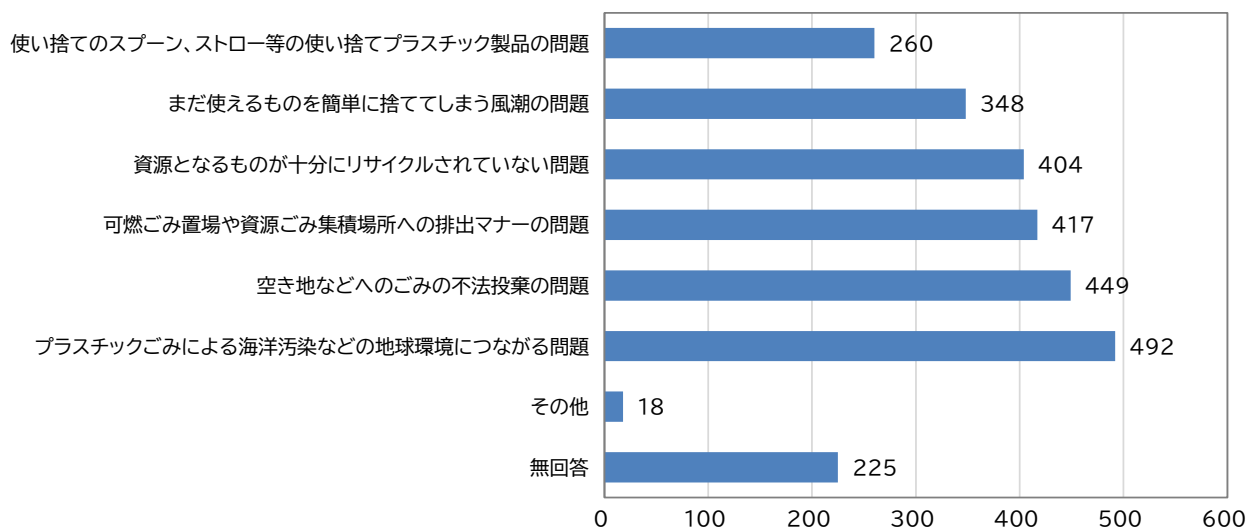
「非常に関心がある」「ある程度関心がある」が合わせて 81.8%となっており、ごみ減量や資源のリサイクルへの関心の高さが伺えます。

問 2-2 関心があると答えた方(全問で 1 又は 2 を選択)は、次のどのような内容に関心がありますか。

【〇は 3 つまで】

1. 使い捨てのスプーン、ストロー等の使い捨てプラスチック製品の問題
2. まだ使えるものを簡単に捨ててしまう風潮の問題
3. 資源となるものが十分にリサイクルされていない問題
4. 可燃ごみ置場や資源ごみ集積場所への排出マナーの問題
5. 空き地などへのごみの不法投棄の問題
6. プラスチックごみによる海洋汚染など地球環境につながる問題
7. その他(具体的に)

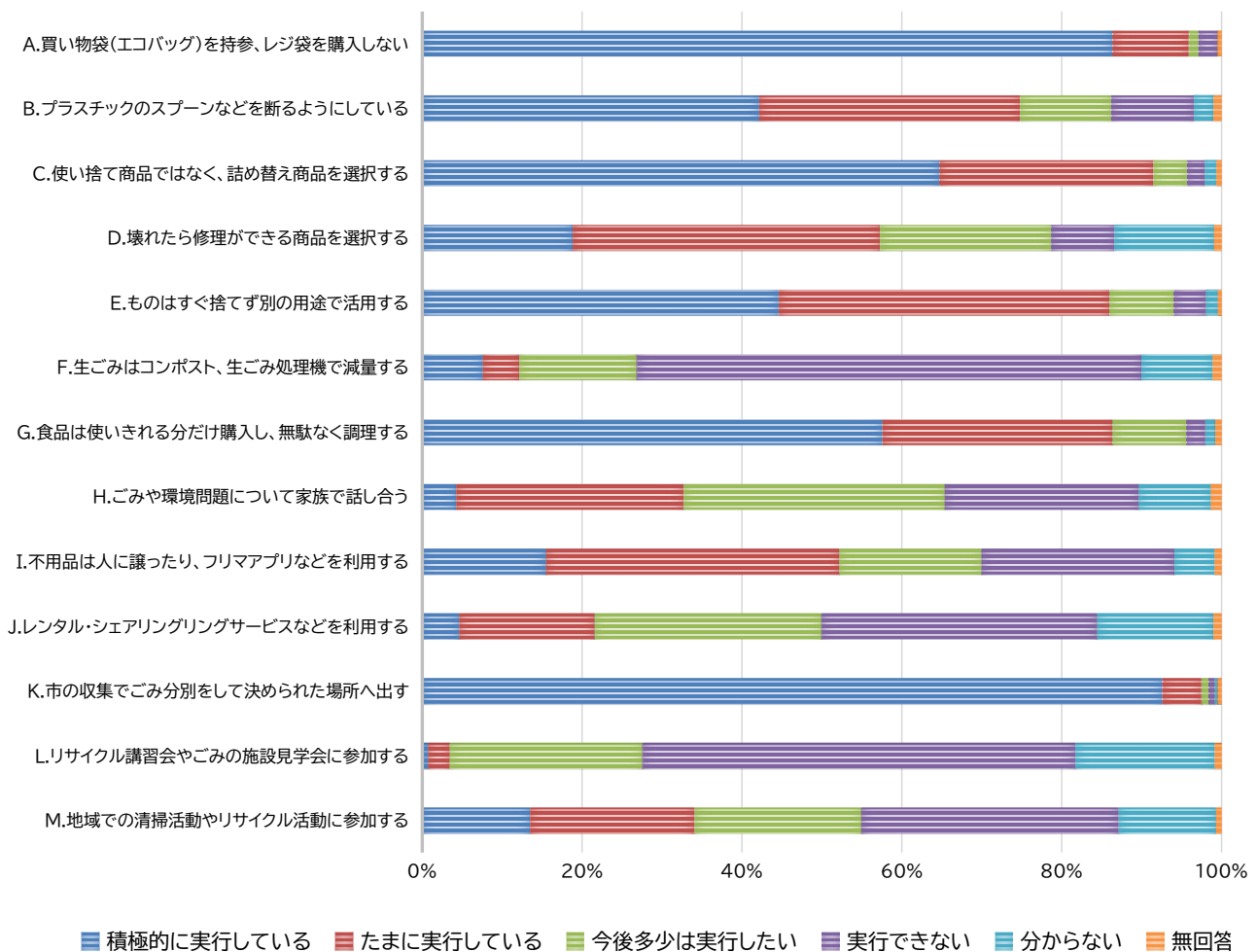
問2-2	回答数	比率
1 使い捨てのスプーン、ストロー等の使い捨てプラスチック製品の問題	260	20.6%
2 まだ使えるものを簡単に捨ててしまう風潮の問題	348	27.5%
3 資源となるものが十分にリサイクルされていない問題	404	31.9%
4 可燃ごみ置場や資源ごみ集積場所への排出マナーの問題	417	33.0%
5 空き地などへのごみの不法投棄の問題	449	35.5%
6 プラスチックごみによる海洋汚染などの地球環境につながる問題	492	38.9%
7 その他	18	1.4%
無回答	225	17.8%
合計	2,613	—



関心のある内容として最も多かったのは、「プラスチックごみによる海洋汚染などの地球環境につながる問題」、次いで「空き地などへのごみの不法投棄の問題」でした。

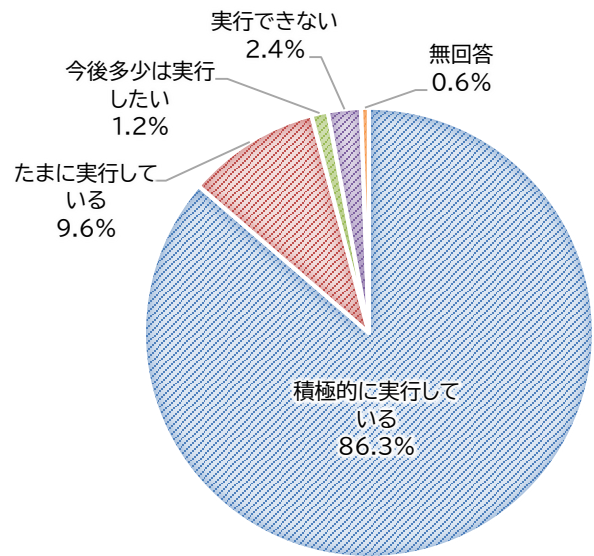
問 2-3 次の A～M に示す暮らしの中でのごみ減量やリサイクルへの取組みについて、あなた(あなたの
ご家族)の現状は【〇は A～M の項目ごとに 1 つ】

	積 極 的 に 実 行 し て い る	た ま に 実 行 し て い る	今 後 多 少 は 実 行 し た い	実 行 で き な い	わ か ら な い
A. 買い物袋(エコバッグ)を持参し、レジ袋を購入しない	1	2	3	4	5
B. コンビニやスーパー等で、プラスチックのスプーン、ストローなどを断るようにしている	1	2	3	4	5
C. 使い捨て商品ではなく、なるべく詰め替え商品を選択する	1	2	3	4	5
D. 壊れたら修理ができる商品を選択する	1	2	3	4	5
E. ものはすぐ捨てず別の用途で活用する(タオルを雑巾にする等)	1	2	3	4	5
F. 生ごみはコンポスト、生ごみ処理機等を用いて減量する	1	2	3	4	5
G. 食品は使いきれ的分だけ購入し、無駄なく調理する	1	2	3	4	5
H. ごみや環境問題について家族で話し合う	1	2	3	4	5
I. 不用品は人に譲ったり、フリマアプリなどを利用して譲渡している	1	2	3	4	5
J. 一時的に使うものは、レンタル・シェアリングサービスなどを利用する	1	2	3	4	5
K. 市の収集でごみを分別して決められた場所へ出す	1	2	3	4	5
L. リサイクル講習会やごみの施設見学会等に参加する	1	2	3	4	5
M. 地域での清掃活動やリサイクル活動に参加する	1	2	3	4	5



問 2-3(A)買い物袋(エコバッグ)を持参し、レジ袋を購入しない

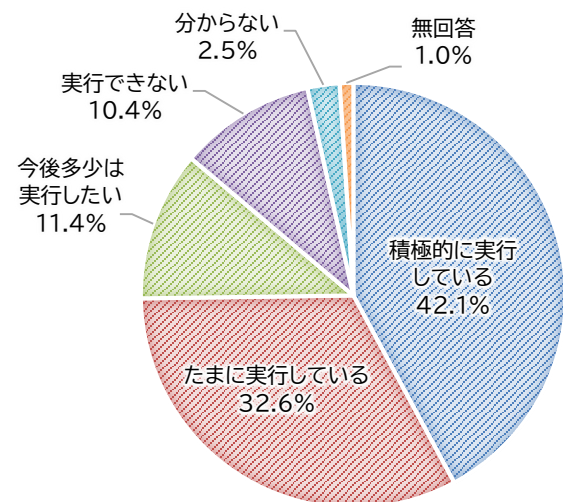
問2-3A	回答数	比率
1 積極的に実行している	1,092	86.3%
2 たまに実行している	121	9.6%
3 今後多少は実行したい	15	1.2%
4 実行できない	30	2.4%
5 分からない	0	0.0%
無回答	7	0.6%
合計	1,265	100.0%



「積極的に実行している」が 86.3%と最も多く、「たまに実行している」の 9.6%と合計すると 95.9%となり、9 割以上の住民が既に実行していることがわかります。

問 2-3(B)コンビニやスーパー等で、プラスチックのスプーン、ストローなどを断るようになっている

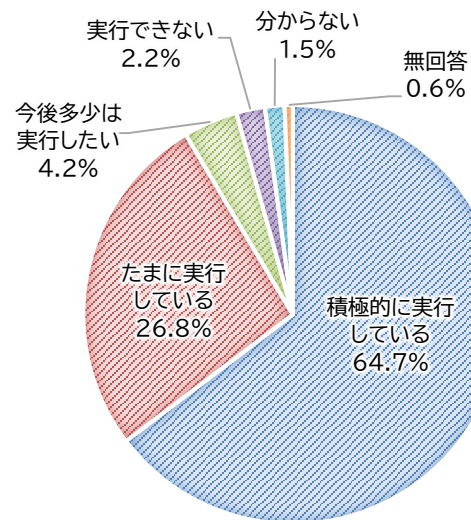
問2-3B	回答数	比率
1 積極的に実行している	533	42.1%
2 たまに実行している	413	32.6%
3 今後多少は実行したい	144	11.4%
4 実行できない	131	10.4%
5 分からない	31	2.5%
無回答	13	1.0%
合計	1,265	100.0%



「積極的に実行している」が最も多く 42.1%、次いで「たまに実行している」が 32.6%で、合わせると 74.7%となり、約 7 割の住民が既に実行していることがわかります。

問 2-3(C)使い捨て商品ではなく、なるべく詰め替え商品を選択する

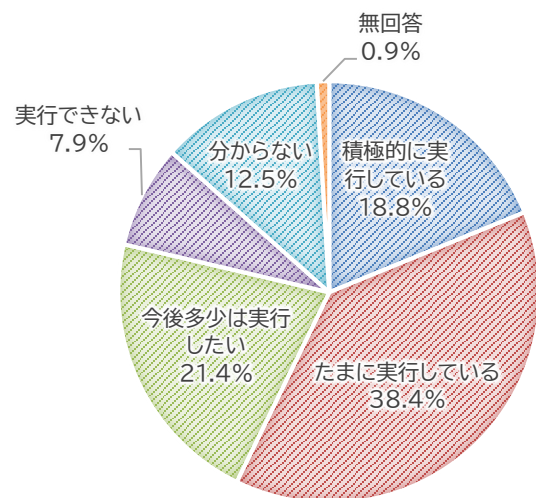
問2-3C	回答数	比率
1 積極的に実行している	818	64.7%
2 たまに実行している	339	26.8%
3 今後多少は実行したい	53	4.2%
4 実行できない	28	2.2%
5 分からない	19	1.5%
無回答	8	0.6%
合計	1,265	100.0%



「積極的に実行している」が最も多く 64.7%、次いで「たまに実行している」が 26.8%で、合わせると 91.5%となり、約 9 割の住民が既に実行していることがわかります。

問 2-3(D)壊れたら修理ができる商品を選択する

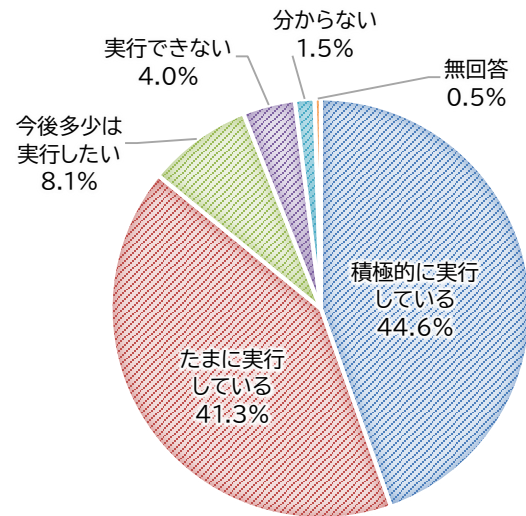
問2-3D	回答数	比率
1 積極的に実行している	238	18.8%
2 たまに実行している	486	38.4%
3 今後多少は実行したい	271	21.4%
4 実行できない	100	7.9%
5 分からない	158	12.5%
無回答	12	0.9%
合計	1,265	100.0%



「積極的に実行している」が 18.8%、「たまに実行している」が 38.4%となっており、壊れたら修理できる商品選択を行っている方は 6 割近くとなっています。「今後多少は実行したい」という方が 21.4%おられることから、修理ができる商品をわかりやすく表示することなど、今後更なる取組みの普及が望まれます。

問 2-3(E)ものはすぐ捨てず別の用途で活用する(タオルを雑巾にする等)

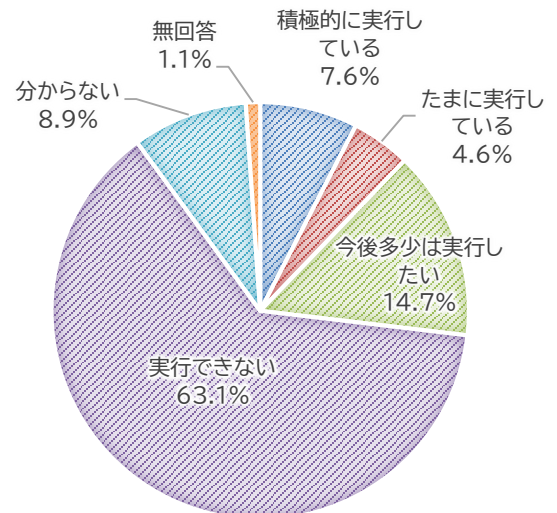
問2-3E	回答数	比率
1 積極的に実行している	564	44.6%
2 たまに実行している	523	41.3%
3 今後多少は実行したい	102	8.1%
4 実行できない	51	4.0%
5 分からない	19	1.5%
無回答	6	0.5%
合計	1,265	100.0%



「積極的に実行している」が最も多く 44.6%、次いで「たまに実行している」が 41.3%で、合わせると 85.9%となり、約 9 割の住民が既に実行していることがわかります。

問 2-3(F)生ごみはコンポスト、生ごみ処理機等を用いて減量する

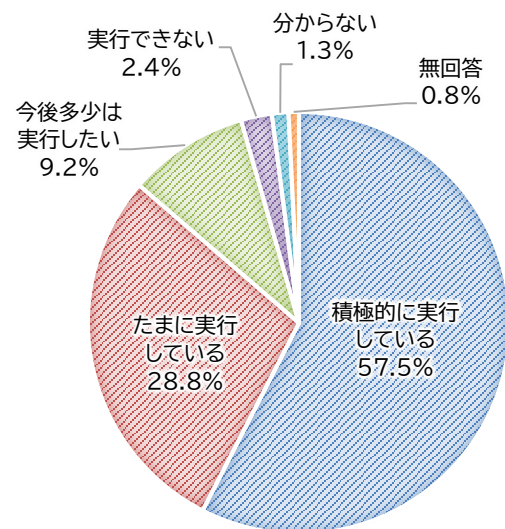
問2-3F	回答数	比率
1 積極的に実行している	96	7.6%
2 たまに実行している	58	4.6%
3 今後多少は実行したい	186	14.7%
4 実行できない	798	63.1%
5 分からない	113	8.9%
無回答	14	1.1%
合計	1,265	100.0%



「実行できない」が最も多く 63.1%を占め約半数となっており、取組みを困難と考えている住民が多いことがわかりました。「積極的に実行している」と「たまに実行している」を合わせても 12.2%と少ないことが伺えます。

問 2-3(G)食品は使いきれ的分だけ購入し、無駄なく調理する

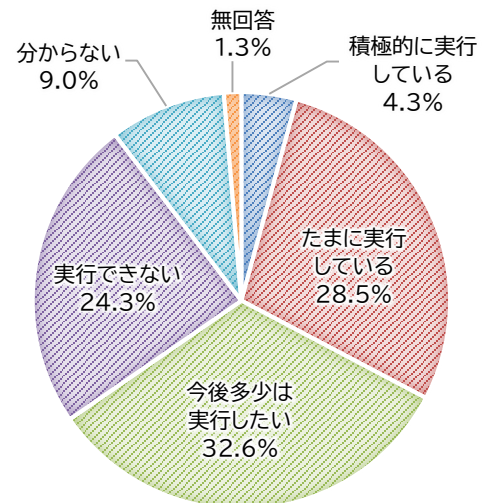
問2-3G	回答数	比率
1 積極的に実行している	728	57.5%
2 たまに実行している	364	28.8%
3 今後多少は実行したい	117	9.2%
4 実行できない	30	2.4%
5 分からない	16	1.3%
無回答	10	0.8%
合計	1,265	100.0%



「積極的に実行している」が最も多く 57.5%、次いで「たまに実行している」の 28.8%と合わせると 86.3%となり、約 9 割の住民が既に実行していることがわかります。

問 2-3(H)ごみや環境問題について家庭で話し合う

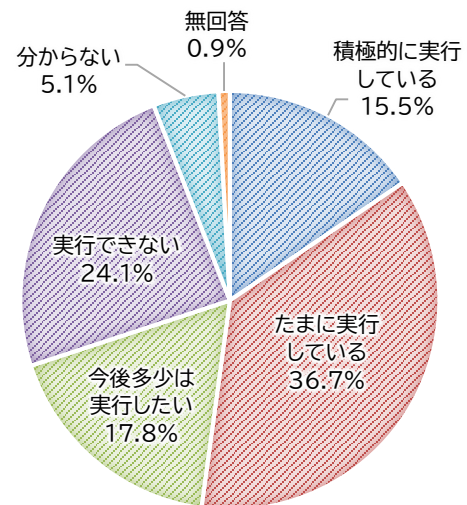
問2-3H	回答数	比率
1 積極的に実行している	54	4.3%
2 たまに実行している	360	28.5%
3 今後多少は実行したい	413	32.6%
4 実行できない	307	24.3%
5 分からない	114	9.0%
無回答	17	1.3%
合計	1,265	100.0%



「今後多少は実行したい」が最も多く 32.6%、次いで「たまに実行している」が 28.5%となり、啓発の機会などがあれば、家族で話し合う機会の増加につながると考えられます。

問 2-3(I)不用品は人に譲ったり、フリマアプリなどを利用して譲渡している

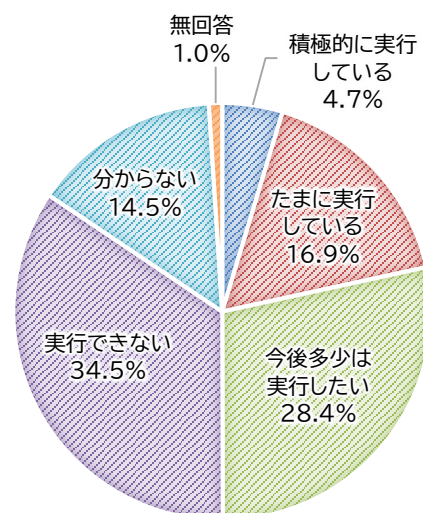
問2-3I	回答数	比率
1 積極的に実行している	196	15.5%
2 たまに実行している	464	36.7%
3 今後多少は実行したい	225	17.8%
4 実行できない	305	24.1%
5 分からない	64	5.1%
無回答	11	0.9%
合計	1,265	100.0%



「積極的に実行している」が 15.5%、「たまに実行している」が 36.7%となっており、すでに取り組まれている住民は 5 割程度となっています。比較的実行のハードルが高いことが伺えます。

問 2-3(J)一時的に使うものは、レンタル・シェアリングサービスなどを利用する

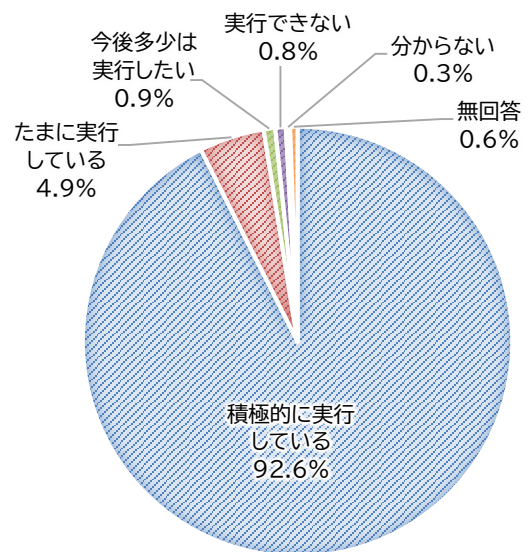
問2-3J	回答数	比率
1 積極的に実行している	59	4.7%
2 たまに実行している	214	16.9%
3 今後多少は実行したい	359	28.4%
4 実行できない	436	34.5%
5 分からない	184	14.5%
無回答	13	1.0%
合計	1,265	100.0%



「積極的に実行している」が 4.7%、「たまに実行している」が 16.9%となっており、すでに取り組まれている住民は 2 割程度となっています。取組みのハードルは高いものの、アプリなどを活用してサービスの充実を図ることや、レンタル・シェアリングしたい物品の調査などを行うことで、今後利用者の増加が期待できると考えられます。

問 2-3(K)市の収集でゴミを分別して決められた場所へ出す

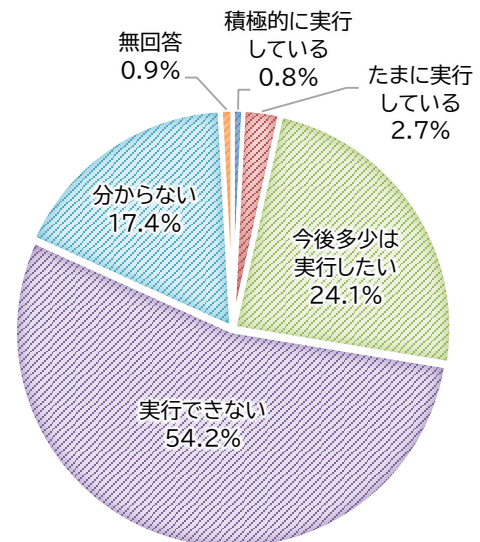
問2-3K	回答数	比率
1 積極的に実行している	1,171	92.6%
2 たまに実行している	62	4.9%
3 今後多少は実行したい	11	0.9%
4 実行できない	10	0.8%
5 分からない	4	0.3%
無回答	7	0.6%
合計	1,265	100.0%



「積極的に実行している」が最も多く 92.6%、「たまに実行している」の 4.9%と合わせると 97.5%となり、9 割以上の住民が既に実行していることがわかります。

問 2-3 (L) リサイクル講習会やゴミの施設見学会等に参加する

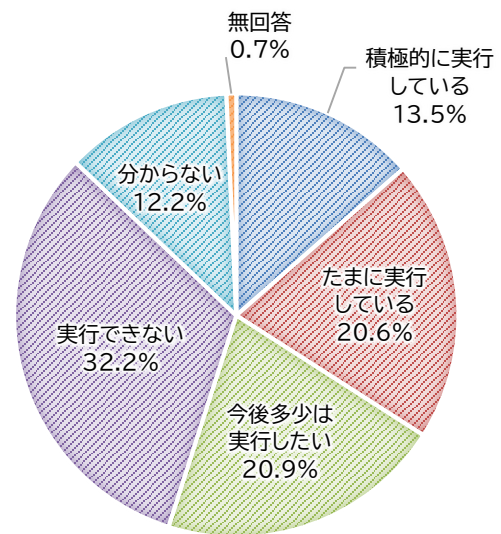
問2-3L	回答数	比率
1 積極的に実行している	10	0.8%
2 たまに実行している	34	2.7%
3 今後多少は実行したい	305	24.1%
4 実行できない	685	54.2%
5 分からない	220	17.4%
無回答	11	0.9%
合計	1,265	100.0%



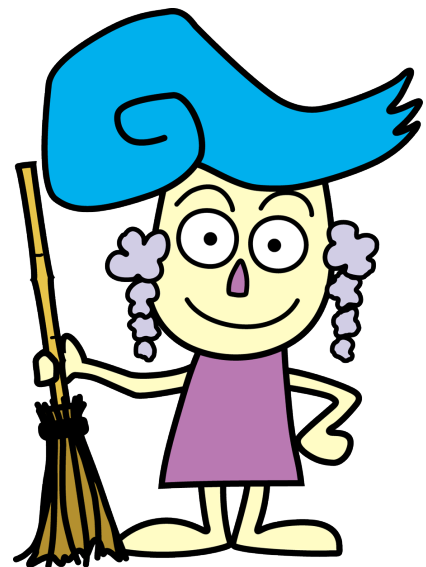
「実行できない」が最も多く 54.1%を占め、次いで「今後多少は実行したい」が 24.1%となっています。一方「積極的に実行している」及び「たまに実行している」は合わせて 3.5%となりました。実行へのハードルは高いものの、講習会、見学会等の機会を充実させることで、さらに参加者数の増加及び情報提供の機会の増加を図ることができると考えられます。

問 2-3(M)地域での清掃活動やリサイクル活動に参加する

問2-3M	回答数	比率
1 積極的に実行している	171	13.5%
2 たまに実行している	260	20.6%
3 今後多少は実行したい	264	20.9%
4 実行できない	407	32.2%
5 分からない	154	12.2%
無回答	9	0.7%
合計	1,265	100.0%



「積極的に実行している」が 13.5%、「たまに実行している」が 20.6%であり、活動に参加している住民は 3 割程度となっています。参加機会の充実や、様々な参加形態をとれるようにすることで、参加者の増加が見込まれると考えられます。



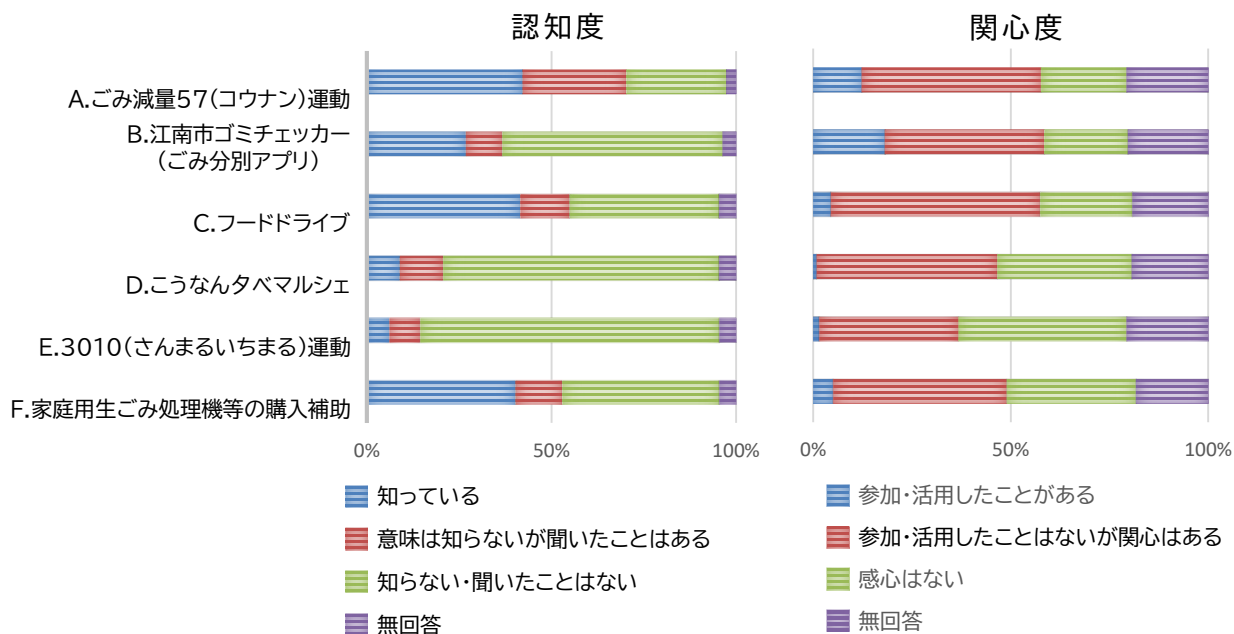
問 2-4 A～Fは、現在江南市において行われている取組み・ツール等です。A～Fに示す項目について、どの程度ご存じですか。また、あなた(あなたのご家族)は感心がありますか。【〇はA～Fの項目ごとに各1つ】

	認知度			関心度		
	知っている	意味は知らないが聞いたことはある	知らない・聞いたことはない	参加・活用したことがある	参加・活用したことはないが関心はある	関心はない
A. ごみ減量57(コウナン)運動	1	2	3	1	2	3
B. 江南市ゴミチェッカー(ごみ分別アプリ)	1	2	3	1	2	3
C. フードドライブ ^{注1)}	1	2	3	1	2	3
D. こうなんタバマルシェ ^{注2)}	1	2	3	1	2	3
E. 3010(さんまるいちまる)運動 ^{注3)}	1	2	3	1	2	3
F. 家庭用生ごみ処理機等の購入補助	1	2	3	1	2	3

注 1)フードドライブ:家庭で眠っている食品を寄付してもらい、支援を必要とする個人、団体に食品を提供すること。

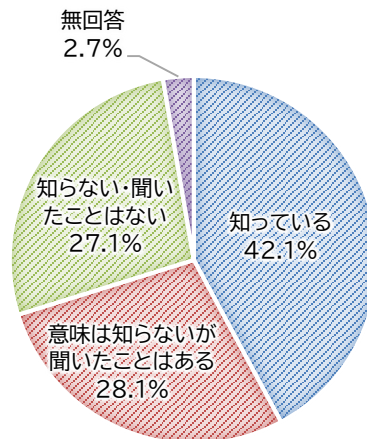
注 2)こうなんタバマルシェ:食品ロスの削減をテーマに、協力店と市民をマッチングする仕組み。

注 3)3010(さんまるいちまる)運動:外食産業における食べ残しを削減するため、会食や宴会時などで乾杯後 30 分と終了前 10 分を離席しないようにする呼びかけ。

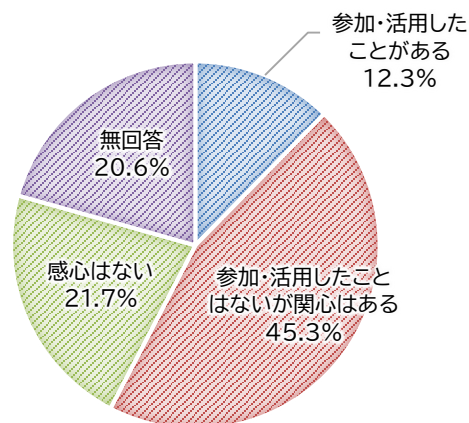


問 2-4(A)ごみ減量57(コウナン)運動

問2-4A 認知度	回答数	比率
1 知っている	533	42.1%
2 意味は知らないが聞いたことはある	355	28.1%
3 知らない・聞いたことはない	343	27.1%
無回答	34	2.7%
合計	1,265	100.0%



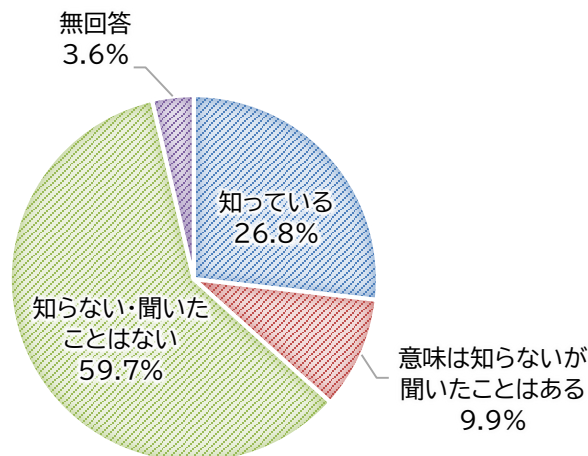
問2-4A 関心度	回答数	比率
1 参加・活用したことがある	156	12.3%
2 参加・活用したことはないが関心はある	573	45.3%
3 感心はない	275	21.7%
無回答	261	20.6%
合計	1,265	100.0%



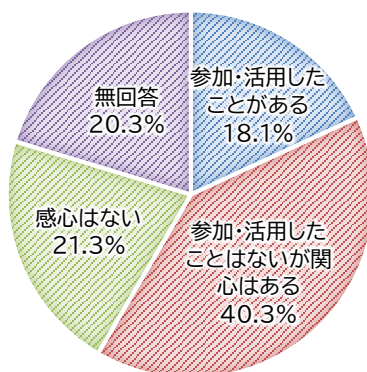
認知度については、「知っている」が 42.1%、「意味は知らないが聞いたことはある」が 28.1%で、合わせて 7 割程度と、比較的高くなっています。関心度については、「参加・活用したことがある」は 12.3%及び、「参加・活用したことはないが関心はある」が 45.3%で合わせて 6 割近くとなっていますが、「知らない・聞いたことがない」が 27.1%であるため、さらなる周知・啓発に取り組むことが必要であると考えられます。

問 2-4(B)江南市ゴミチェッカー(ごみ分別アプリ)

問2-4B 認知度	回答数	比率
1 知っている	339	26.8%
2 意味は知らないが聞いたことはある	125	9.9%
3 知らない・聞いたことはない	755	59.7%
無回答	46	3.6%
合計	1,265	100.0%



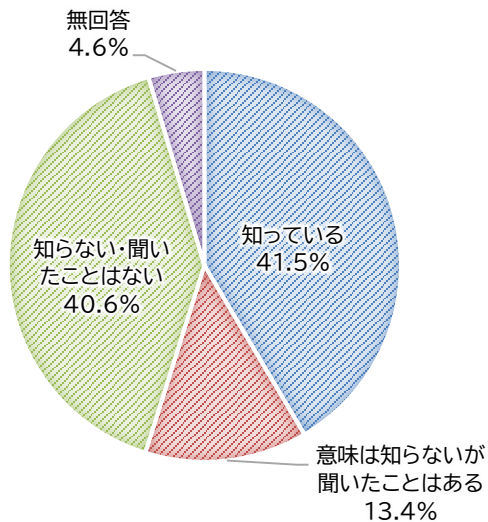
問2-4B 関心度	回答数	比率
1 参加・活用したことがある	229	18.1%
2 参加・活用したことはないが関心はある	510	40.3%
3 感心はない	269	21.3%
無回答	257	20.3%
合計	1,265	100.0%



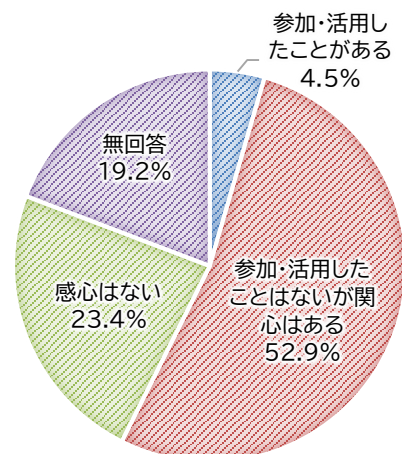
認知度については、「知っている」が 26.8%、「意味は知らないが聞いたことはある」が 9.9%で、合わせて 4 割程度となっており、住民の認知度はあまり高くないようです。関心度については、「参加・活用したことがある」は 18.1%となっています。「参加・活用はしたことはないが関心はある」という層が 40.3%であるため、更なる情報発信による認知度の向上と、活用の促進が課題といえます。

問 2-4(C)フードドライブ

問2-4C 認知度	回答数	比率
1 知っている	525	41.5%
2 意味は知らないが聞いたことはある	169	13.4%
3 知らない・聞いたことはない	513	40.6%
無回答	58	4.6%
合計	1,265	100.0%



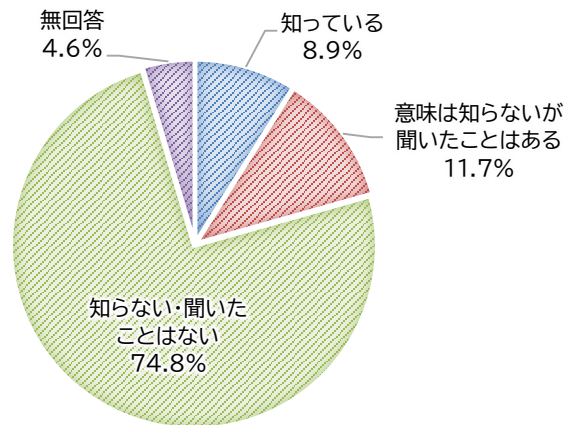
問2-4C 関心度	回答数	比率
1 参加・活用したことがある	57	4.5%
2 参加・活用したことはないが関心はある	669	52.9%
3 感心はない	296	23.4%
無回答	243	19.2%
合計	1,265	100.0%



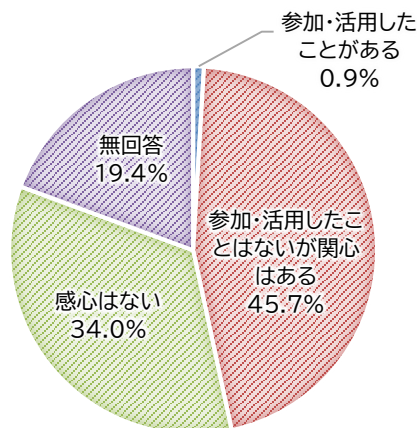
認知度については、「知っている」が 41.5%、「意味は知らないが聞いたことはある」が 13.4%で、合わせて 5 割ほどと、比較的高くなっています。関心度については、「参加・活用したことがある」は 4.5%となっており、認知度は高いものの活動への参加には結びついていない状況が伺えます。「参加・活用したことはないが関心はある」という層が 52.9%であるため、今後そのような住民を活動に取り込むことが課題といえます。

問 2-4(D) こうなんタベマルシェ

問2-4D 認知度	回答数	比率
1 知っている	113	8.9%
2 意味は知らないが聞いたことはある	148	11.7%
3 知らない・聞いたことはない	946	74.8%
無回答	58	4.6%
合計	1,265	100.0%



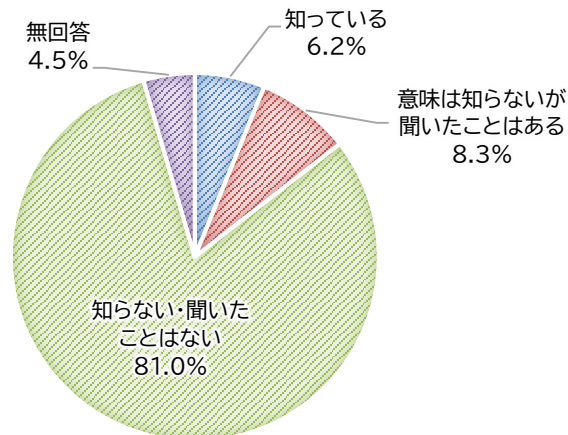
問2-4D 関心度	回答数	比率
1 参加・活用したことがある	12	0.9%
2 参加・活用したことはないが関心はある	578	45.7%
3 感心はない	430	34.0%
無回答	245	19.4%
合計	1,265	100.0%



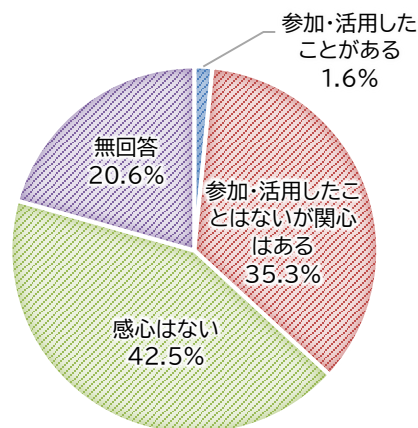
認知度については、「知っている」が 8.9%、「意味は知らないが聞いたことはある」が 11.7%で、合わせて 2 割ほどと、住民の認知度はあまり高くないようです。関心度については、「参加・活用したことがある」は 0.9%と、低い値となっています。「参加・活用したことはないが関心はある」という層が 45.7%であるため、更なる情報発信による認知度の向上と、活用の促進が課題といえます。

問 2-4(E)3010(さんまるいちまる)運動

問2-4E 認知度	回答数	比率
1 知っている	78	6.2%
2 意味は知らないが聞いたことはある	105	8.3%
3 知らない・聞いたことはない	1,025	81.0%
無回答	57	4.5%
合計	1,265	100.0%



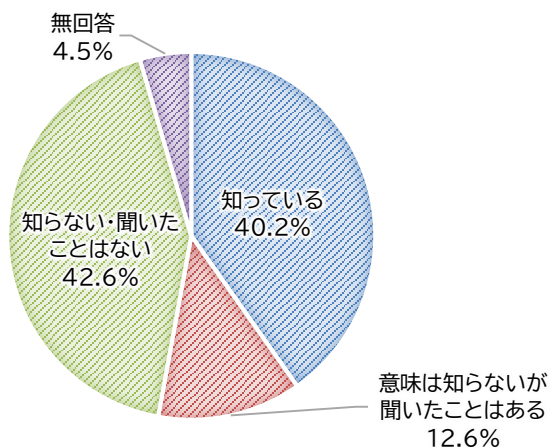
問2-4E 関心度	回答数	比率
1 参加・活用したことがある	20	1.6%
2 参加・活用したことはないが関心はある	446	35.3%
3 感心はない	538	42.5%
無回答	261	20.6%
合計	1,265	100.0%



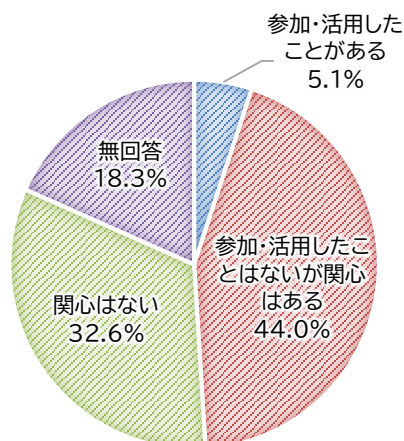
認知度については、「知っている」が 6.2%、「意味は知らないが聞いたことはある」が 8.3%で、合わせて 1 割程度と、住民の認知度はあまり高くないようです。関心度については、「参加・活用したことがある」は 1.6%と、低い値となっています。「参加・活用はしたことはないが関心はある」という層が 35.3%であり、更なる情報発信による認知度の向上と、活用の促進が課題といえます。

問 2-4(F)家庭用生ごみ処理機等の購入補助

問2-4F 認知度	回答数	比率
1 知っている	509	40.2%
2 意味は知らないが聞いたことはある	160	12.6%
3 知らない・聞いたことはない	539	42.6%
無回答	57	4.5%
合計	1,265	100.0%



問2-4F 関心度	回答数	比率
1 参加・活用したことがある	64	5.1%
2 参加・活用したことはないが関心はある	556	44.0%
3 関心はない	413	32.6%
無回答	232	18.3%
合計	1,265	100.0%



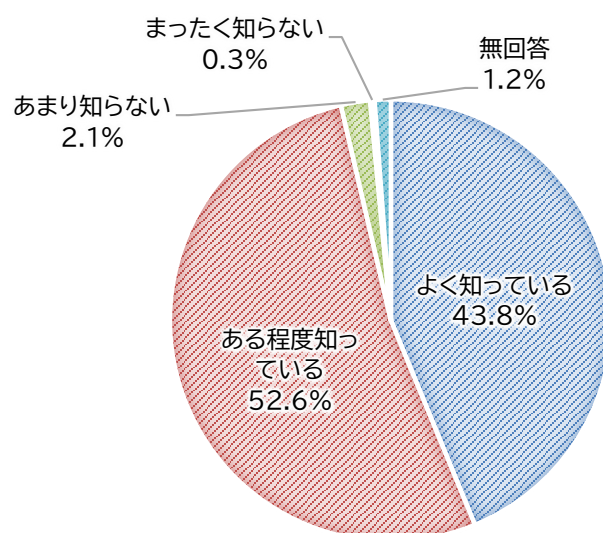
認知度については、「知っている」が 40.2%、「意味は知らないが聞いたことはある」が 12.6%で、合わせて 5 割ほどと、比較的高くなっています。関心度については、「参加・活用したことがある」は 5.1%と、低い値となっています。「参加・活用はしたことはないが関心はある」という層が 44.0%であるため、今度の更なる普及が望まれます。

(3) 食品ロスに関する関心や取組みについて

問 3-1 あなたは「食品ロス」という言葉やその意味を知っていますか。【〇は1つ】

1. よく知っている	2. ある程度知っている
3. あまり知らない	4. まったく知らない

問3-1	回答数	比率
1 よく知っている	554	43.8%
2 ある程度知っている	665	52.6%
3 あまり知らない	27	2.1%
4 まったく知らない	4	0.3%
無回答	15	1.2%
合計	1,265	100.0%

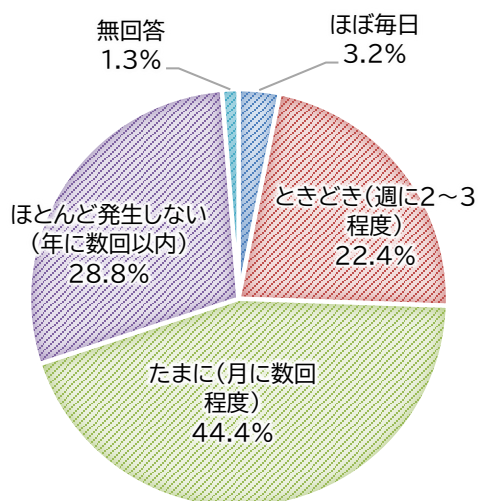


「ある程度知っている」が最も多く 52.6%、次いで「よく知っている」が 43.8%で、合わせて 96.4% となり、9 割以上の住民が「食品ロス」について理解しています。

問 3-2 あなたのご家庭では、どのぐらいの頻度で食品ロスが発生しますか。【〇は1つ】

1. ほぼ毎日発生する
2. ときどき(週に2～3回程度)発生する
3. たまに(月に数回程度)発生する
4. ほとんど発生しない(年に数回以内)

問3-2	回答数	比率
1 ほぼ毎日	40	3.2%
2 ときどき(週に2～3程度)	283	22.4%
3 たまに(月に数回程度)	562	44.4%
4 ほとんど発生しない(年に数回以内)	364	28.8%
無回答	16	1.3%
合計	1,265	100.0%

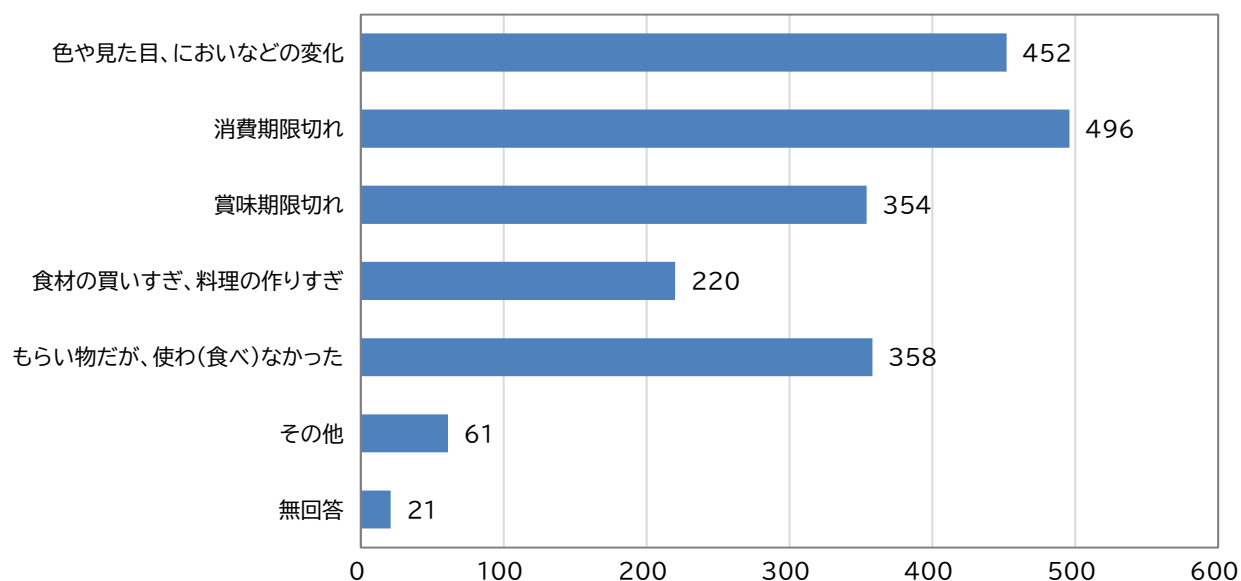


「たまに(月に数回程度)」が最も多く 44.4%で、次いで「ほとんど発生しない(年に数回以内)」が 28.8%となり、食品ロスの発生頻度は少ないことがわかります。

問 3-3 あなたのご家庭では、どのような理由で食品ロスが発生しますか。【〇は2つまで】

1. 色や見た目、においなどの変化
2. 消費期限切れ
3. 賞味期限切れ
4. 食材の買いすぎ、料理の作りすぎ
5. もらい物だが、使わ(食べ)なかった
6. その他()

問3-3	回答数	比率
1 色や見た目、においなどの変化	452	35.7%
2 消費期限切れ	496	39.2%
3 賞味期限切れ	354	28.0%
4 食材の買いすぎ、料理の作りすぎ	220	17.4%
5 もらい物だが、使わ(食べ)なかった	358	28.3%
6 その他	61	4.8%
無回答	21	1.7%
合計	1,962	—

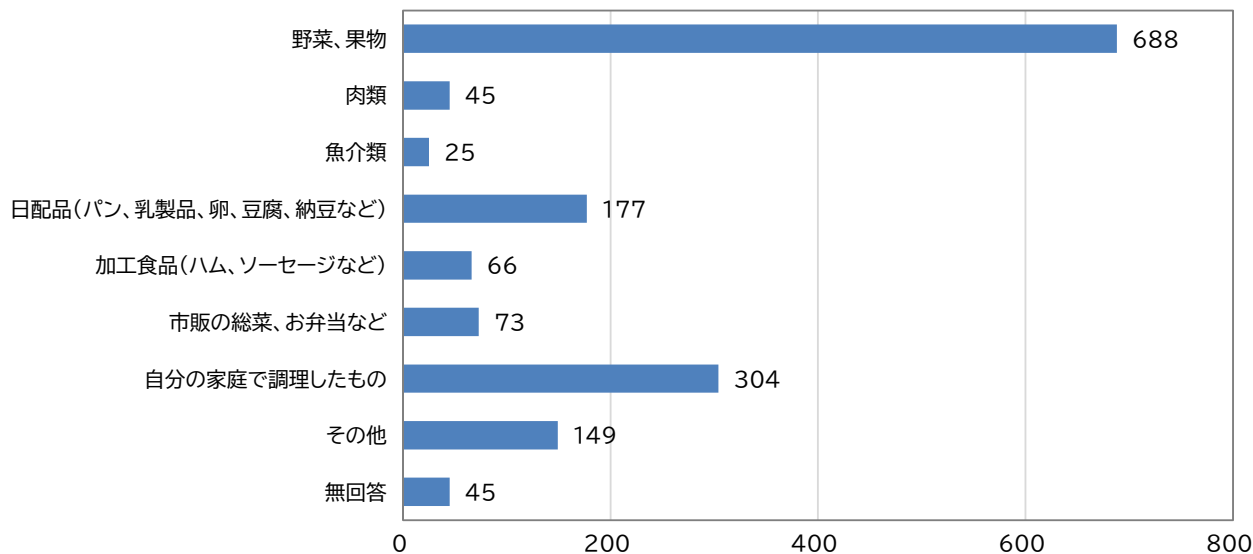


「消費期限切れ」が最も多く 39.2%、次いで「色や見た目、においなどの変化」が 35.7%という結果となっています。

問 3-4 あなたのご家庭で、廃棄することが多い食品はどのような種類ですか。

1. 野菜、果物
2. 肉類
3. 魚介類
4. 日配品(パン、乳製品、卵、豆腐、納豆など)
5. 加工食品(ハム、ソーセージなど)
6. 市販の総菜、お弁当など
7. 自分の家庭で調理したもの
8. その他()

問3-4	回答数	比率
1 野菜、果物	688	54.4%
2 肉類	45	3.6%
3 魚介類	25	2.0%
4 日配品(パン、乳製品、卵、豆腐、納豆など)	177	14.0%
5 加工食品(ハム、ソーセージなど)	66	5.2%
6 市販の総菜、お弁当など	73	5.8%
7 自分の家庭で調理したもの	304	24.0%
8 その他	149	11.8%
無回答	45	3.6%
合計	1,572	—

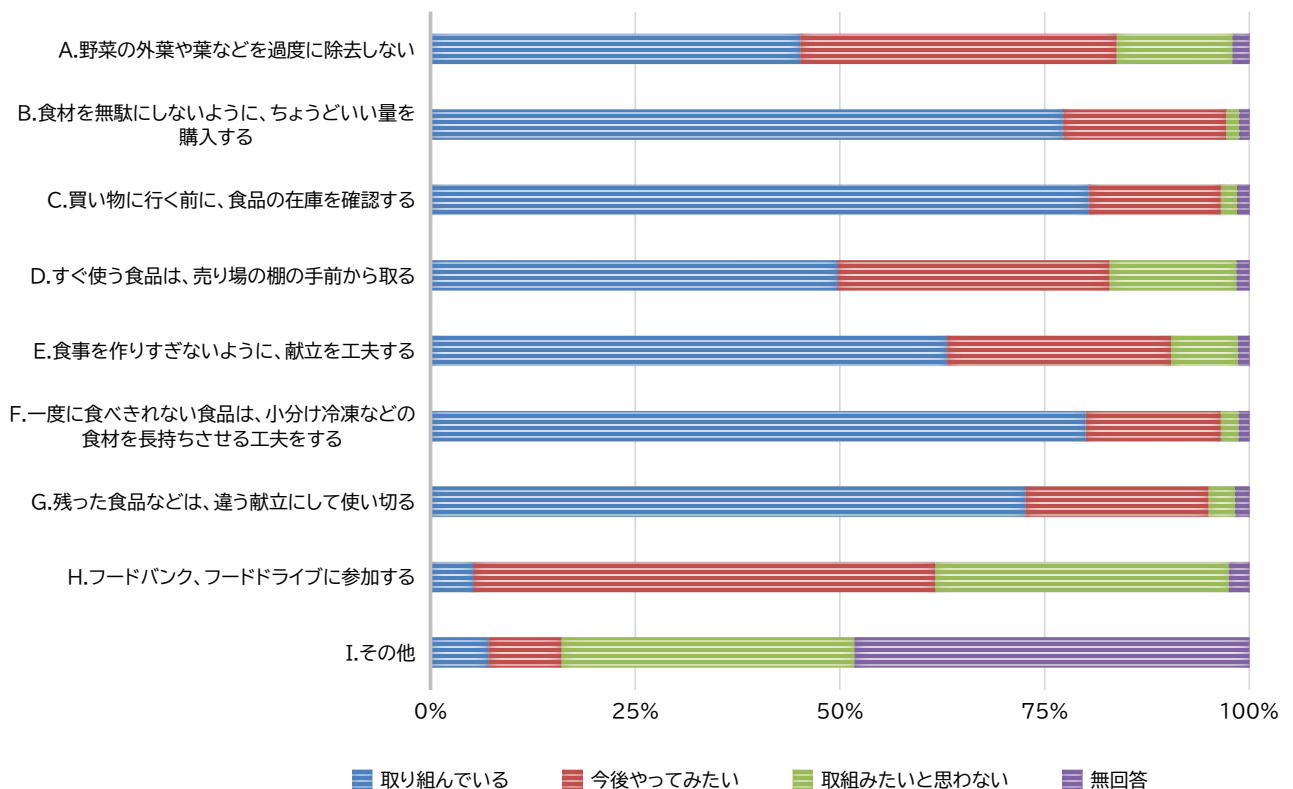


「果物、野菜」が 54.4%と最も多く、次いで「自分の家庭で調理したもの」が 24.0%という結果となっています。加工食品などの消費期限が長いもの、肉や魚といった冷凍保存ができるものは廃棄が少ない傾向がみられます。

問 3-5 あなたのご家庭で、食品ロスを減らすために、行っていることはありますか。

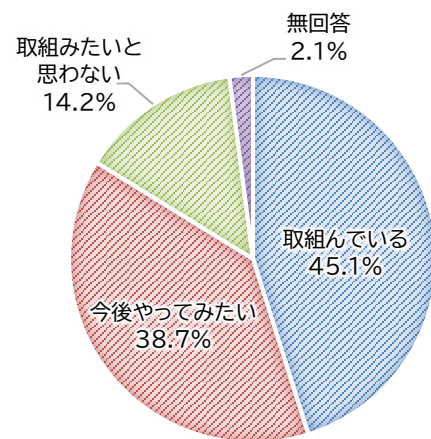
【〇はA～Iの項目ごとに1つ】

	取り組んでいる	今後やってみたい	取組みたいと思わない
A. 野菜の外葉や皮などを過度に除去しない	1	2	3
B. 食材を無駄にしないように、ちょうどいい量を購入する	1	2	3
C. 買い物に行く前に、食品の在庫を確認する	1	2	3
D. すぐ使う食品は、売り場の棚の手前から取る	1	2	3
E. 食事を作りすぎないように、献立を工夫する	1	2	3
F. 一度に食べ切れない食品は、小分け冷凍などの食材を長持ちさせる工夫をする	1	2	3
G. 残った食品などは、違う献立にして使い切る	1	2	3
H. フードバンク、フードドライブ(家庭で食べきれない食品を持ち寄り、支援を必要とする福祉施設や団体などに寄付する活動)に参加する	1	2	3
I. その他(具体的に)	1	2	3



問 3-5(A)野菜の外葉や皮などを過度に除去しない

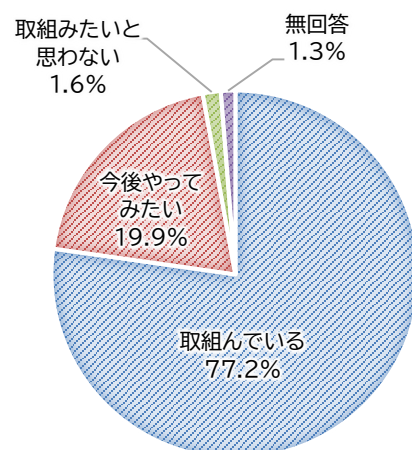
問3-5A	回答数	比率
1 取り組んでいる	571	45.1%
2 今後やってみたい	489	38.7%
3 取り組みたいと思わない	179	14.2%
無回答	26	2.1%
合計	1,265	100.0%



「取り組んでいる」が 45.1%、「今後やってみたい」が 38.7%であり、半数程度が現在既に取り組まれているとともに、現在取り組まれていない住民の方も、活動に前向きであることが伺えます。

問 3-5(B)食材を無駄にしないように、ちょうどいい量を購入する

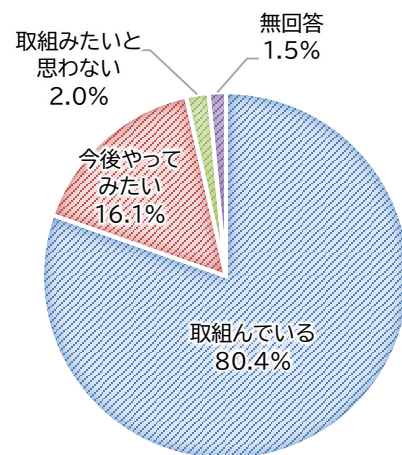
問3-5B	回答数	比率
1 取り組んでいる	977	77.2%
2 今後やってみたい	252	19.9%
3 取り組みたいと思わない	20	1.6%
無回答	16	1.3%
合計	1,265	100.0%



「取り組んでいる」が最も多く 77.2%と、約 8 割の住民が既に実行していることがわかります。

問 3-5(C)買い物に行く前に、食品の在庫を確認する

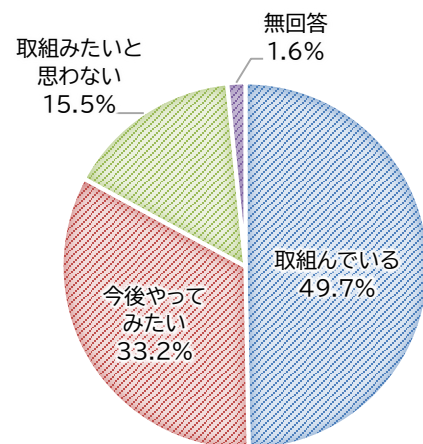
問3-5C	回答数	比率
1 取組んでいる	1,017	80.4%
2 今後やってみたい	204	16.1%
3 取組みたいと思わない	25	2.0%
無回答	19	1.5%
合計	1,265	100.0%



「取組んでいる」が最も多く 80.4%と、約 8 割の住民が既に実行していることがわかります。

問 3-5(D)すぐ使う食品は、売り場の棚の手前から取る

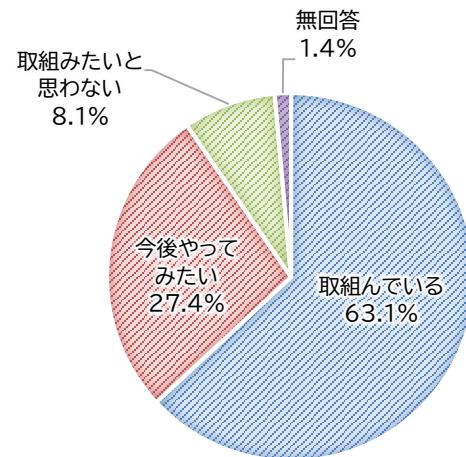
問3-5D	回答数	比率
1 取組んでいる	629	49.7%
2 今後やってみたい	420	33.2%
3 取組みたいと思わない	196	15.5%
無回答	20	1.6%
合計	1,265	100.0%



「取組んでいる」が 49.7%、「今後やってみたい」が 33.2%であり、半数程度が現在既に取り組まれているとともに、現在取り組まれていない住民の方も、活動に前向きであることが伺えます。

問 3-5(E)食事を作りすぎないように、献立を工夫する

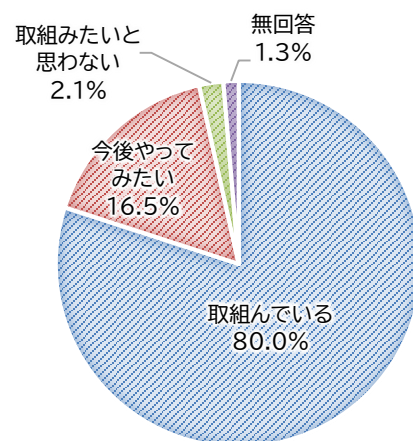
問3-5E	回答数	比率
1 取組んでいる	798	63.1%
2 今後やってみたい	346	27.4%
3 取組みたいと思わない	103	8.1%
無回答	18	1.4%
合計	1,265	100.0%



「取組んでいる」が最も多く 63.1%と、約 6 割の住民が既に実行していることがわかります。

問 3-5(F)一度に食べ切れない食品は、小分け冷凍などの食材を長持ちさせる工夫をする

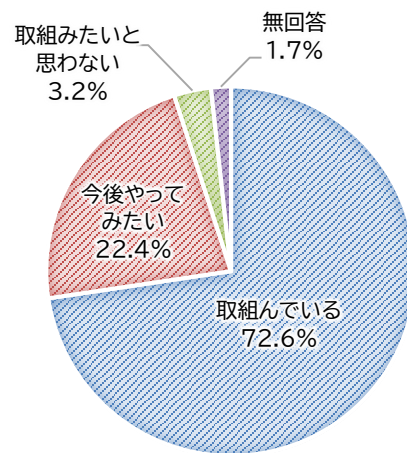
問3-5F	回答数	比率
1 取組んでいる	1,012	80.0%
2 今後やってみたい	209	16.5%
3 取組みたいと思わない	27	2.1%
無回答	17	1.3%
合計	1,265	100.0%



「取組んでいる」が最も多く 80.0%と、8 割の住民が既に実行していることがわかります。

問 3-5(G)残った食品などは、違う献立にして使い切る

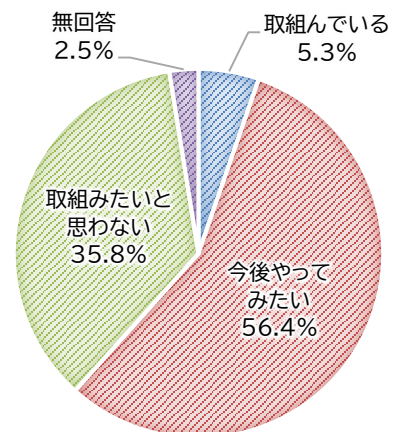
問3-5G	回答数	比率
1 取組んでいる	919	72.6%
2 今後やってみたい	283	22.4%
3 取組みたいと思わない	41	3.2%
無回答	22	1.7%
合計	1,265	100.0%



「取組んでいる」が最も多く 72.6%と、約 7 割の住民が既に実行していることがわかります。

問 3-5(H)フードバンク、フードドライブ(家庭で食べきれない食品を持ち寄り、支援を必要とする福祉施設や団体などに寄付する活動)に参加する

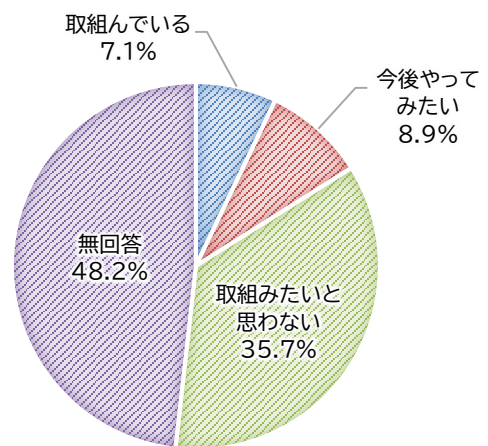
問3-5H	回答数	比率
1 取組んでいる	67	5.3%
2 今後やってみたい	713	56.4%
3 取組みたいと思わない	453	35.8%
無回答	32	2.5%
合計	1,265	100.0%



「今後やってみたい」が 56.4%と参加意欲が高いことが伺えます。参加機会の充実により、参加者の増加が見込まれると考えられます。

問 3-5(I)その他(具体的に)

問3-5I	回答数	比率
1 取組んでいる	90	7.1%
2 今後やってみたい	113	8.9%
3 取組みたいと思わない	452	35.7%
無回答	610	48.2%
合計	1,265	100.0%



「冷蔵庫に入れる時も賞味期限が見える様に入れている」「近所におすそ分けをする」「計画的に食材を使う」「ミールキットを購入する」「残った食材は違う献立にして使い切る」などのフードロス削減に関する意見がありました。また、「子ども食堂などの寄付先があれば、食材を提供したい」という、今後の取組みに関する意見もありました。



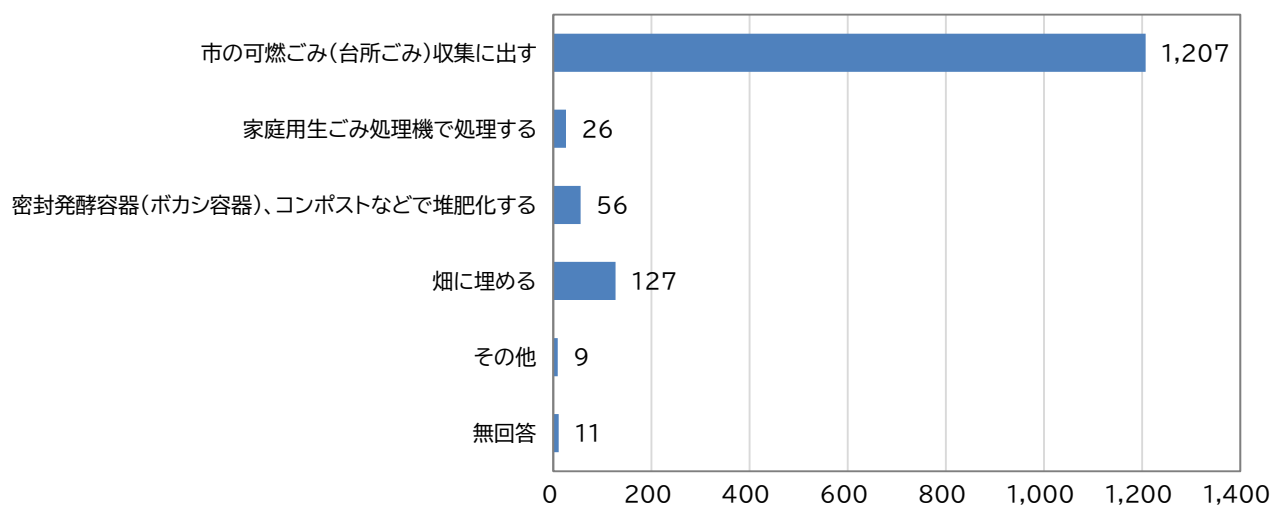
(4) ごみや資源の処分方法について

問 4-1 あなたの家庭では、生ごみ(A:料理くず、食べ残し等)はどのように処分していますか。

【〇は2つまで】

1. 市の可燃ごみ(台所ごみ)収集に出す
2. 家庭用生ごみ処理機で処理する
3. 密封発酵容器(ボカシ容器)、コンポストなどで堆肥化する
4. 畑に埋める
5. その他(具体的に)

問4-1	回答数	比率
1 市の可燃ごみ(台所ごみ)収集に出す	1,207	95.4%
2 家庭用生ごみ処理機で処理する	26	2.1%
3 密封発酵容器(ボカシ容器)、コンポストなどで堆肥化する	56	4.4%
4 畑に埋める	127	10.0%
5 その他	9	0.7%
無回答	11	0.9%
合計	1,436	—

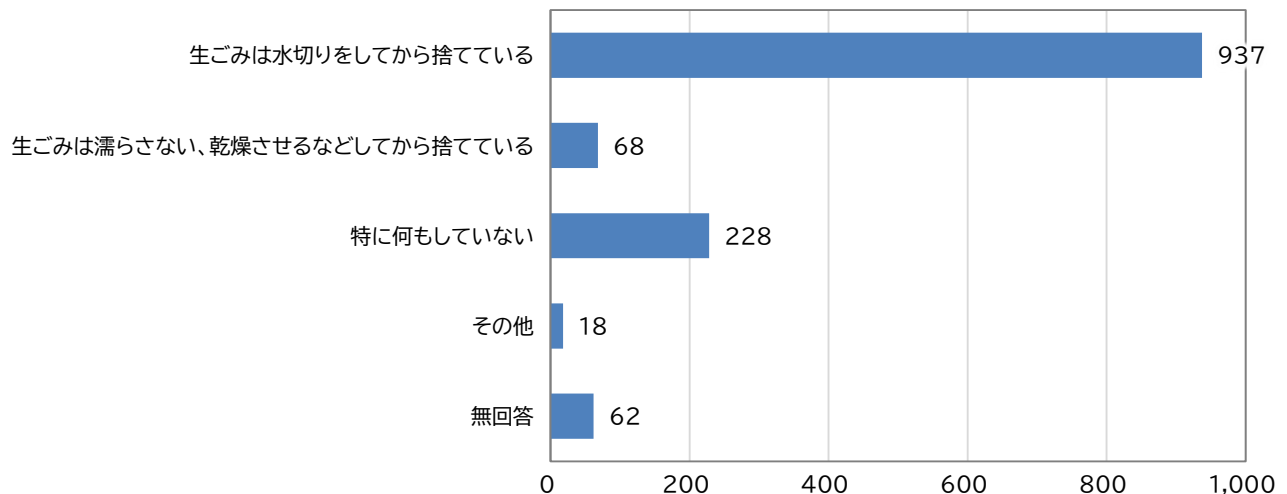


「市の可燃ごみ(台所ごみ)収集に出す」が最も多く、1,207 件(95.4%)となり、次いで「畑に埋める」が 127 件(10.0%)となった。コンポストや家庭用生ごみ処理機などの利用率は低く、今後の更なる普及が望まれます。

問 4-2 前問で1(可燃ごみ収集に出す)と回答された方に伺います。生ごみを減らすために、行っていることはありますか。

1. 生ごみは水切りをしてから捨てている
2. 生ごみは濡らさない、乾燥させるなどしてから捨てている
3. 特に何もしていない
4. その他(具体的に)

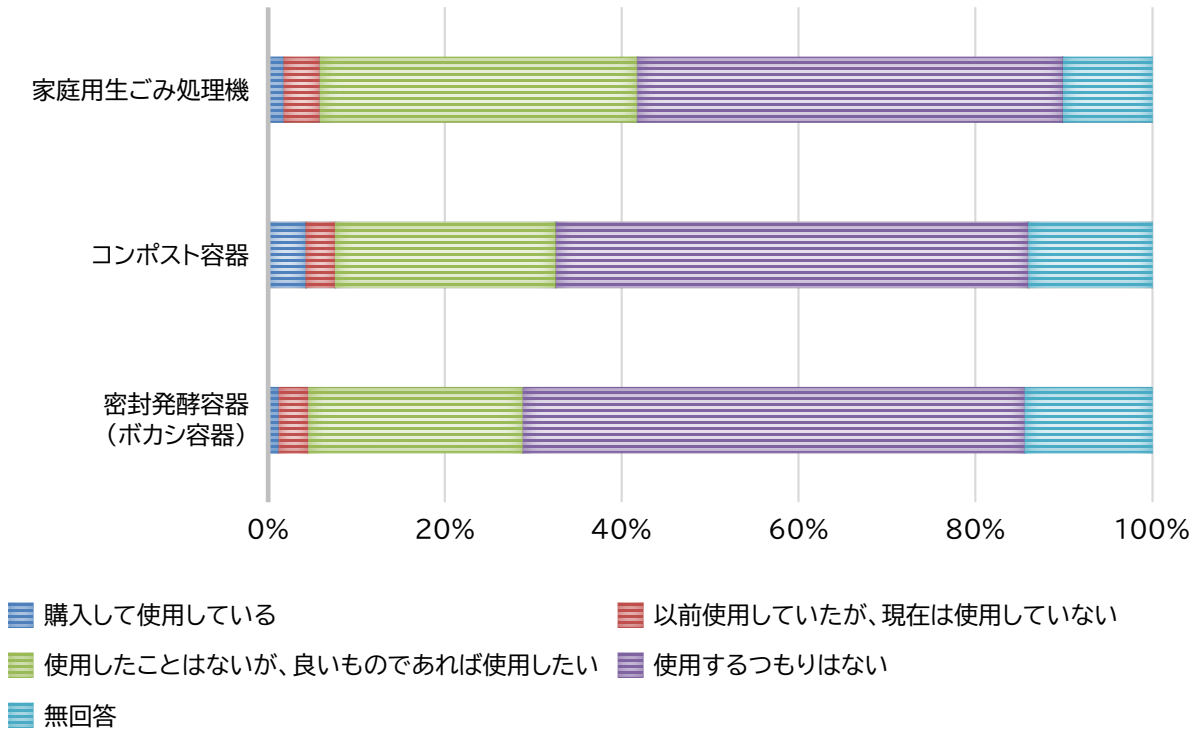
問4-2	回答数	比率
1 生ごみは水切りをしてから捨てている	937	74.1%
2 生ごみは濡らさない、乾燥させるなどしてから捨てている	68	5.4%
3 特に何もしていない	228	18.0%
4 その他	18	1.4%
無回答	62	4.9%
合計	1,313	—



「生ごみは水切りをしてから捨てている」が 937 件(74.1%)と、多くの方が取り組まれていました。「その他」の取組みとして、食材の皮はなるべく薄く剥く等の意見がありました。

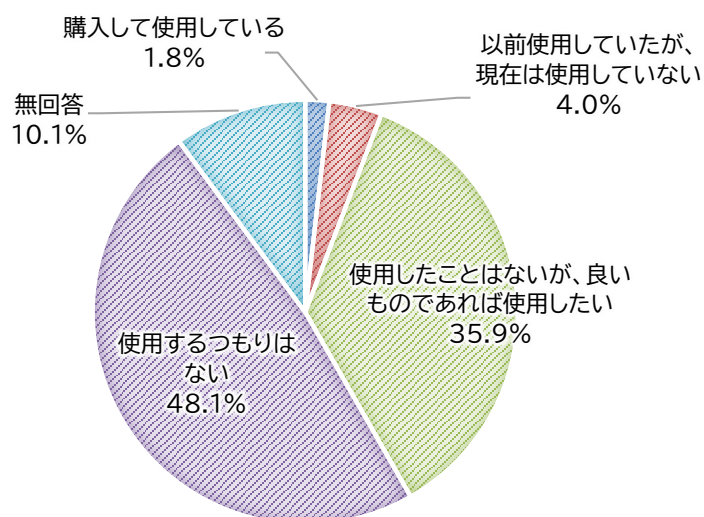
問 4-3 あなたの家庭では、次の家庭用生ごみ処理機器を用いて、生ごみの減量化・堆肥化をしていますか。【機器ごとに○は1つ】

		理機 家庭用生ごみ処	コン ポスト容 器	密封発酵容器 (ボカシ容器)
使用 状況	購入して使用している	1	1	1
	以前使用していたが、現在は使用していない	2	2	2
	使用したことはないが、良いものであれば使用したい	3	3	3
	使用するつもりはない	4	4	4

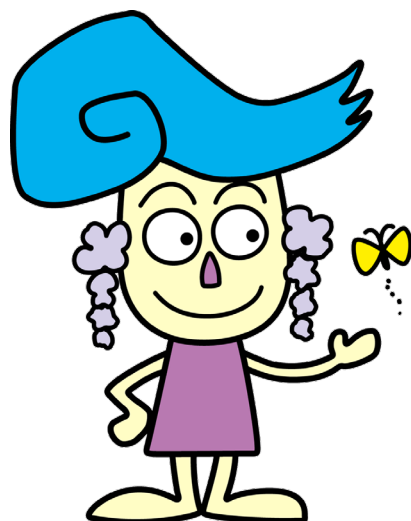


・ 家庭用生ごみ処理機

問4-3 家庭用生ごみ処理機	回答数	比率
1 購入して使用している	23	1.8%
2 以前使用していたが、現在は使用していない	51	4.0%
3 使用したことはないが、良いものであれば使用したい	454	35.9%
4 使用するつもりはない	609	48.1%
無回答	128	10.1%
合計	1,265	100.0%

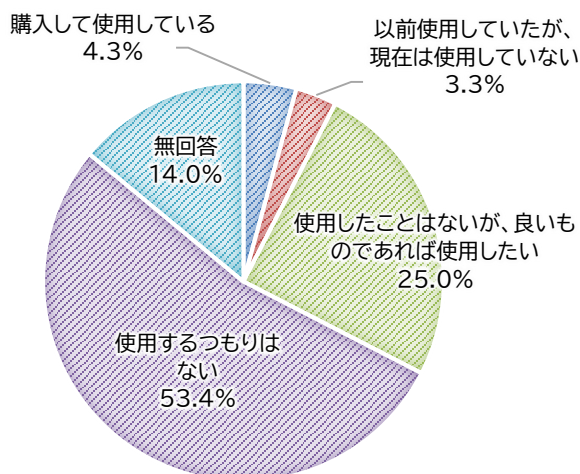


「購入して使用している」が23件(1.8%)と低い値となっており、「以前使用していたが、現在は使用していない」が51件(4.0%)と現在使用している数値を上回っていることから、家庭用生ごみ処理機の使用に、課題や改善すべき点があることが伺えます。



・コンポスト容器

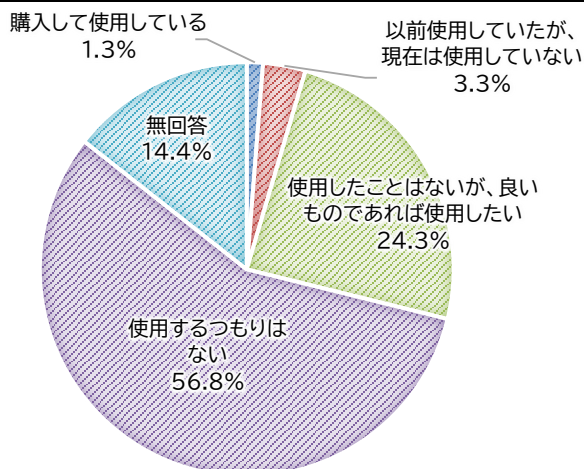
問4-3 コンポスト容器	回答数	比率
1 購入して使用している	54	4.3%
2 以前使用していたが、現在は使用していない	42	3.3%
3 使用したことはないが、良いものであれば使用したい	316	25.0%
4 使用するつもりはない	676	53.4%
無回答	177	14.0%
合計	1,265	100.0%



「購入して使用している」が 54 件(4.3%)と低い値となっており、コンポストの利用率は低く、今後の更なる普及が望まれます。

・密封発酵容器(ボカシ容器)

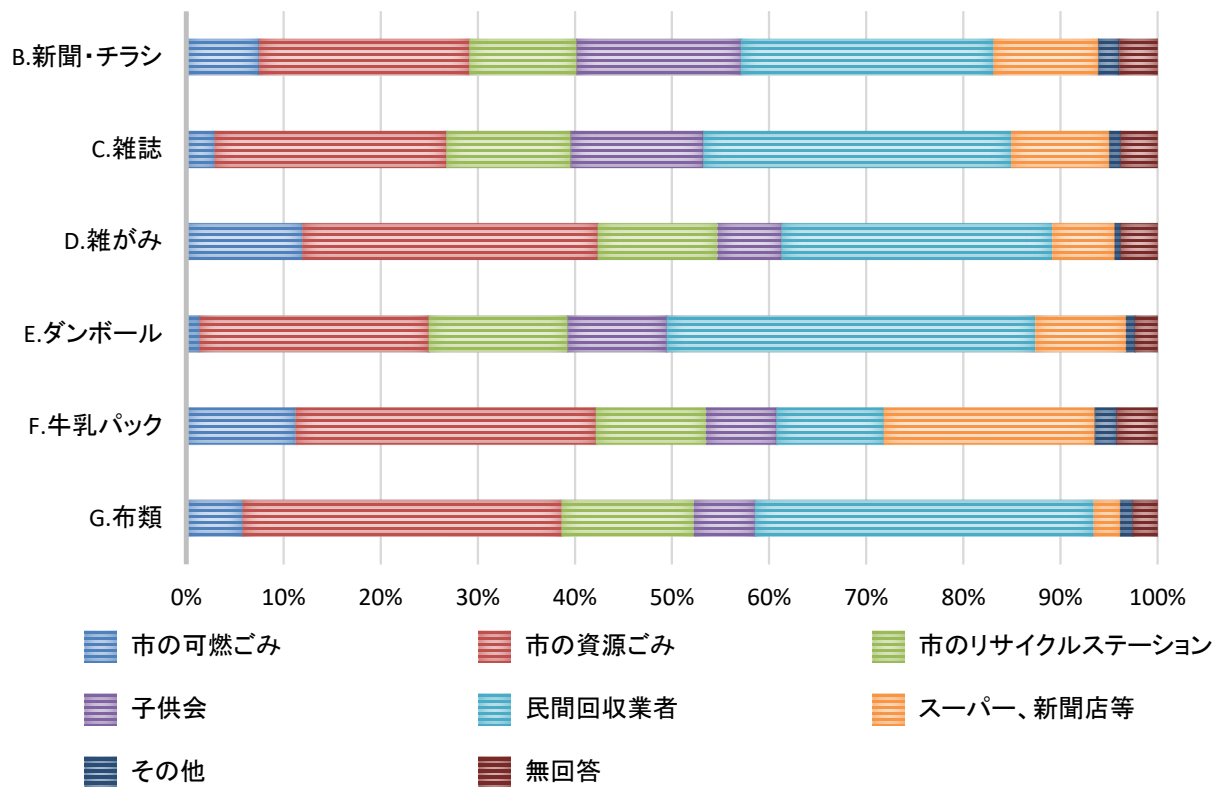
問4-3 密封発行容器(ボカシ容器)	回答数	比率
1 購入して使用している	16	1.3%
2 以前使用していたが、現在は使用していない	42	3.3%
3 使用したことはないが、良いものであれば使用したい	307	24.3%
4 使用するつもりはない	718	56.8%
無回答	182	14.4%
合計	1,265	100.0%



「購入して使用している」が 16 件(1.3%)と低い値となっており、「以前使用していたが、現在は使用していない」が 42 件(3.3%)と現在使用している数値を上回っていることから、密封発酵容器の使用に、課題や改善すべき点があることが伺えます。

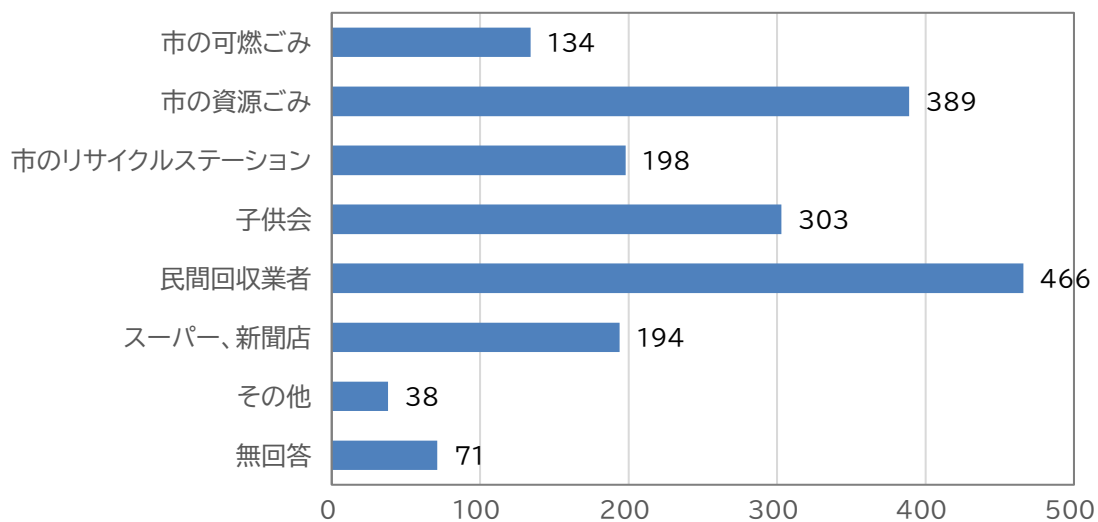
問 4-4 紙類・布類(B～G)の処分はどうしていますか【品目ごとに○は2つまで】

		B 新聞・チラシ	C 雑誌	D 雑がみ	E ダンボール	F 牛乳パック	G 布類
処分方法	・市の可燃ごみ(台所ごみ)収集に出すことがある	1	1	1	1	1	1
	・市の資源ごみ収集(地区の資源ごみ集積場所)	2	2	2	2	2	2
	・市のリサイクルステーションに持参	3	3	3	3	3	3
	・子供会、自治会等の地域の集団回収	4	4	4	4	4	4
	・民間回収業者が設置するリサイクルコンテナ	5	5	5	5	5	5
	・スーパー、新聞店等の販売店の回収	6	6	6	6	6	6
	・その他(具体的に)	7	7	7	7	7	7



B 新聞・チラシ

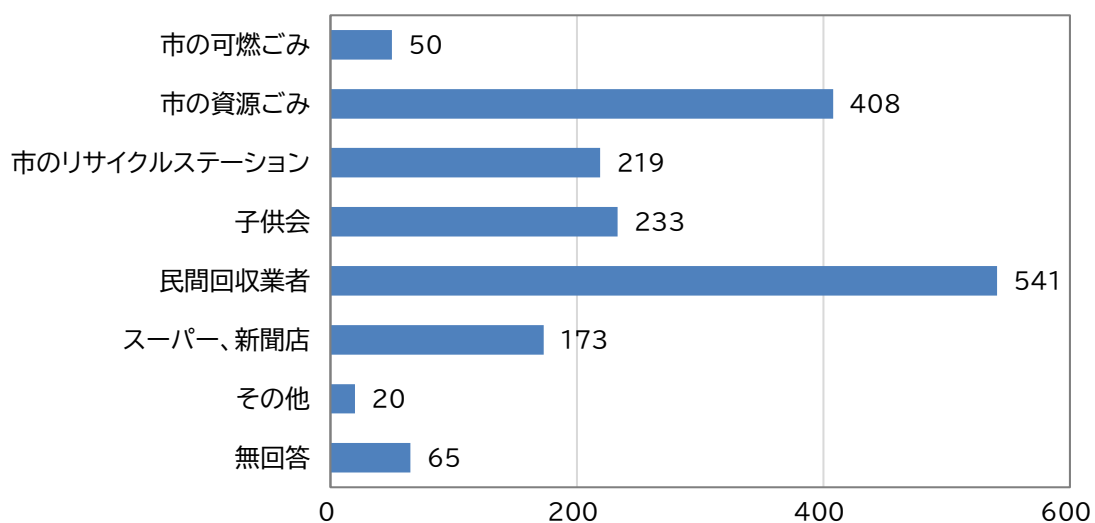
問4-4B	回答数	比率
1 市の可燃ごみ	134	10.6%
2 市の資源ごみ	389	30.8%
3 市のリサイクルステーション	198	15.7%
4 子供会	303	24.0%
5 民間回収業者	466	36.8%
6 スーパー、新聞店	194	15.3%
7 その他	38	3.0%
無回答	71	5.6%
合計	1,793	—



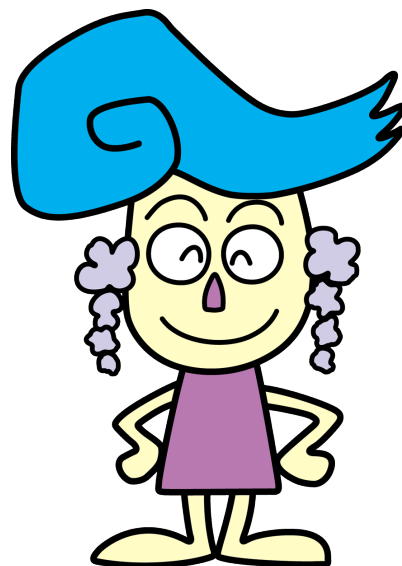
「民間回収業者」が最も多く466件(36.8%)、次いで「市の資源ごみ」が389件(30.8%)を占めている。「市の可燃ごみ」は134件(10.6%)と比較的高く、資源ごみとして回収するよう、今後さらなる周知が必要です。

C 雑誌

問4-4C	回答数	比率
1 市の可燃ごみ	50	4.0%
2 市の資源ごみ	408	32.3%
3 市のリサイクルステーション	219	17.3%
4 子供会	233	18.4%
5 民間回収業者	541	42.8%
6 スーパー、新聞店	173	13.7%
7 その他	20	1.6%
無回答	65	5.1%
合計	1,709	—

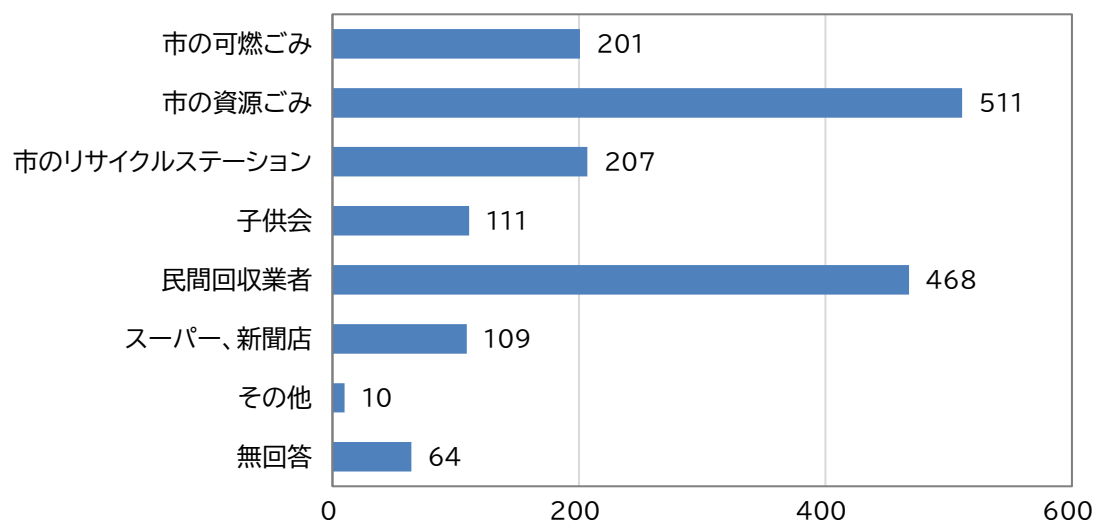


「民間回収業者」が最も多く 541 件(42.8%)、次いで「市の資源ごみ」が 408 件(32.3%)を占めている。「市の可燃ごみ」という回答は 50 件(4.0%)と低く、可燃ごみへの混入は少ないことが伺えます。



D 雑がみ

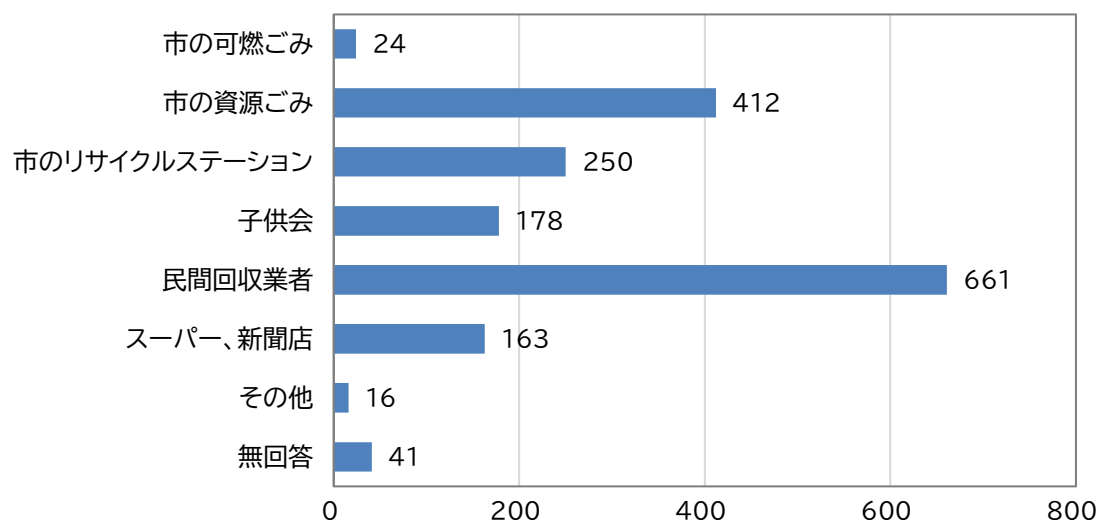
問4-4D	回答数	比率
1 市の可燃ごみ	201	15.9%
2 市の資源ごみ	511	40.4%
3 市のリサイクルステーション	207	16.4%
4 子供会	111	8.8%
5 民間回収業者	468	37.0%
6 スーパー、新聞店	109	8.6%
7 その他	10	0.8%
無回答	64	5.1%
合計	1,681	—



「市の資源ごみ」が最も多く 511 件(40.4%)、次いで「民間回収業者」が 468 件(37.0%)を占めています。新聞や雑誌に比べて可燃ごみで出される割合が 201 件(15.9%)と高く、回収手段及び啓発活動の充実が望まれます。

E ダンボール

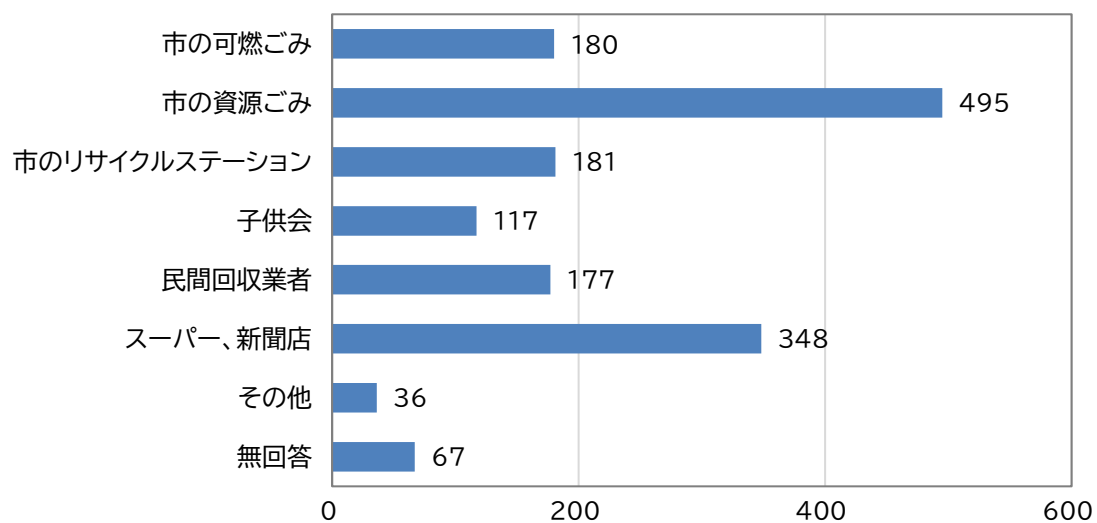
問4-4E	回答数	比率
1 市の可燃ごみ	24	1.9%
2 市の資源ごみ	412	32.6%
3 市のリサイクルステーション	250	19.8%
4 子供会	178	14.1%
5 民間回収業者	661	52.3%
6 スーパー、新聞店	163	12.9%
7 その他	16	1.3%
無回答	41	3.2%
合計	1,745	—



「民間回収業者」が最も多く 661 件(52.3%)、次いで「市の資源ごみ」が 412 件(32.6%)を占めています。「市の可燃ごみ」は 24 件(1.9%)と低く、可燃ごみへの混入は少ないことが伺えます。

F 牛乳パック

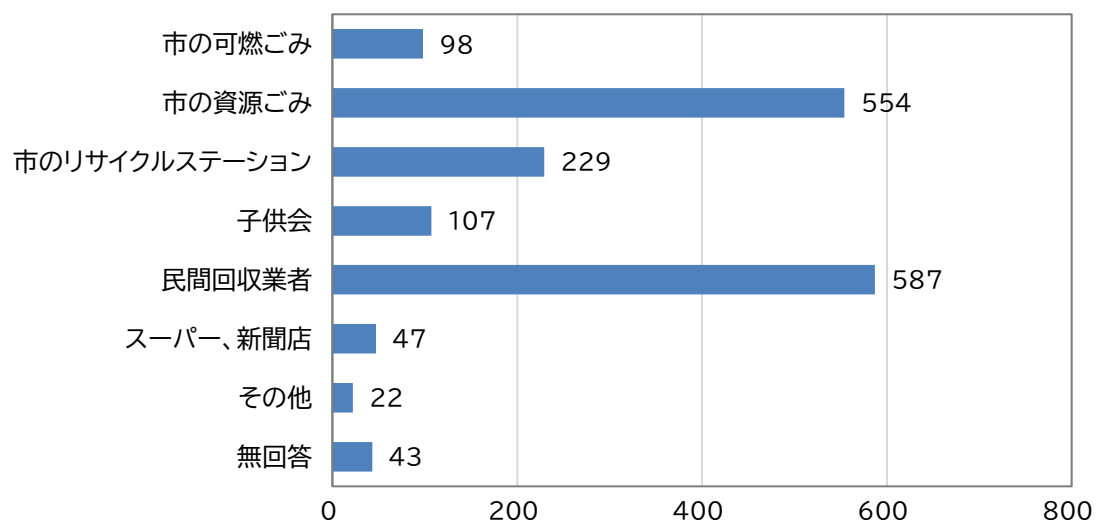
問4-4F	回答数	比率
1 市の可燃ごみ	180	14.2%
2 市の資源ごみ	495	39.1%
3 市のリサイクルステーション	181	14.3%
4 子供会	117	9.2%
5 民間回収業者	177	14.0%
6 スーパー、新聞店	348	27.5%
7 その他	36	2.8%
無回答	67	5.3%
合計	1,601	-



「市の資源ごみ収集」が最も多く 495 件(39.1%)、次いで「スーパー、新聞店」が 348 件(27.5%)を占めています。また「市の可燃ごみ」という回答は 180 件(14.2%)となり、雑誌やダンボールと比較すると可燃ごみで出される割合が高いことが示され、資源ごみとして回収するよう今後さらなる周知が必要です。

G 布類

問4-4G	回答数	比率
1 市の可燃ごみ	98	7.7%
2 市の資源ごみ	554	43.8%
3 市のリサイクルステーション	229	18.1%
4 子供会	107	8.5%
5 民間回収業者	587	46.4%
6 スーパー、新聞店	47	3.7%
7 その他	22	1.7%
無回答	43	3.4%
合計	1,687	—

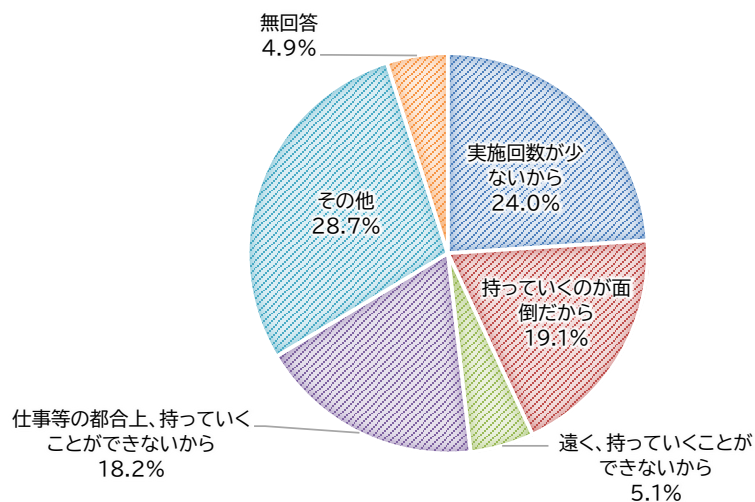


「民間回収業者」が最も多く 587 件(46.4%)、次いで「市の資源ごみ」が 554 件(43.8%)を占めています。「市の可燃ごみ」は 98 件(7.7%)と低く、可燃ごみへの混入は少ないことが伺えます。

問 4-5 前問で、B～Gのいずれか1つでも1と回答された方に伺います。あなたがその品目を可燃ごみ収集に出した理由は何ですか。【〇は1つ】

1. 市の資源ごみ収集の実施回数が少ないから
2. 地区の資源ごみ集積場所まで持っていくのが面倒だから
3. 地区の資源ごみ集積場所が遠く、持っていくことができないから
4. 仕事等の都合上、市の資源ごみ収集日に持っていくことができないから
5. その他(具体的に)

問4-5	回答数	比率
1 市の資源ごみ収集の実施回数が少ないから	112	24.0%
2 地区の資源ごみ集積場所まで持っていくのが面倒だから	89	19.1%
3 地区の資源ごみ集積場所が遠く、持っていくことができないから	24	5.1%
4 仕事等の都合上、市の資源ごみ収集場所に持っていくことができないから	85	18.2%
5 その他	134	28.7%
無回答	23	4.9%
合計	467	100.0%

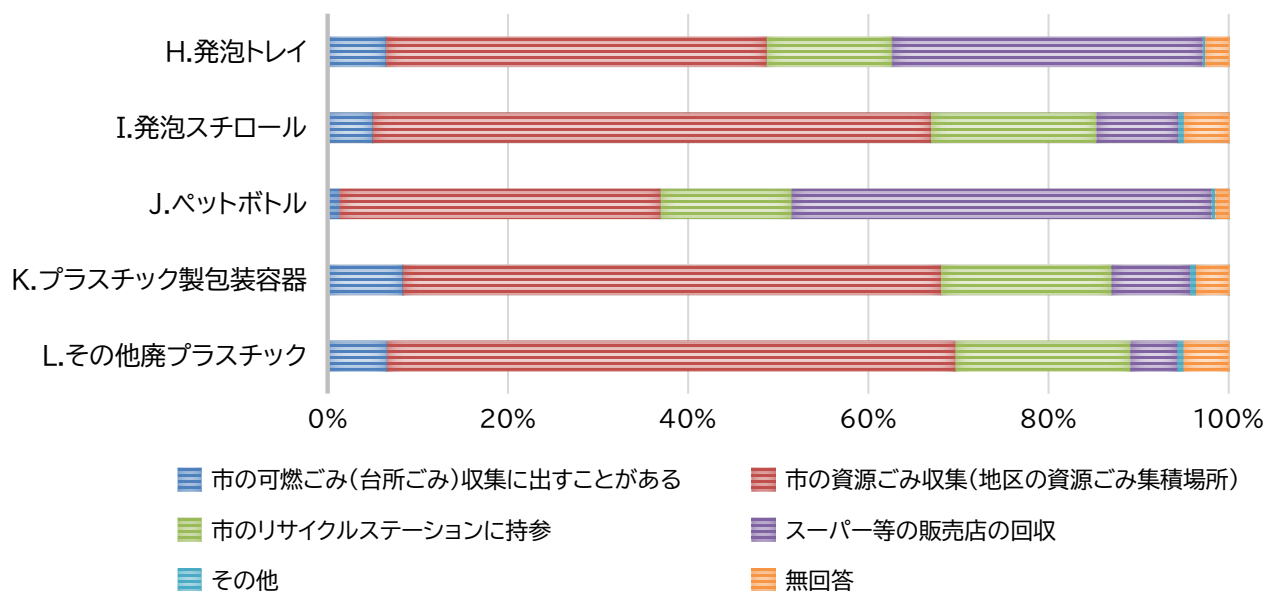


「その他」が最も多く 28.7%、次いで「市の資源ごみ収集の実施回数が少ないから」が 24.0%、「地区の資源ごみ集積場所まで持っていくのが面倒だから」が 19.1%となりました。

「その他」の具体的回答としては、「少しならいいと思ったから」「雑がみは(紙なので)可燃ごみとして出す習慣がついているから」「可燃ゴミで良いと思っていた」等の回答がありました。

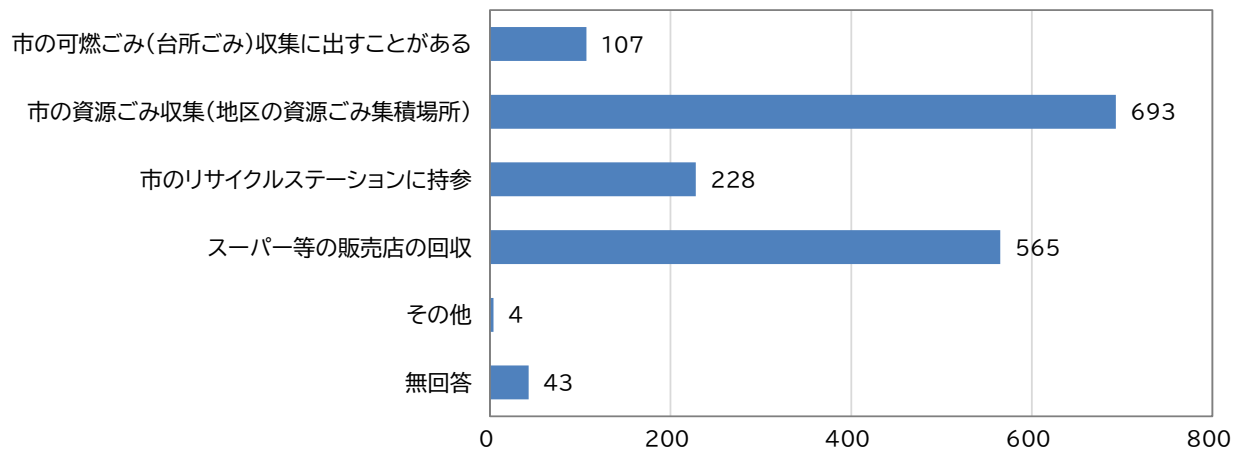
問 4-6 プラスチック類(H～L)の処分はどうしていますか。【品目毎に○は2つまで】

		H 発泡トレイ	I 発泡スチロール	J ペットボトル	K プラスチック製 器包装類	L その他廃プラス チック類
処分方法	・市の可燃ごみ(台所ごみ)収集に出すことがある	1	1	1	1	1
	・市の資源ごみ収集(地区の資源ごみ集積場所)	2	2	2	2	2
	・市のリサイクルステーションに持参	3	3	3	3	3
	・スーパー等の販売店の回収	4	4	4	4	4
	・その他(具体的に)	5	5	5	5	5



H 発泡トレイ

問4-6H	回答数	比率
1 市の可燃ごみ(台所ごみ)収集に出すことがある	107	8.5%
2 市の資源ごみ収集(地区の資源ごみ集積場所)	693	54.8%
3 市のリサイクルステーションに持参	228	18.0%
4 スーパー等の販売店の回収	565	44.7%
5 その他	4	0.3%
無回答	43	3.4%
合計	1,640	—

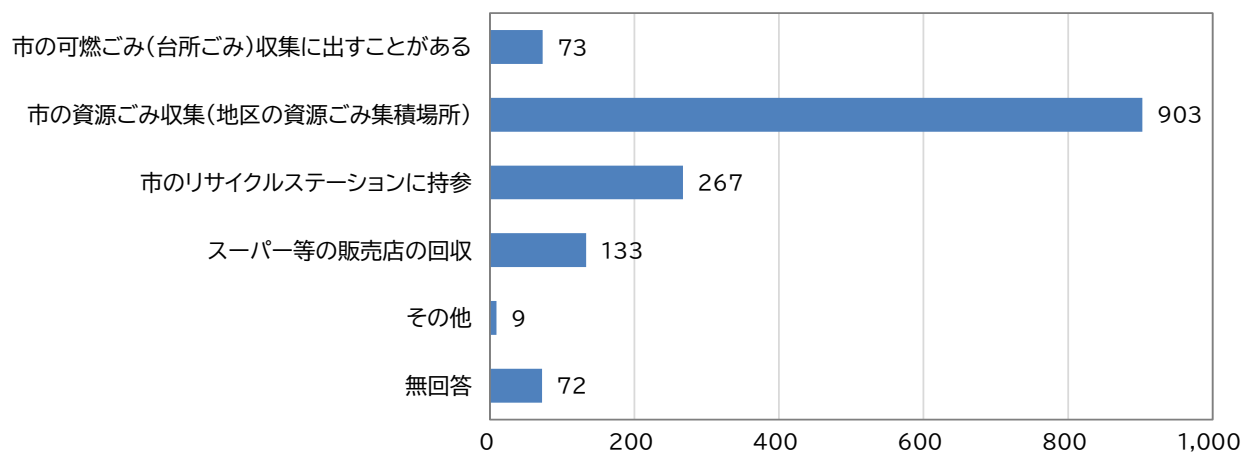


「市の資源ごみ収集(地区の資源ごみ集積場所)」が最も多く693件(54.8%)、次いで「スーパー等の販売店の回収」が565件(44.7%)を占めています。



I 発泡スチロール

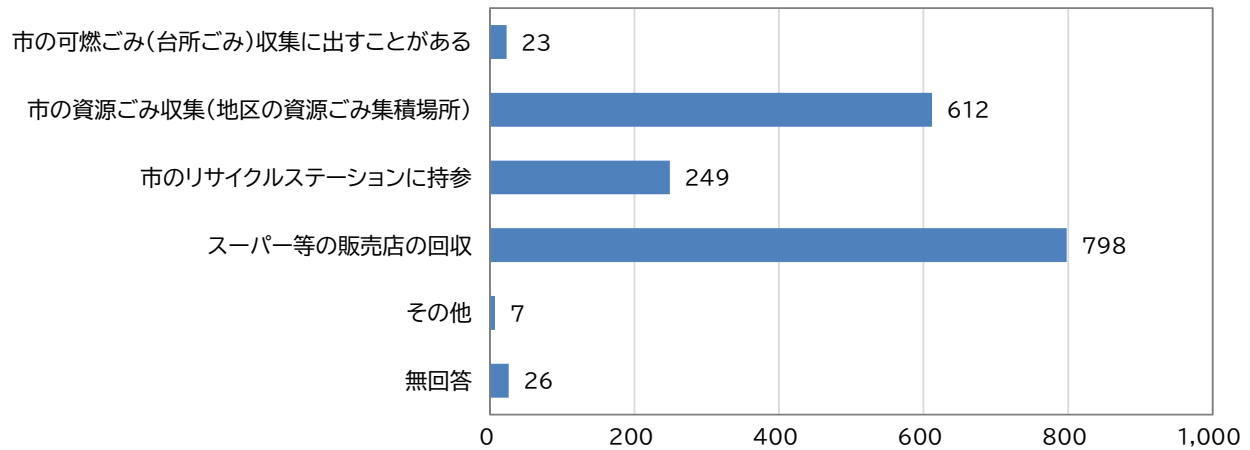
問4-6I	回答数	比率
1 市の可燃ごみ(台所ごみ)収集に出すことがある	73	5.8%
2 市の資源ごみ収集(地区の資源ごみ集積場所)	903	71.4%
3 市のリサイクルステーションに持参	267	21.1%
4 スーパー等の販売店の回収	133	10.5%
5 その他	9	0.7%
無回答	72	5.7%
合計	1,457	—



「市の資源ごみ収集(地区の資源ごみ集積場所)」が突出して多く 903 件(71.4%)、次いで「市のリサイクルステーションに持参」が 267 件(21.1%)を占めています。

J ペットボトル

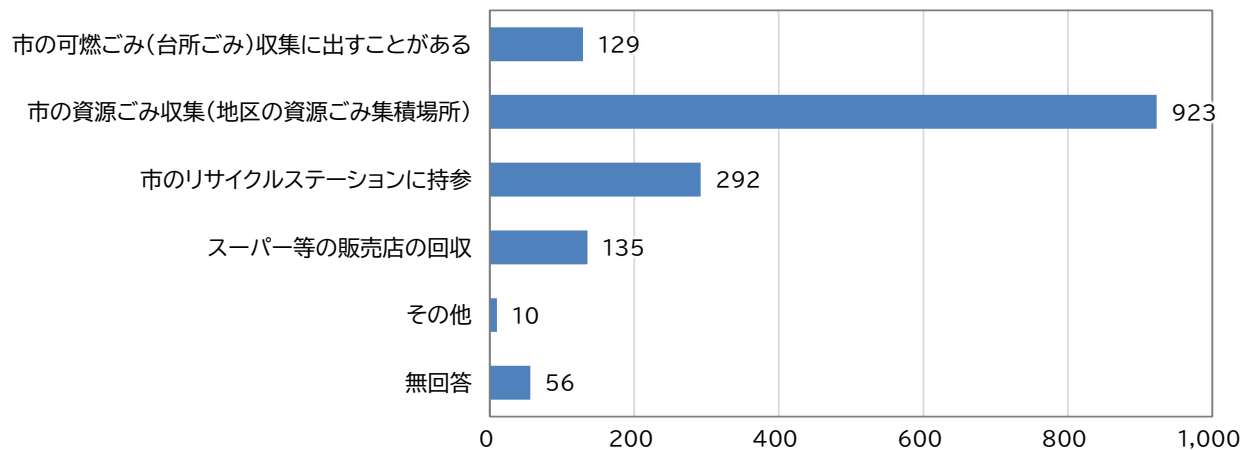
問4-6J	回答数	比率
1 市の可燃ごみ(台所ごみ)収集に出すことがある	23	1.8%
2 市の資源ごみ収集(地区の資源ごみ集積場所)	612	48.4%
3 市のリサイクルステーションに持参	249	19.7%
4 スーパー等の販売店の回収	798	63.1%
5 その他	7	0.6%
無回答	26	2.1%
合計	1,715	—



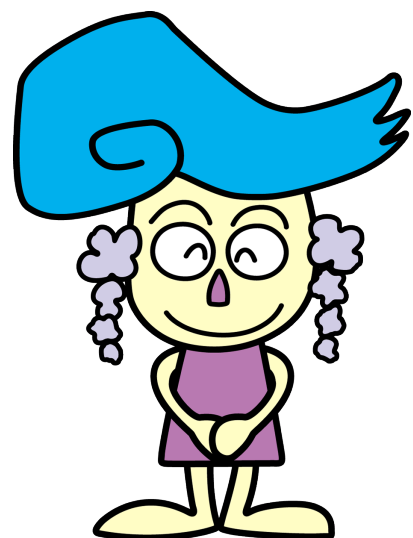
「スーパー等の販売店の回収」が最も多く 798 件(63.1%)、次いで「市の資源ごみ収集(地区の資源ごみ集積場所)」が 612 件(48.4%)を占めています。

K プラスチック類容器包装類

問4-6K	回答数	比率
1 市の可燃ごみ(台所ごみ)収集に出すことがある	129	10.2%
2 市の資源ごみ収集(地区の資源ごみ集積場所)	923	73.0%
3 市のリサイクルステーションに持参	292	23.1%
4 スーパー等の販売店の回収	135	10.7%
5 その他	10	0.8%
無回答	56	4.4%
合計	1,545	—

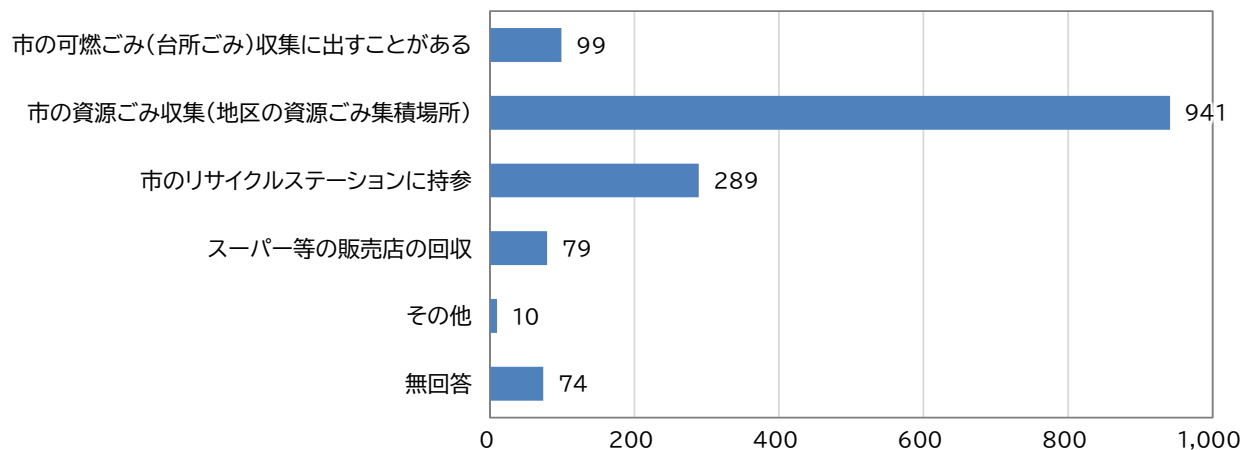


「市の資源ごみ収集(地区の資源ごみ集積場所)」が突出して多く 923 件(73.0%)を占めています。

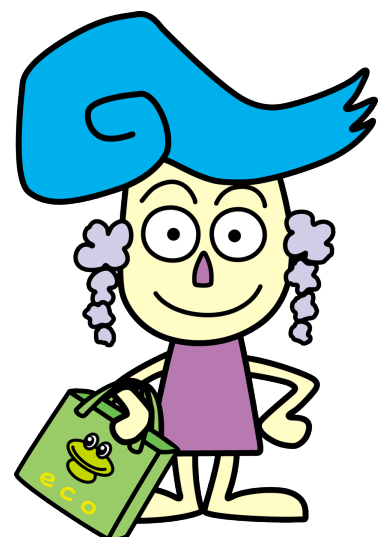


L その他廃プラスチック類

問4-6L	回答数	比率
1 市の可燃ごみ(台所ごみ)収集に出すことがある	99	7.8%
2 市の資源ごみ収集(地区の資源ごみ集積場所)	941	74.4%
3 市のリサイクルステーションに持参	289	22.8%
4 スーパー等の販売店の回収	79	6.2%
5 その他	10	0.8%
無回答	74	5.8%
合計	1,492	—



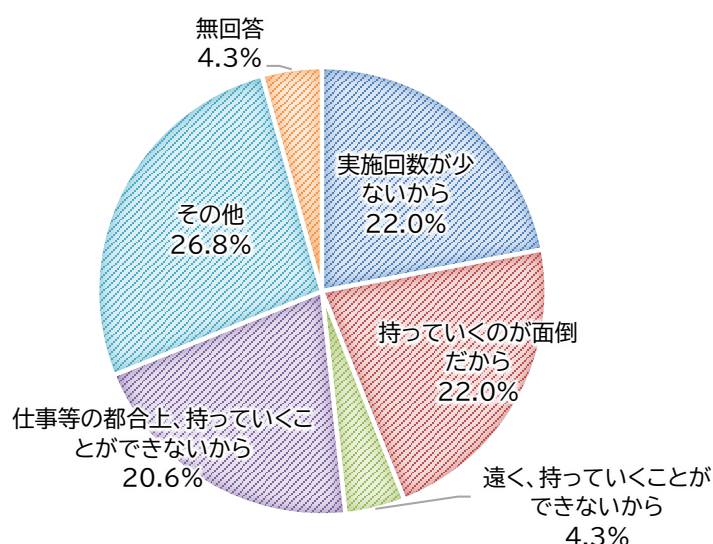
「市の資源ごみ収集(地区の資源ごみ集積場所)」が突出して多く 941 件(74.4%)、次いで「市のリサイクルステーションに持参」が 289 件(22.8%)を占めています。



問 4-7 前問で、H～Lのいずれか1つでも1と回答された方に伺います。あなたがその品目を可燃ごみ収集に出した理由は何ですか。【〇は1つ】

1. 市の資源ごみ収集の実施回数が少ないから
2. 地区の資源ごみ集積場所まで持っていくのが面倒だから
3. 地区の資源ごみ集積場所が遠く、持っていくことができないから
4. 仕事等の都合上、市の資源ごみ収集日に持っていくことができないから
5. その他(具体的に)

問4-7	回答数	比率
1 実施回数が少ないから	46	22.0%
2 持っていくのが面倒だから	46	22.0%
3 遠く、持っていくことができないから	9	4.3%
4 仕事等の都合上、持っていくことができないから	43	20.6%
5 その他	56	26.8%
無回答	9	4.3%
合計	209	100.0%



「その他」が最も多く 26.8%、次いで「市の資源ごみ収集の実施回数が少ないから」が 22.0%、「地区の資源ごみ集積場所まで持っていくのが面倒だから」が 22.0%となっています。

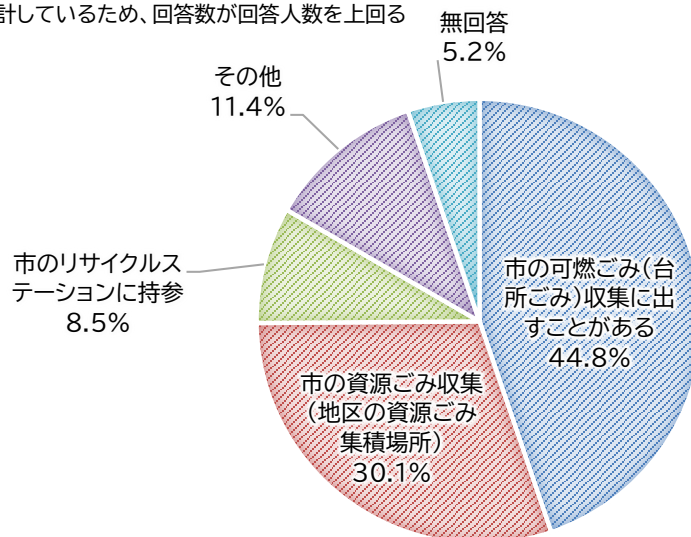
「その他」の回答としては「分別の種類がわからない」、「洗って乾燥するのが面倒だから」、等がありました。

問 4-8 剪定枝、草等(M)の処分はどうしていますか【○は1つ】

1. 市の可燃ごみ(台所ごみ)収集に出すことがある
2. 市の資源ごみ収集(地区の資源ごみ集積場所)
3. 市のリサイクルステーションに持参
4. その他(具体的に)

問4-8	回答数	比率
1 市の可燃ごみ(台所ごみ)収集に出すことがある	576	44.8%
2 市の資源ごみ収集(地区の資源ごみ集積場所)	387	30.1%
3 市のリサイクルステーションに持参	109	8.5%
4 その他	147	11.4%
無回答	67	5.2%
合計	1,286	—

※複数回答を全て集計しているため、回答数が回答人数を上回る



「市の可燃ごみ(台所ごみ)収集に出すことがある」が最も多く 44.8%、次いで「市の資源ごみ収集(地区の資源ごみ集積場所)」が 30.1%を占めています。

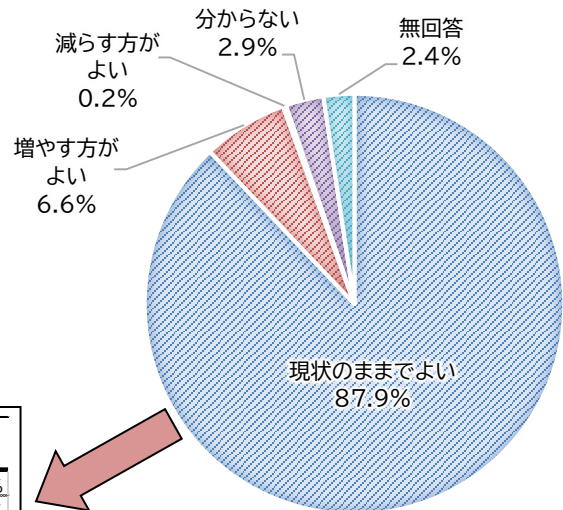
(5) 今後のごみ行政の方向性について

問 5-1 ごみの収集回数及び収集方法について、お答えください。【〇は1つ】

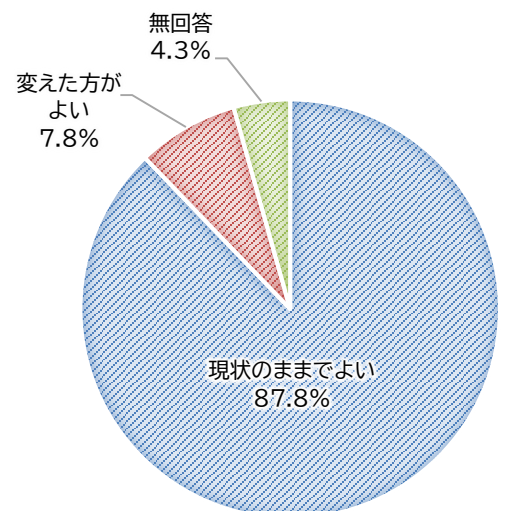
可燃ごみ	収集回数	1. 現状のままでよい 2. 増やす方がよい→月()回または週()回 3. 減らす方がよい 4. わからない
	収集方法	1. 現状のままでよい 2. 変えた方がよい(具体的な変更内容)
資源ごみ	収集回数	1. 現状のままでよい 2. 増やす方がよい→月()回または週()回 3. 減らす方がよい 4. わからない
	収集方法	1. 現状のままでよい 2. 変えた方がよい(具体的な変更内容)

・ 可燃ごみ

問5-1 可燃ごみ 収集回数	回答数	比率
1 現状のままでよい	1,112	87.9%
2 増やす方がよい	83	6.6%
3 減らす方がよい	3	0.2%
4 分からない	37	2.9%
無回答	30	2.4%
合計	1,265	100.0%



可燃ごみの希望収集回数	回答数	収集回数増加希望者での比率	全回答者での比率
月1回	1	1.3%	0.1%
月3回	2	2.7%	0.2%
月4回	1	1.3%	0.1%
週1回	5	6.7%	0.4%
週2回	4	5.3%	0.3%
週3回	59	78.7%	4.7%
週5回	1	1.3%	0.1%
週7回	1	1.3%	0.1%
週9回	1	1.3%	0.1%
総計	75	100.0%	5.9%

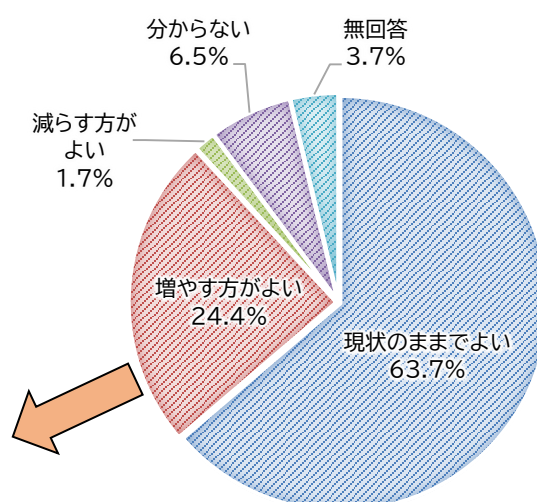


問5-1 可燃ごみ 収集方法	回答数	比率
1 現状のままでよい	1,111	87.8%
2 変えた方がよい	99	7.8%
無回答	55	4.3%
合計	1,265	100.0%

可燃ごみの収集回数は「現状のままでよい」が 87.9%、収集方法は「現状のままでよい」が 87.8%とどちらも「現状のままでよい」という意見が最も多いことがわかりました。

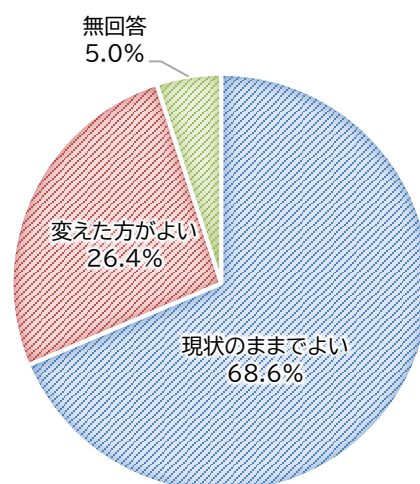
・ 資源ごみ

問5-1 資源ごみ 収集回数	回答数	比率
1 現状のままでよい	806	63.7%
2 増やす方がよい	309	24.4%
3 減らす方がよい	21	1.7%
4 分からない	82	6.5%
無回答	47	3.7%
合計	1,265	100.0%



資源ごみの希望収集回数	回答数	収集回数増加希望者での比率	全回答者での比率
月1回	1	0.3%	0.1%
月1～2回	1	0.3%	0.1%
月2回	11	3.8%	0.9%
月2.5回	1	0.3%	0.1%
月3回	54	18.7%	4.3%
月4回	11	3.8%	0.9%
月5回	1	0.3%	0.1%
月2回または週1回	1	0.3%	0.1%
月3回または週2回	1	0.3%	0.1%
週1回	185	64.0%	14.6%
週2回	10	3.5%	0.8%
週3回	9	3.1%	0.7%
週4回	1	0.3%	0.1%
週5回	2	0.7%	0.2%
総計	289	100.0%	22.9%

問5-1 資源ごみ 収集方法	回答数	比率
1 現状のままでよい	868	68.6%
2 変えた方がよい	334	26.4%
無回答	63	5.0%
合計	1,265	100.0%



資源ごみの収集回数は「現状のままでよい」が 63.7%と最も多くなりましたが、「増やす方がよい」という意見も 309 件(24.4%)ありました。その中でも、週 1 回収集を増やして欲しいというものが多く見られました。収集方法は「現状のままでよい」が 68.6%と最も多かったですが、「変えた方がよい」という意見も 334 件(26.4%)見られました。具体的には「資源ごみ専用の袋を作って欲しい」「可燃ごみと同じ回収方法にして欲しい」などの意見が見られました。

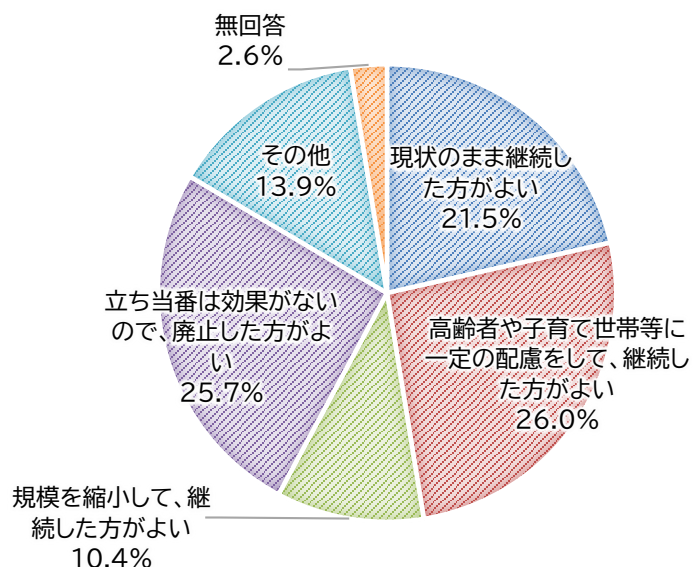
どちらも「現状のままでよい」という意見が最も多いことがわかりましたが、可燃ごみに比べて、収集回数は「増やす方がよい」、収集方法は「変えた方がよい」という意見も多いことがわかります。

問 5-2 市では、自治会等との協働により、ごみ分別の徹底に努めていますが、分別ごみ(資源ごみ等)の集積場所での立ち当番について、どのようにお考えですか。【〇は1つ】

1. 現状のまま継続した方がよい
2. 高齢者や子育て世帯等に一定の配慮をして、継続した方がよい
3. 規模を縮小して、継続した方がよい
4. 立ち当番は効果がないので、廃止した方がよい
5. その他(具体的に)

問5-2	回答数	比率
1 現状のまま継続した方がよい	276	21.5%
2 高齢者や子育て世帯等に一定の配慮をして、継続した方がよい	334	26.0%
3 規模を縮小して、継続した方がよい	134	10.4%
4 立ち当番は効果がないので、廃止した方がよい	330	25.7%
5 その他	179	13.9%
無回答	33	2.6%
合計	1,286	—

※複数回答を全て集計しているため、回答数が回答人数を上回る



「高齢者や子育て世帯等に一定の配慮をして、継続した方がよい」が最も多く 26.0%、「現状維持のまま継続した方がよい」が 21.5%、「規模を縮小して継続した方がよい」が 10.4%で何らかの形で継続という意見が合わせて 57.9%と半数以上となっています。一方で、「立ち当番は効果がないので、廃止した方がよい」が 25.7%となっています。

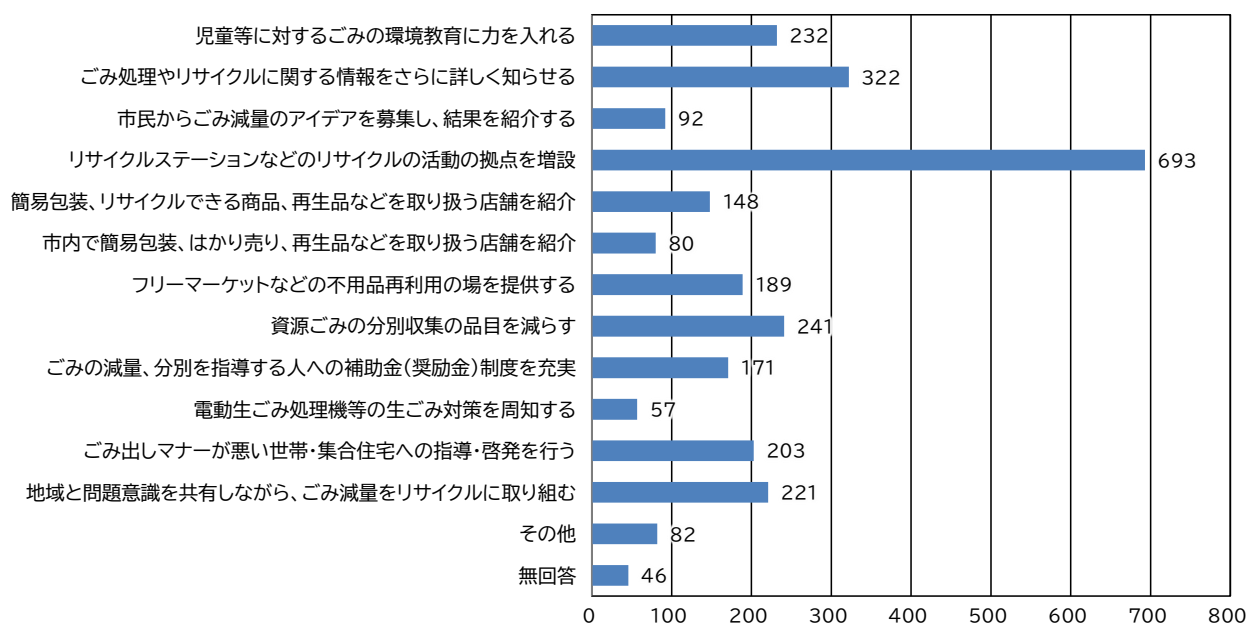
具体的な意見としては、「立ち当番の負担が大きすぎる」「防犯カメラなどを利用して立ち当番の時間を短縮してはどうか」といった意見が見られました。

問 5-3 今後、本市のごみ行政は優先的にどのようなことをすべきと思いますか。【○は3つまで】

1. 児童等に対するごみの環境教育に力を入れる
2. ごみ処理やリサイクルに関する情報をさらに詳しく知らせる
3. 市民からごみ減量のアイデアを募集し、結果を紹介する
4. リサイクルステーションなどのリサイクル活動の拠点となる施設を増設する
5. 簡易包装、リサイクルできる商品、再生品の普及のため商店等に働きかける
6. 市内で簡易包装、はかり売り、再生品などを取り扱う店舗を紹介する
7. フリーマーケットなどの不用品再利用の場を提供する
8. 資源ごみの分別収集の品目を減らす
9. ごみ減量に取り組む人、分別を指導する人への補助金(奨励金)制度を充実させる
10. 電動生ごみ処理機等の生ごみ対策を周知する
11. ごみ出しマナーが悪い世帯・集合住宅へ指導・啓発を行う
12. 地域と問題意識を共有しながら、ごみ減量とリサイクルに取り組む
13. その他(具体的に)



問5-3	回答数	比率
1 児童等に対するごみの環境教育に力を入れる	232	8.4%
2 ごみ処理やリサイクルに関する情報をさらに詳しく知らせる	322	25.5%
3 市民からごみ減量のアイデアを募集し、結果を紹介する	92	7.3%
4 リサイクルステーションなどのリサイクルの活動の拠点を増設	693	54.8%
5 簡易包装、リサイクルできる商品、再生品などを取り扱う店舗を紹介	148	11.7%
6 市内で簡易包装、はかり売り、再生品などを取り扱う店舗を紹介	80	6.3%
7 フリーマーケットなどの不用品再利用の場を提供する	189	14.9%
8 資源ごみの分別収集の品目を減らす	241	19.1%
9 ごみの減量、分別を指導する人への補助金(奨励金)制度を充実	171	13.5%
10 電動生ごみ処理機等の生ごみ対策を周知する	57	4.5%
11 ごみ出しマナーが悪い世帯・集合住宅への指導・啓発を行う	203	16.0%
12 地域と問題意識を共有しながら、ごみ減量をリサイクルに取り組む	221	17.5%
13 その他	82	6.5%
無回答	46	3.6%
合計	2,777	—



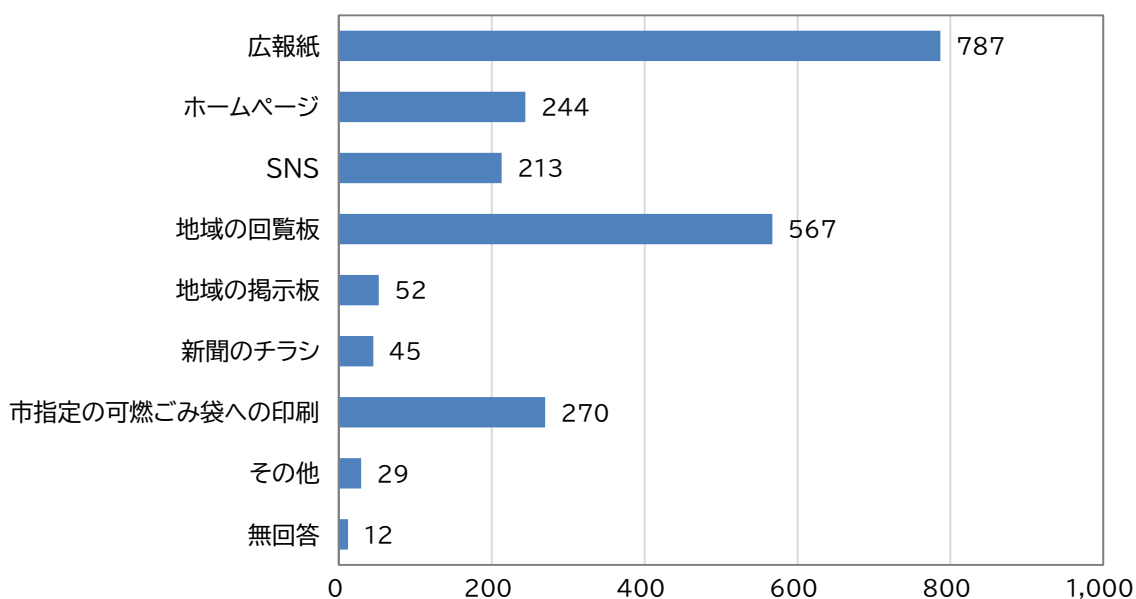
「リサイクルステーションなどのリサイクルの活動の拠点となる施設を増設する」が突出して多く 693 件(54.8%)となっています。

問 5-4 ごみ処理関連の情報を住民にお知らせする方法として、どれがもっとも良いとお考えですか。

【〇は2つまで】

1. 広報紙	2. ホームページ	3. SNS
4. 地域の回覧板	5. 地域の掲示板	6. 新聞のチラシ
7. 市指定の可燃ごみ袋への印刷		
8. その他(具体的に)		

問5-4	回答数	比率
1 広報紙	787	62.2%
2 ホームページ	244	19.3%
3 SNS	213	16.8%
4 地域の回覧板	567	44.8%
5 地域の掲示板	52	4.1%
6 新聞のチラシ	45	3.6%
7 市指定の可燃ごみ袋への印刷	270	21.3%
8 その他	29	2.3%
無回答	12	0.9%
合計	2,219	—



情報提供の手法としては「広報紙」が最も多く 787 件(62.2%)となり、次いで「地域の回覧板」が 567 件(44.8%)となっています。

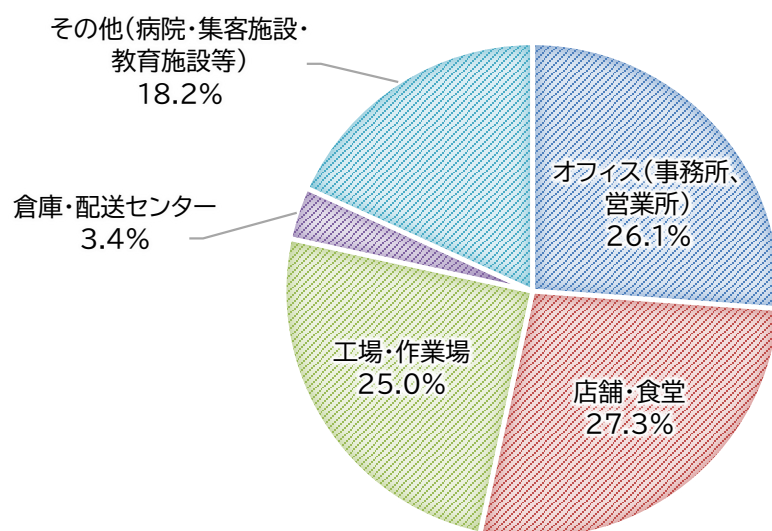
1.3 事業所アンケート調査結果

(1) 基礎的事項／事業所の属性について

問 1-1 貴事業所の形態は次のどれに当てはまりますか(○は主なもの1つ)

- | | |
|-----------------------|--------------|
| 1. オフィス(事務所、営業所) | 2. 店舗・食堂 |
| 3. 工場・作業場 | 4. 倉庫・配送センター |
| 5. その他(病院・集客施設・教育施設等) | |

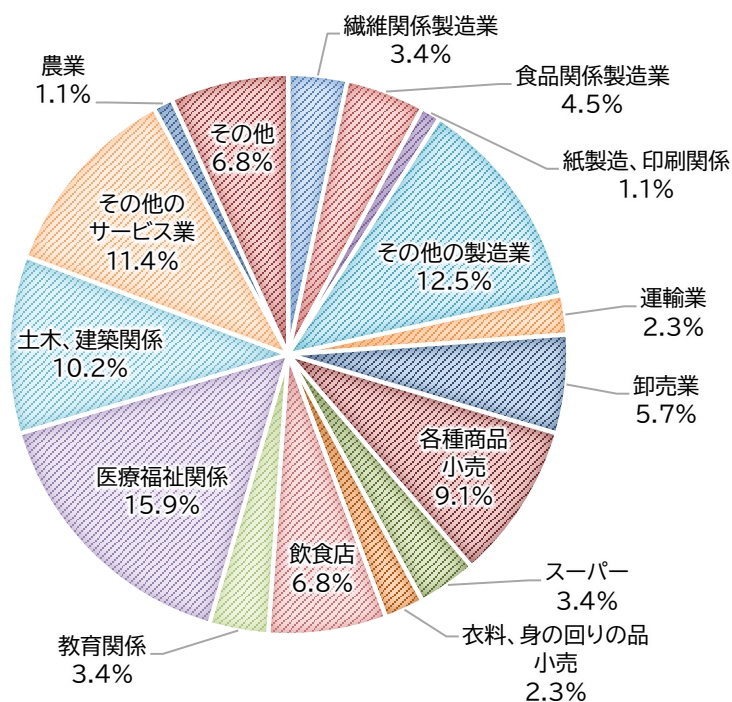
問1-1	回答数	比率
1 オフィス(事務所、営業所)	23	26.1%
2 店舗・食堂	24	27.3%
3 工場・作業場	22	25.0%
4 倉庫・配送センター	3	3.4%
5 その他(病院・集客施設・教育施設等)	16	18.2%
無回答	0	0.0%
合計	88	100.0%



問 1-2 貴事業所の業種は

1-1 繊維関係製造業	1-2 食品関係製造業
1-3 木製品関係製造業	1-4 紙製造、印刷関係
1-5 その他の製造業	
2 運輸業	
3 卸売業	
4-1 各種商品小売	4-2 スーパーマーケット
4-3 コンビニエンスストア	4-4 上記以外の食料品小売
4-5 衣料、身の回りの品小売	4-6 自動車、自転車小売
5 飲食店	
6-1 教育関係	6-2 医療福祉関係
6-3 土木、建築関係	6-4 その他のサービス業
7 農 業	

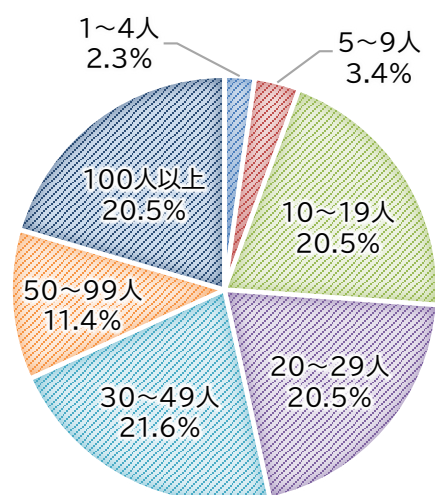
問1-2	回答数	比率
1-1 繊維関係製造業	3	3.4%
1-2 食品関係製造業	4	4.5%
1-3 木製品関係製造業	0	0.0%
1-4 紙製造、印刷関係	1	1.1%
1-5 その他の製造業	11	12.5%
2 運輸業	2	2.3%
3 卸売業	5	5.7%
4-1 各種商品小売	8	9.1%
4-2 スーパー	3	3.4%
4-3 コンビニ	0	0.0%
4-4 上記以外の食料品小売	0	0.0%
4-5 衣料、身の回りの品小売	2	2.3%
4-6 自動車、自動車小売	0	0.0%
5 飲食店	6	6.8%
6-1 教育関係	3	3.4%
6-2 医療福祉関係	14	15.9%
6-3 土木、建築関係	9	10.2%
6-4 その他のサービス業	10	11.4%
7 農業	1	1.1%
8 その他	6	6.8%
無回答	0	0.0%
合計	88	100.0%



問 1-3 貴事業所の従業員数は(経営者、長期パート等を含む)

1. 1～4人	2. 5～9人
3. 10～19人	4. 20～29人
5. 30～49人	6. 50～99人
7. 100人以上	

問1-3	回答数	比率
1 1～4人	2	2.3%
2 5～9人	3	3.4%
3 10～19人	18	20.5%
4 20～29人	18	20.5%
5 30～49人	19	21.6%
6 50～99人	10	11.4%
7 100人以上	18	20.5%
無回答	0	0.0%
合計	88	100.0%

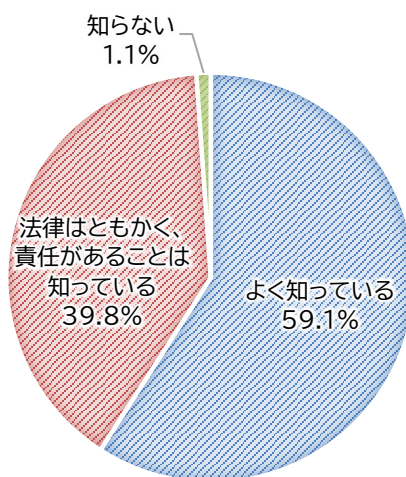


(2) ごみ問題への取組み全般について

問 2-1 事業所から排出されるごみを一般家庭の可燃ごみ置き場に排出してはいけないなど、事業所から発生するごみについては、事業者自らの責任で処理すること(排出者責任)が法律で定められていることを知っていますか。(○は1つ)

1. よく知っている
2. 法律はともかく、責任があることは知っている
3. 知らない

問2-1	回答数	比率
1 よく知っている	52	59.1%
2 法律はともかく、責任があることは知っている	35	39.8%
3 知らない	1	1.1%
無回答	0	0.0%
合計	88	100.0%

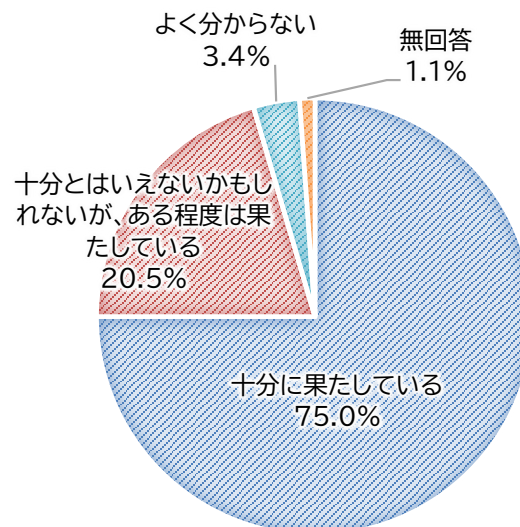


「よく知っている」が最も多く 59.1%、次いで「法律はともかく、責任があることは知っている」の 39.8%と合わせると 98.9%となり、ほとんどの事業所は排出者責任について認知していることがわかりました。

問 2-2 貴事業所は、この排出者責任を果たしていると思いますか。(○は1つ)

1. 十分に果たしている
2. 十分とはいえないかもしれないが、ある程度は果たしている
3. あまり果たしていない
4. 全く果たしていない
5. よくわからない

問2-2	回答数	比率
1 十分に果たしている	66	75.0%
2 十分とはいえないかもしれないが、ある程度は果たしている	18	20.5%
3 あまり果たしていない	0	0.0%
4 全く果たしていない	0	0.0%
5 よくわからない	3	3.4%
無回答	1	1.1%
合計	88	100.0%

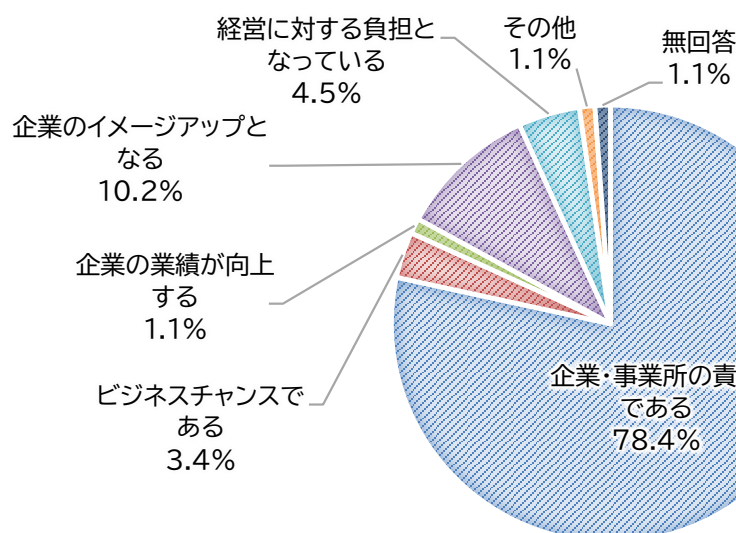


「十分果たしている」が最も多く 75.0%、「十分とはいえないかもしれないが、ある程度は果たしている」が 20.5%で、ほとんどの事業所が排出者責任を果たしていると考えていることがわかりました。

問 2-3 貴事業所では、環境やごみ問題への取組みをどのように捉えていますか(○は1つ)

1. 積極的に取り組むことが企業・事業所の責務である
2. 環境やごみ問題への取組みはビジネスチャンスである
3. 環境やごみ問題へ取り組むことで、企業の業績が向上する
4. 環境やごみ問題へ取り組むことで、企業のイメージアップとなる
5. 費用ばかりかかって経営に対する負担となっている
6. その他()

問2-3	回答数	比率
1 積極的に取り組むことが企業・事業所の責務である	69	78.4%
2 環境やごみ問題への取組みはビジネスチャンスである	3	3.4%
3 環境やごみ問題へ取り組むことで、企業の業績が向上する	1	1.1%
4 環境やごみ問題へ取り組むことで、企業のイメージアップとなる	9	10.2%
5 費用ばかりかかって経営に対する負担となっている	4	4.5%
6 その他	1	1.1%
無回答	1	1.1%
合計	88	100.0%

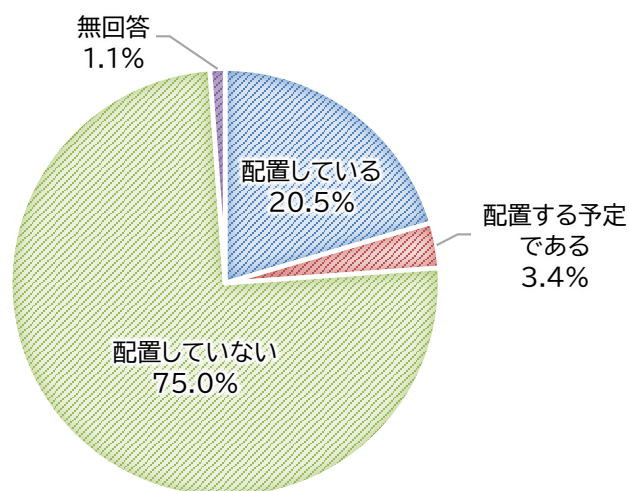


「積極的に取り組むことが企業・事業所の責務である」が最も多く78.4%を占めています。またこれ以外には「環境やごみ問題への取組みはビジネスチャンスである」、「環境やごみ問題へ取り組むことで、企業の業績が向上する」、「環境やごみ問題へ取り組むことで、企業のイメージアップとなる」というプラス面の回答は合わせて 14.7%、「費用ばかりかかって経営に対する負担となっている」というマイナス面の回答は 4.5%となり、プラス・マイナスの両面の評価があることがわかります。

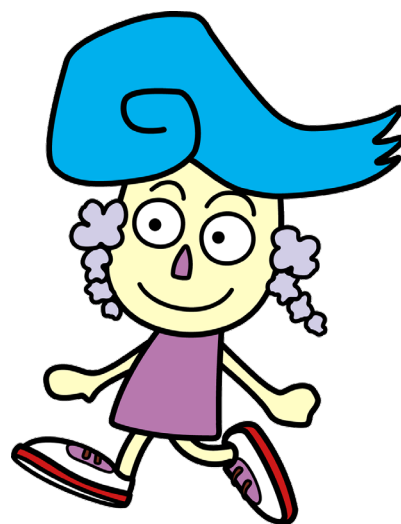
問 2-4 貴事業所ではごみ減量担当の職員を配置していますか。(○は1つ)

1. 配置している 2. 配置する予定である 3. 配置していない

問2-4	回答数	比率
1 配置している	18	20.5%
2 配置する予定である	3	3.4%
3 配置していない	66	75.0%
無回答	1	1.1%
合計	88	100.0%



「配置していない」が最も多く 75.0%を占めています。

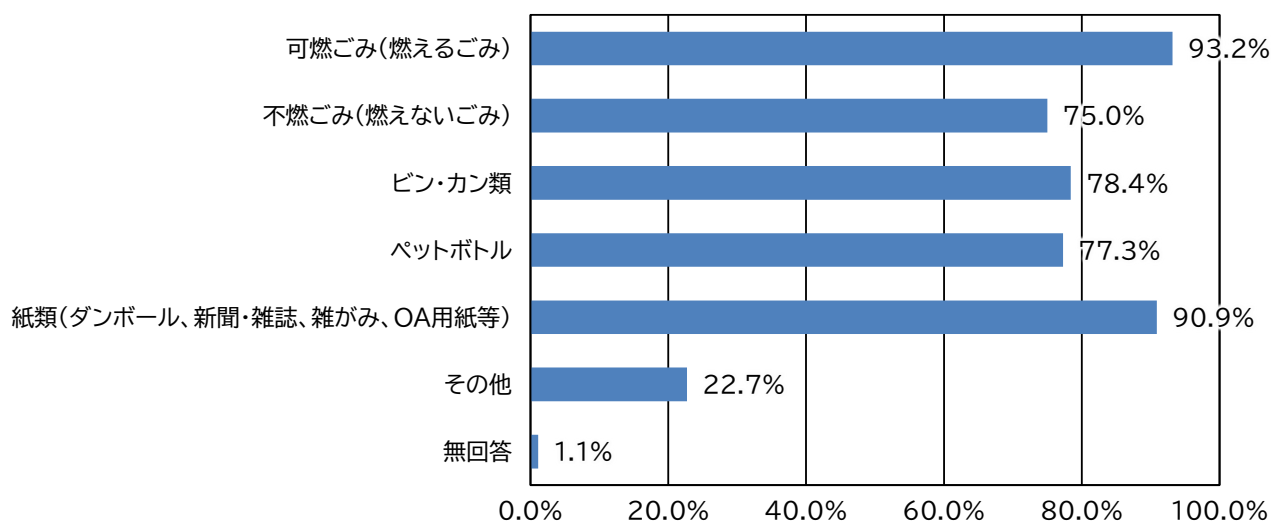


(3) ごみや資源の処分方法について

問 3-1 貴事業所から日常的に発生している一般廃棄物の分別区分についてお聞きます。分別して収集しているごみは次の表の「①分別区分」の欄に○を付けてください。「②ごみの種類」に該当する分別区分がない場合は、「その他」に追加してください。

①分別区分 ※分別区分を設けている 場合○をつけてください	②ごみの種類
	1. 可燃ごみ(燃えるごみ)
	2. 不燃ごみ(燃えないごみ)
	3. ビン・カン類
	4. ペットボトル
	5. 紙類(ダンボール、新聞・雑誌、雑がみ、OA 用紙等)
	6. その他()

問3-1	回答数	比率
1 可燃ごみ(燃えるごみ)	82	93.2%
2 不燃ごみ(燃えないごみ)	66	75.0%
3 ビン・カン類	69	78.4%
4 ペットボトル	68	77.3%
5 紙類(ダンボール、新聞・雑誌、雑がみ、OA用紙等)	80	90.9%
6 その他	20	22.7%
無回答	1	1.1%



その他以外の全ての分別区分で、70%以上の事業者が分別に取り組んでいます。特に、可燃ごみと紙類(段ボール、新聞・雑誌、雑がみ、OA 用紙等)で高くなっていることが伺えます。

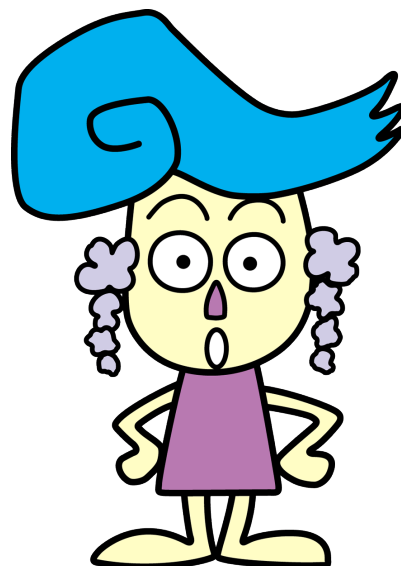
問 3-2 貴事業所から発生するごみや資源について、①発生の有無、②発生する場合の処理方法について記入してください。なお、②処理方法は、表の下の1～9の選択肢から、該当する番号に○をつけ、「9. その他」の場合は、下に具体的に記載してください。

分類	品目	①発生の有無	②発生する場合の処理方法(選択肢から選んで○)								
可燃ごみ		あり なし	1	2	3	4	5	6	7	8	9
古紙類	新聞・チラシ	あり なし	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	雑誌	あり なし	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	ダンボール	あり なし	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	シュレッダーくず	あり なし	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	OA用紙	あり なし	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	雑がみ	あり なし	1	2	3	4	5	6	7	8	9
生ごみ	売れ残り食品	あり なし	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	調理くず,製造残渣	あり なし	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	食べ残し	あり なし	1	2	3	4	5	6	7	8	9
プラスチック類	ペットボトル	あり なし	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	プラ容器包装	あり なし	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	その他プラスチック類	あり なし	1	2	3	4	5	6	7	8	9
金属類	空き缶	あり なし	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	その他金属類	あり なし	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ガラス類	空きびん	あり なし	1	2	3	4	5	6	7	8	9
その他	繊維類	あり なし	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	剪定枝、草等	あり なし	1	2	3	4	5	6	7	8	9

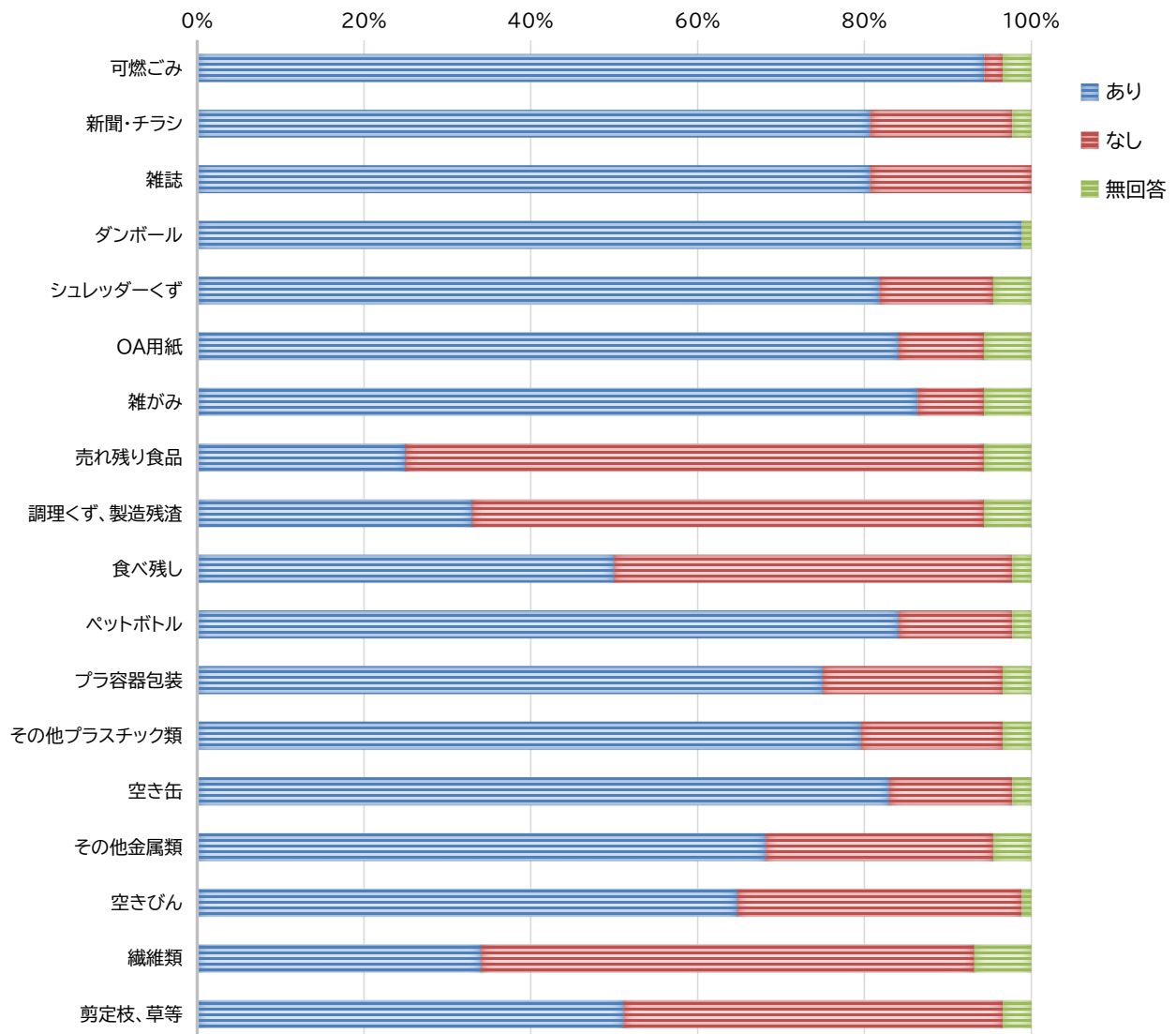
【②処理方法の選択肢】

1. 許可業者に収集を依頼し、事業系ごみ(可燃)として処理している
2. 許可業者に収集を依頼し、資源物として処理している
3. 資源化業者に引き渡し、資源化している
4. 子供会、自治会等の地域の集団回収に出す
5. 江南市の資源ごみ収集に出す
6. 自社で焼却・資源化等の処理をしている
7. 納入業者が回収し、資源化している
8. ビルの管理会社等が処理しており、詳細はわからない
9. その他

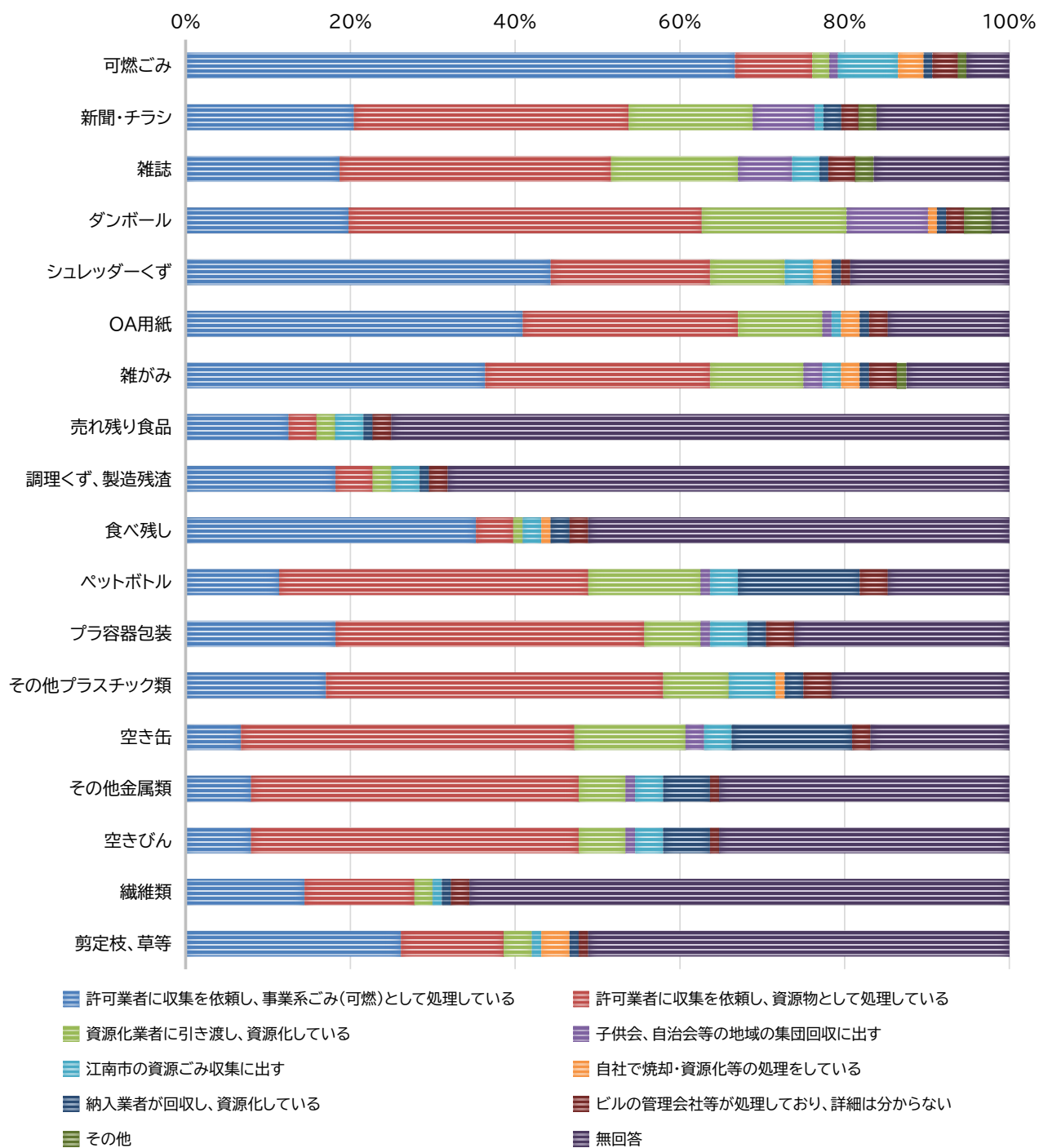
問3-2	①発生の有無			②発生する場合の処理方法									
	あり	なし	無回答	1	2	3	4	5	6	7	8	9	無回答
可燃ごみ	83	2	3	64	9	2	1	7	3	1	3	1	5
	94.3%	2.3%	3.4%	66.7%	9.4%	2.1%	1.0%	7.3%	3.1%	1.0%	3.1%	1.0%	5.2%
新聞・チラシ	71	15	2	19	31	14	7	1	0	2	2	2	15
	80.7%	17.0%	2.3%	20.4%	33.3%	15.1%	7.5%	1.1%	0.0%	2.2%	2.2%	2.2%	16.1%
雑誌	71	17	0	17	30	14	6	3	0	1	3	2	15
	80.7%	19.3%	0.0%	18.7%	33.0%	15.4%	6.6%	3.3%	0.0%	1.1%	3.3%	2.2%	16.5%
ダンボール	87	0	1	18	39	16	9	0	1	1	2	3	2
	98.9%	0.0%	1.1%	19.8%	42.9%	17.6%	9.9%	0.0%	1.1%	1.1%	2.2%	3.3%	2.2%
シュレッダーくず	72	12	4	39	17	8	0	3	2	1	1	0	17
	81.8%	13.6%	4.5%	44.3%	19.3%	9.1%	0.0%	3.4%	2.3%	1.1%	1.1%	0.0%	19.3%
OA用紙	74	9	5	36	23	9	1	1	2	1	2	0	13
	84.1%	10.2%	5.7%	40.9%	26.1%	10.2%	1.1%	1.1%	2.3%	1.1%	2.3%	0.0%	14.8%
雑がみ	76	7	5	32	24	10	2	2	2	1	3	1	11
	86.4%	8.0%	5.7%	36.4%	27.3%	11.4%	2.3%	2.3%	2.3%	1.1%	3.4%	1.1%	12.5%
売れ残り食品	22	61	5	11	3	2	0	3	0	1	2	0	66
	25.0%	69.3%	5.7%	12.5%	3.4%	2.3%	0.0%	3.4%	0.0%	1.1%	2.3%	0.0%	75.0%
調理くず、製造残渣	29	54	5	16	4	2	0	3	0	1	2	0	60
	33.0%	61.4%	5.7%	18.2%	4.5%	2.3%	0.0%	3.4%	0.0%	1.1%	2.3%	0.0%	68.2%
食べ残し	44	42	2	31	4	1	0	2	1	2	2	0	45
	50.0%	47.7%	2.3%	35.2%	4.5%	1.1%	0.0%	2.3%	1.1%	2.3%	2.3%	0.0%	51.1%
ペットボトル	74	12	2	10	33	12	1	3	0	13	3	0	13
	84.1%	13.6%	2.3%	11.4%	37.5%	13.6%	1.1%	3.4%	0.0%	14.8%	3.4%	0.0%	14.8%
プラ容器包装	66	19	3	16	33	6	1	4	0	2	3	0	23
	75.0%	21.6%	3.4%	18.2%	37.5%	6.8%	1.1%	4.5%	0.0%	2.3%	3.4%	0.0%	26.1%
その他プラスチック類	70	15	3	15	36	7	0	5	1	2	3	0	19
	79.5%	17.0%	3.4%	17.0%	40.9%	8.0%	0.0%	5.7%	1.1%	2.3%	3.4%	0.0%	21.6%
空き缶	73	13	2	6	36	12	2	3	0	13	2	0	15
	83.0%	14.8%	2.3%	6.7%	40.4%	13.5%	2.2%	3.4%	0.0%	14.6%	2.2%	0.0%	16.9%
その他金属類	60	24	4	7	35	5	1	3	0	5	1	0	31
	68.2%	27.3%	4.5%	8.0%	39.8%	5.7%	1.1%	3.4%	0.0%	5.7%	1.1%	0.0%	35.2%
空きびん	57	30	1	7	35	5	1	3	0	5	1	0	31
	64.8%	34.1%	1.1%	8.0%	39.8%	5.7%	1.1%	3.4%	0.0%	5.7%	1.1%	0.0%	35.2%
繊維類	30	52	6	13	12	2	0	1	0	1	2	0	59
	34.1%	59.1%	6.8%	14.8%	13.6%	2.3%	0.0%	1.1%	0.0%	1.1%	2.3%	0.0%	67.0%
剪定枝、草等	45	40	3	23	11	3	0	1	3	1	1	0	45
	51.1%	45.5%	3.4%	26.1%	12.5%	3.4%	0.0%	1.1%	3.4%	1.1%	1.1%	0.0%	51.1%



①発生の有無



②発生する場合の処理方法

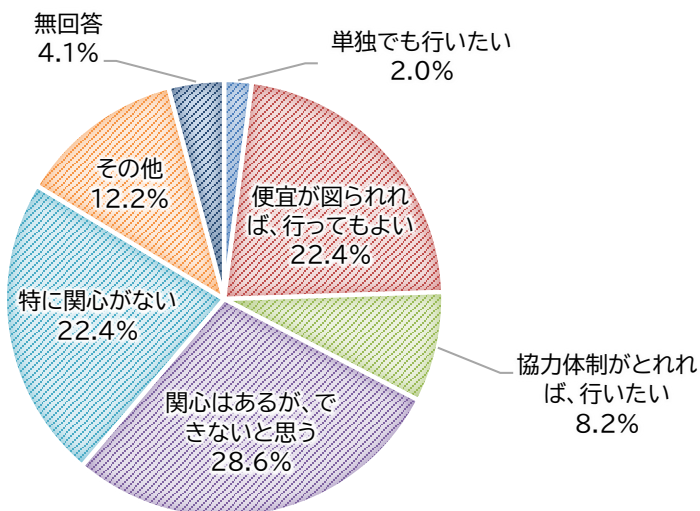


「許可業者に収集を依頼し、事業系ごみ(可燃)として処理している」割合が、複数の分類で多くなっており、実際の可燃ごみ以外のものは今後資源ごみとして回収するよう、指導などが必要であると考えられます。

問 3-3 前問で生ごみの発生が「ある」とご回答された事業所のみお答えください。貴事業所から出る生ごみを、堆肥化装置などを使って資源化处理することについてどのように思われますか。
(〇は1つ)

1. 良いものであれば単独でも行いたい
2. 回収の他、購入補助金など特別な便宜が図られれば、行ってもよい
3. 関連業者間で協力体制がとれれば、行いたい
4. 関心はあるがスペース、コスト、手間、衛生面等からできないと思う
5. 特に関心がない
6. その他(具体的に)

問3-3	回答数	比率
1 良いものであれば単独でも行いたい	1	2.0%
2 回収の他、購入補助金など特別な便宜が図られれば、行ってもよい	11	22.4%
3 関連業者間で協力体制がとれれば、行いたい	4	8.2%
4 関心はあるがスペース、コスト、手間、衛生面等からできないと思う	14	28.6%
5 特に関心がない	11	22.4%
6 その他	6	12.2%
無回答	2	4.1%
合計	49	100.0%

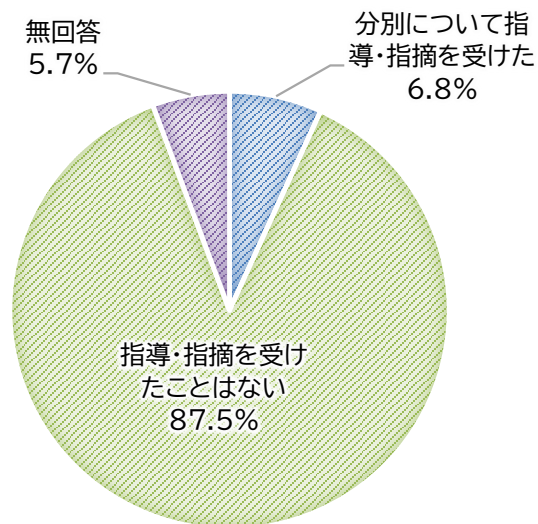


「関心はあるがスペース、コスト、手間、衛生面等からできないと思う」が最も多く 28.6%、次いで「回収の他、購入補助金など特別な便宜が図られれば、行ってもよい」「特に関心がない」が 22.4%となりました。

問 3-4 貴事業所から出るごみについて、市や処理業者などから指導・指摘を受けたことはありますか。
(○は1つ)

1. 分別について指導・指摘を受けた
2. 分別以外の点について指導・指摘を受けた
(内容:)
3. 指導・指摘を受けたことはない

問3-4	回答数	比率
1 分別について指導・指摘を受けた	6	6.8%
2 分別以外の点について指導・指摘を受けた	0	0.0%
3 指導・指摘を受けたことはない	77	87.5%
無回答	5	5.7%
合計	88	100.0%

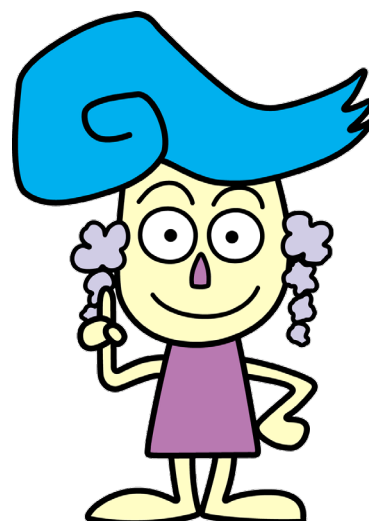


「指導・指摘を受けたことはない」が最も多く 87.5%を占めています。「分別について指導・指摘を受けた」が 6 件ありましたが、内容についての記載はありませんでした。

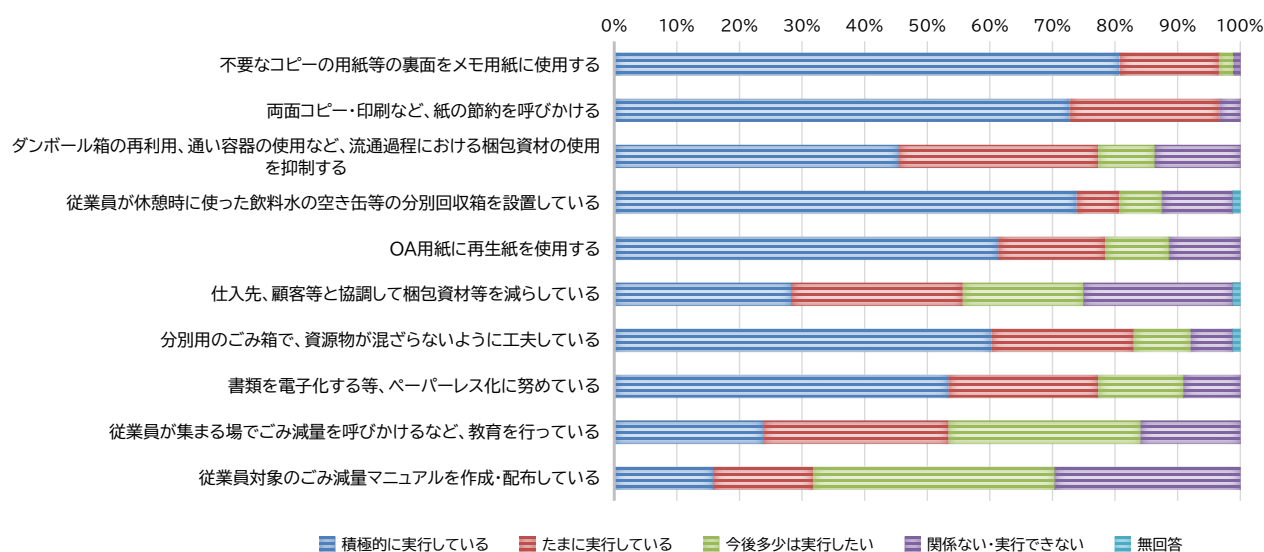
(4) 事業所内でのごみ減量化への取組みについて

問 4-1 ごみ・資源の排出を減らすための取組みについて、貴事業所の現況は
(○は①～⑩の項目ごと番号に一つ)

	積極的に実行している	たまに実行している	い今後多少は実行した	い関係ない・実行できない
① 不要なコピーの用紙等の裏面をメモ用紙に使用する	1	2	3	4
② 両面コピー・印刷など、紙の節約を呼びかける	1	2	3	4
③ ダンボール箱の再利用、通い容器の使用など、流通過程における梱包資材の使用を抑制する	1	2	3	4
④ 従業員が休憩時に使った飲料水の空き缶等の分別回収箱を設置している	1	2	3	4
⑤ OA用紙に再生紙を使用する	1	2	3	4
⑥ 仕入先、顧客等と協調して梱包資材等を減らしている	1	2	3	4
⑦ 分別用のごみ箱で、資源物が混ざらないように工夫している	1	2	3	4
⑧ 書類を電子化する等、ペーパーレス化に努めている	1	2	3	4
⑨ 従業員が集まる場でごみ減量を呼びかけるなど、教育を行っている	1	2	3	4
⑩ 従業員対象のごみ減量マニュアルを作成・配布している	1	2	3	4



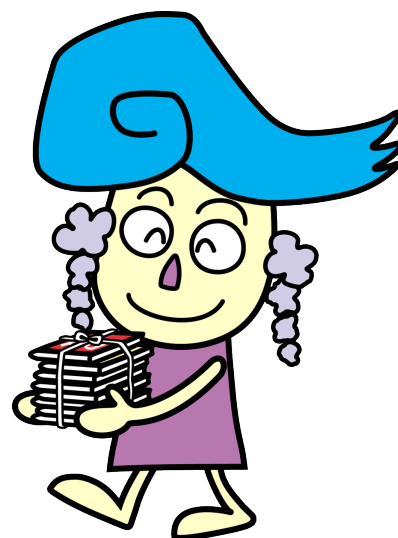
問4-1	積極的に実行している	たまに実行している	今後多少は実行したい	関係ない・実行できない	無回答
① 不要なコピーの用紙等の裏面をメモ用紙に使用する	71 80.7%	14 15.9%	2 2.3%	1 1.1%	0 0.0%
② 両面コピー・印刷など、紙の節約を呼びかける	64 72.7%	21 23.9%	0 0.0%	3 3.4%	0 0.0%
③ ダンボール箱の再利用、通い容器の使用など、流過程における梱包資材の使用を抑制する	40 45.5%	28 31.8%	8 9.1%	12 13.6%	0 0.0%
④ 従業員が休憩時に使った飲料水の空き缶等の分別回収箱を設置している	65 73.9%	6 6.8%	6 6.8%	10 11.4%	1 1.1%
⑤ OA用紙に再生紙を使用する	54 61.4%	15 17.0%	9 10.2%	10 11.4%	0 0.0%
⑥ 仕入先、顧客等と協調して梱包資材等を減らしている	25 28.4%	24 27.3%	17 19.3%	21 23.9%	1 1.1%
⑦ 分別用のごみ箱で、資源物が混ざらないように工夫している	53 60.2%	20 22.7%	8 9.1%	6 6.8%	1 1.1%
⑧ 書類を電子化する等、ペーパーレス化に努めている	47 53.4%	21 23.9%	12 13.6%	8 9.1%	0 0.0%
⑨ 従業員が集まる場でごみ減量を呼びかけるなど、教育を行っている	21 23.9%	26 29.5%	27 30.7%	14 15.9%	0 0.0%
⑩ 従業員対象のごみ減量マニュアルを作成・配布している	14 15.9%	14 15.9%	34 38.6%	26 29.5%	0 0.0%



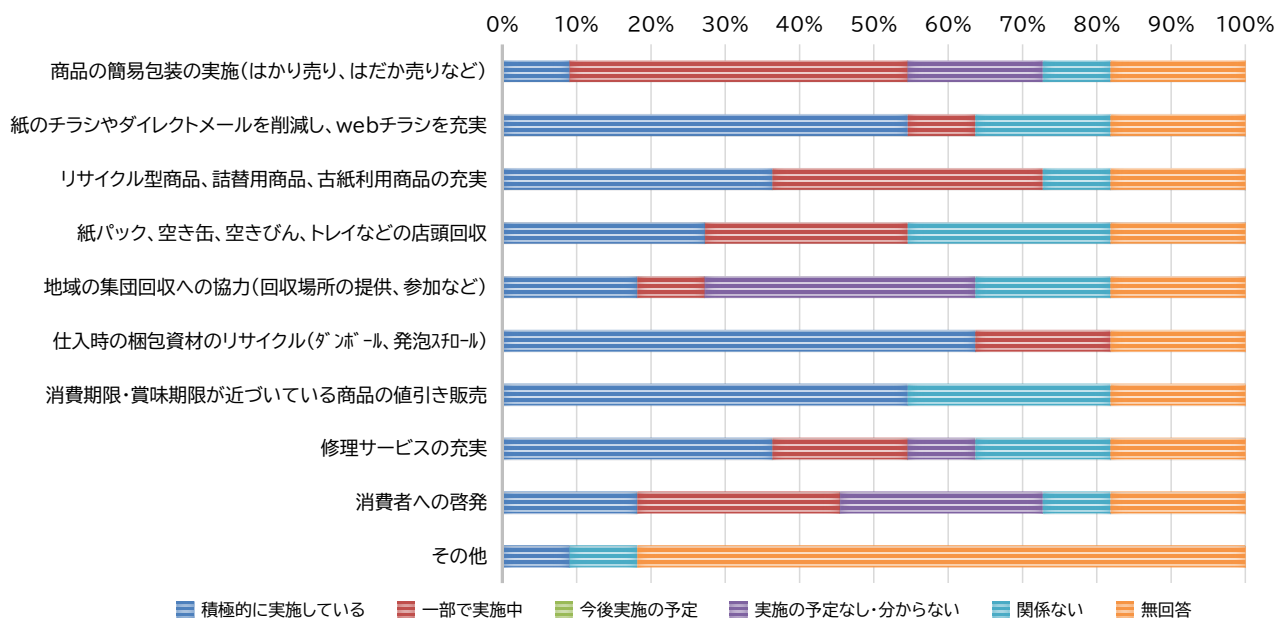
ほとんどの項目で、「積極的に実行している」「たまに実行している」の合計が 70%以上となっていました。「仕入先、顧客等と協調して梱包資材等を減らしている」「従業員が集まる場でごみ減量を呼びかけるなど、教育を行っている」「従業員対象のごみ減量マニュアルを作成・配布している」の 3 つの項目では 70%を下回っており、顧客などとの協調や、従業員の教育に課題があることが伺えます。

問 4-2 小売店(コンビニエンスストア、スーパーマーケットを含む)の方のみお答えください。小売店のご協力によるごみ減量の施策として次のようなものがあげられます。これらの施策についての貴小売店における現状や考えをお答えください。(○は①～⑩の項目ごと番号に1つ)

	積極的に実施している	一部で実施中	今後実施の予定	実施の予定なし・わからない	関係ない
① 商品の簡易包装の実施(はかり売り、はだか売りなど)	1	2	3	4	5
② 紙のチラシやダイレクトメールを削減し、web チラシを充実	1	2	3	4	5
③ リサイクル型商品、詰替用商品、古紙利用商品の充実	1	2	3	4	5
④ 紙パック、空き缶、空きびん、トレイなどの店頭回収	1	2	3	4	5
⑤ 地域の集団回収への協力(回収場所の提供、参加など)	1	2	3	4	5
⑥ 仕入時の梱包資材のリサイクル(ダンボール、発泡スチロール)	1	2	3	4	5
⑦ 消費期限・賞味期限が近づいている商品の値引き販売	1	2	3	4	5
⑧ 修理サービスの充実	1	2	3	4	5
⑨ 消費者への啓発	1	2	3	4	5
⑩ その他(具体的に)	1	2	3	4	5



問4-2	積極的に実施している	一部で実施中	今後実施の予定	実施の予定なし・分からない	関係ない	無回答
① 商品の簡易包装の実施(はかり売り、はだか売りなど)	1 9.1%	5 45.5%	0 0.0%	2 18.2%	1 9.1%	2 18.2%
② 紙のチラシやダイレクトメールを削減し、webチラシを充実	6 6.8%	1 1.1%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.3%	2 2.3%
③ リサイクル型商品、詰替用商品、古紙利用商品の充実	4 36.4%	4 36.4%	0 0.0%	0 0.0%	1 9.1%	2 18.2%
④ 紙パック、空き缶、空きびん、トレイなどの店頭回収	3 27.3%	3 27.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 27.3%	2 18.2%
⑤ 地域の集団回収への協力(回収場所の提供、参加など)	2 18.2%	1 9.1%	0 0.0%	4 36.4%	2 18.2%	2 18.2%
⑥ 仕入時の梱包資材のリサイクル(ダンボール、発泡スチロール)	7 63.6%	2 18.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 18.2%
⑦ 消費期限・賞味期限が近づいている商品の値引き販売	6 54.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 27.3%	2 18.2%
⑧ 修理サービスの充実	4 36.4%	2 18.2%	0 0.0%	1 9.1%	2 18.2%	2 18.2%
⑨ 消費者への啓発	2 18.2%	3 27.3%	0 0.0%	3 27.3%	1 9.1%	2 18.2%
⑩ その他	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 9.1%	9 81.8%

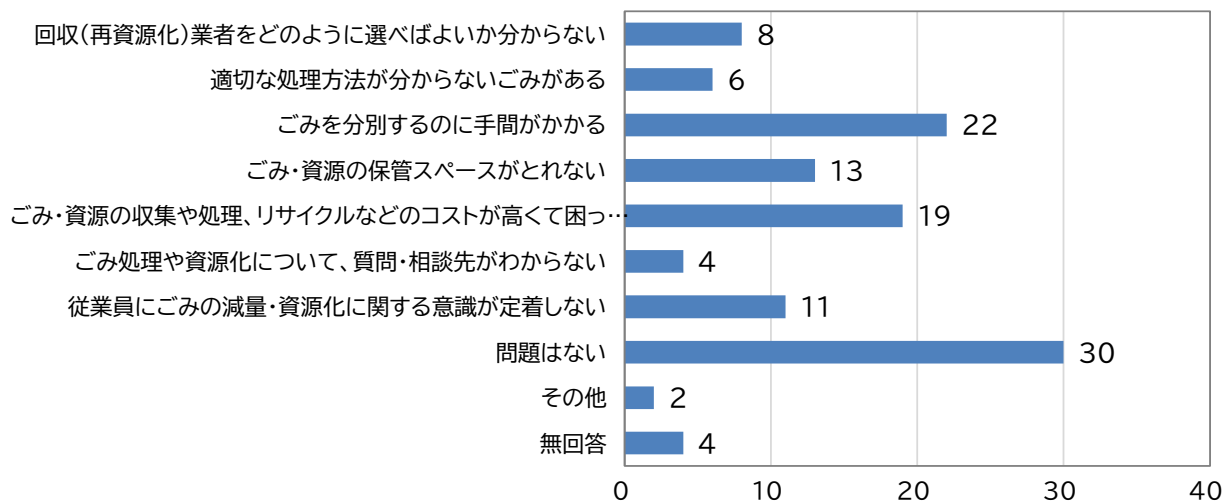


事業所全体での取組みに比べ、割合は低くなるものの、小売店でも多くの項目で「積極的に実施している」「一部で実行中」が50%以上のものが多くみられました。

問 4-3 貴事業所でごみ減量化を行う場合、問題となることは何ですか。(○は2つまで)

1. 回収(再資源化)業者をどのように選べばよいかわからない
2. 適切な処理方法がわからないごみがある(具体的に)
3. ごみを分別するのに手間がかかる
4. ごみ・資源の保管スペースがとれない
5. ごみ・資源の収集や処理、リサイクル等のコストが高くて困っている
6. ごみ処理や資源化について、質問・相談先がわからない
7. 従業員にごみの減量・資源化に関する意識が定着しない
8. 問題はない
9. その他(具体的に)

問4-3	回答数	比率
1 回収(再資源化)業者をどのように選べばよいかわからない	8	9.1%
2 適切な処理方法がわからないごみがある	6	6.8%
3 ごみを分別するのに手間がかかる	22	25.0%
4 ごみ・資源の保管スペースがとれない	13	14.8%
5 ごみ・資源の収集や処理、リサイクルなどのコストが高くて困っている	19	21.6%
6 ごみ処理や資源化について、質問・相談先がわからない	4	4.5%
7 従業員にごみの減量・資源化に関する意識が定着しない	11	12.5%
8 問題はない	30	34.1%
9 その他	2	2.3%
無回答	4	4.5%
合計	119	-



「問題はない」が最も多く 30 件(34.1%)、次いで「ごみを分別するのに手間がかかる」が 22 件(25.0%)となっています。

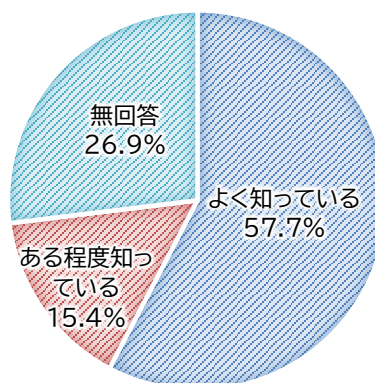
(5) 食品ロスの削減への取組みについて

食品関係製造業、食料品卸売業・小売業、飲食店の方のみの回答となっています。

問 5-1 「食品ロス」とは、本来は食べられるのに廃棄されてしまう食品のことはいいです。現在、わが国の食品ロスの量は年間 500 万トン以上にのぼり、そのうちの半数以上は、食品製造業、食品卸売・小売業、外食産業などの事務所から発生しています。貴事業所は、食品ロスの問題についてご存じですか。(〇は1つ)

1. よく知っている	2. ある程度知っている
3. あまり知らない	4. 全く知らない

問5-1	回答数	比率
1 よく知っている	15	57.7%
2 ある程度知っている	4	15.4%
3 あまり知らない	0	0.0%
4 全く知らない	0	0.0%
無回答	7	26.9%
合計	26	100.0%

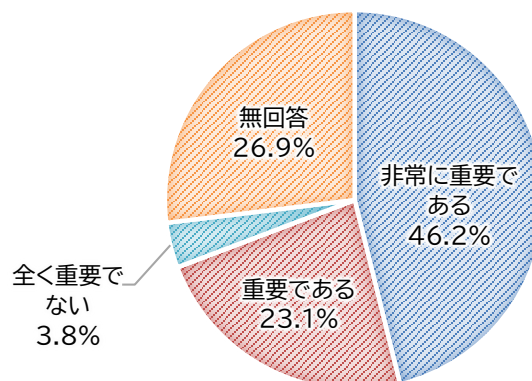


「よく知っている」が最も多く 57.7%、次いで「ある程度知っている」が 15.4%、「あまり知らない」「全く知らない」が 0%であり、食品ロスの問題について周知されていることがわかります。

問 5-2 貴事業所の経営において、食品ロスの削減はどの程度重要な課題ですか。(〇は1つ)

1. 非常に重要である	2. 重要である
3. どちらともいえない	4. あまり重要でない
5. 全く重要でない	

問5-2	回答数	比率
1 非常に重要である	12	46.2%
2 重要である	6	23.1%
3 どちらともいえない	0	0.0%
4 あまり重要でない	0	0.0%
5 全く重要でない	1	3.8%
無回答	7	26.9%
合計	26	100.0%

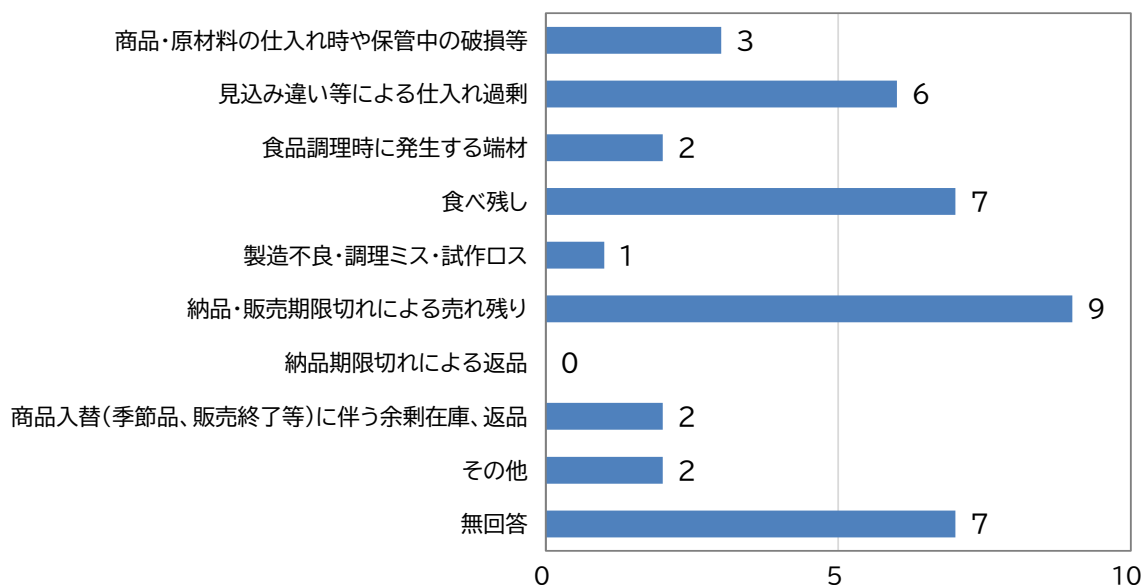


「非常に重要である」が最も多く46.2%、次いで「重要である」が23.1%となり、食品ロスの削減は重要な課題と認識されていることが伺えます。

問 5-3 貴事業所で発生する食品ロスの発生原因として、多いものに○をつけてください。(○は3つまで)

1. 商品・原材料の仕入れ時や保管中の破損等
2. 見込み違い等による仕入れ過剰
3. 食品調理時に発生する端材
4. 食べ残し
5. 製造不良・調理ミス・試作ロス
6. 納品・販売期限切れによる売れ残り
7. 納品期限切れによる返品
8. 商品入替(季節品、販売終了等)に伴う余剰在庫、返品
9. その他()

問5-3	回答数	比率
1 商品・原材料の仕入れ時や保管中の破損等	3	11.5%
2 見込み違い等による仕入れ過剰	6	23.1%
3 食品調理時に発生する端材	2	7.7%
4 食べ残し	7	26.9%
5 製造不良・調理ミス・試作ロス	1	3.8%
6 納品・販売期限切れによる売れ残り	9	34.6%
7 納品期限切れによる返品	0	0.0%
8 商品入替(季節品、販売終了等)に伴う余剰在庫、返品	2	7.7%
9 その他	2	7.7%
無回答	7	26.9%
合計	39	—



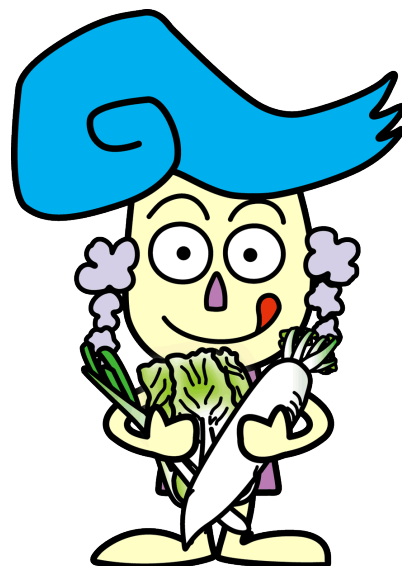
「納品・販売期限切れによる売れ残り」は最も多く 9 件(34.6%)、次いで、「食べ残し」が 7 件(26.9%)となりました。

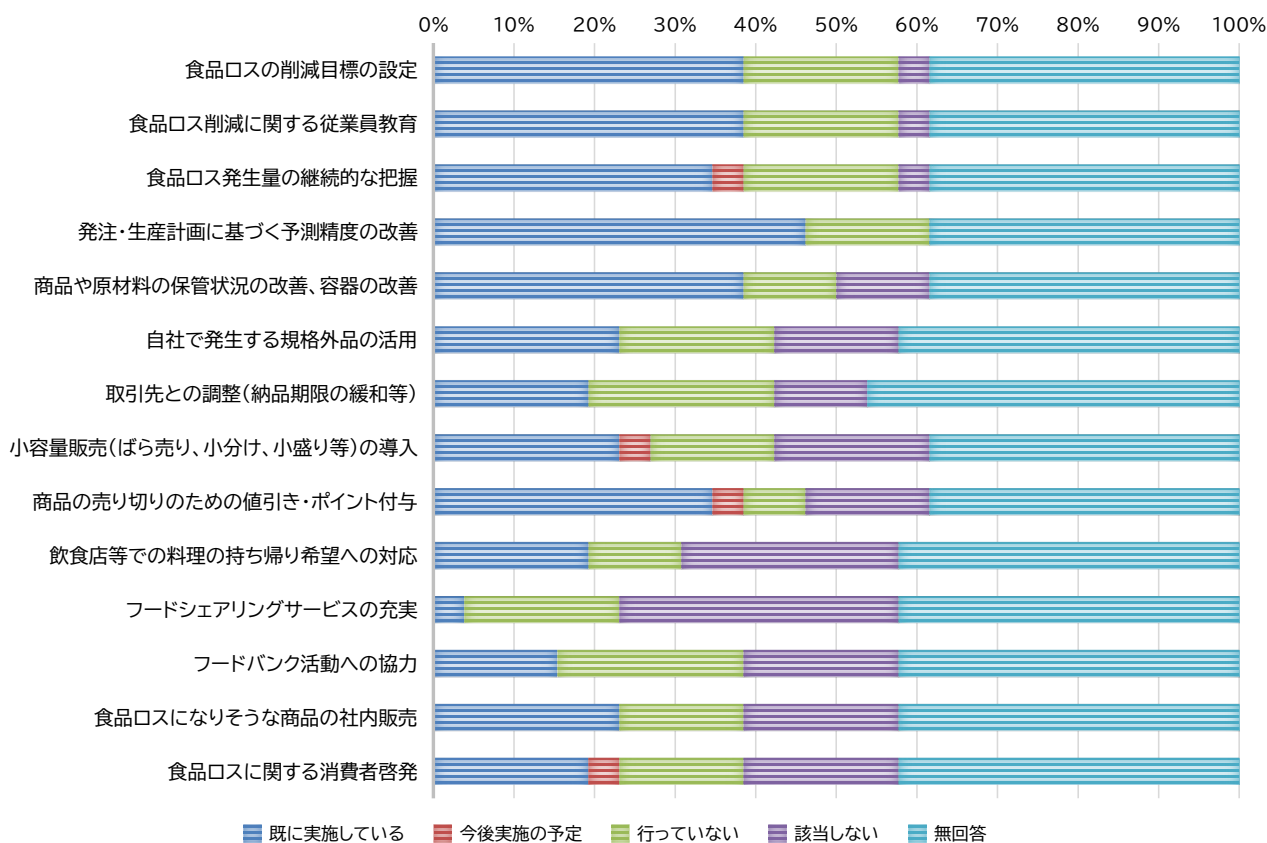
問 5-4 貴事業所では、食品ロス削減のため、以下の項目を実施していますか。

(○は①～⑮の項目ごと番号に1つ)

	既に実施している	今後実施の予定	行っていない	該当しない
① 食品ロスの削減目標の設定	1	2	3	4
② 食品ロス削減に関する従業員教育	1	2	3	4
③ 食品ロス発生量の継続的な把握	1	2	3	4
④ 発注・生産計画に基づく予測精度の改善	1	2	3	4
⑤ 商品や原材料の保管状況の改善、容器の改善	1	2	3	4
⑥ 自社で発生する規格外品の活用	1	2	3	4
⑦ 取引先との調整(納品期限の緩和等)	1	2	3	4
⑧ 小容量販売(ばら売り、小分け、小盛り等)の導入	1	2	3	4
⑨ 商品の売り切りのための値引き・ポイント付与	1	2	3	4
⑩ 飲食店等での料理の持ち帰り希望への対応	1	2	3	4
⑪ フードシェアリングサービス ^{注1)} の充実	1	2	3	4
⑫ フードバンク活動への協力(食品提供など)	1	2	3	4
⑬ 食品ロスになりそうな商品の社内販売	1	2	3	4
⑭ 食品ロスに関する消費者啓発(食べ切り、手前どり、3010 運動等)	1	2	3	4
⑮ その他に行っている取組み()				

問5-4	既に実施している	今後実施の予定	行っていない	該当しない	無回答
① 食品ロスの削減目標の設定	10 38.5%	0 0.0%	5 19.2%	1 3.8%	10 38.5%
② 食品ロス削減に関する従業員教育	10 38.5%	0 0.0%	5 19.2%	1 3.8%	10 38.5%
③ 食品ロス発生量の継続的な把握	9 34.6%	1 3.8%	5 19.2%	1 3.8%	10 38.5%
④ 発注・生産計画に基づく予測精度の改善	12 46.2%	0 0.0%	4 15.4%	0 0.0%	10 38.5%
⑤ 商品や原材料の保管状況の改善、容器の改善	10 38.5%	0 0.0%	3 11.5%	3 11.5%	10 38.5%
⑥ 自社で発生する規格外品の活用	6 23.1%	0 0.0%	5 19.2%	4 15.4%	11 42.3%
⑦ 取引先との調整(納品期限の緩和等)	5 19.2%	0 0.0%	6 23.1%	3 11.5%	12 46.2%
⑧ 小容量販売(ばら売り、小分け、小盛り等)の導入	6 23.1%	1 3.8%	4 15.4%	5 19.2%	10 38.5%
⑨ 商品の売り切りのための値引き・ポイント付与	9 34.6%	1 3.8%	2 7.7%	4 15.4%	10 38.5%
⑩ 飲食店等での料理の持ち帰り希望への対応	5 19.2%	0 0.0%	3 11.5%	7 26.9%	11 42.3%
⑪ フードシェアリングサービスの充実	1 3.8%	0 0.0%	5 19.2%	9 34.6%	11 42.3%
⑫ フードバンク活動への協力	4 15.4%	0 0.0%	6 23.1%	5 19.2%	11 42.3%
⑬ 食品ロスになりそうな商品の社内販売	6 23.1%	0 0.0%	4 15.4%	5 19.2%	11 42.3%
⑭ 食品ロスに関する消費者啓発	5 19.2%	1 3.8%	4 15.4%	5 19.2%	11 42.3%





各取組みについて「すでに実施している」事業者が多いものでも 40%程度であり、現状では食品ロス削減は取組みがあまり行われていないことが伺えます。今後、事業種ごとに適した取組みの周知などを行うことで、改善される可能性があります。

2. アンケート調査票

2.1 家庭系アンケート調査票

江南市ごみ処理基本計画改訂に関するアンケート調査

日頃は本市のごみ処理行政にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび、市では「環境負荷を最小限に抑え、資源を有効活用する協働・循環のまち」の実現を理念に掲げて平成26年3月に策定した「ごみ処理基本計画」の見直しを行っております。

この調査は、市民の皆さまのごみ処理に関するお考えや、日頃実践していることなどについてお伺いし、計画に反映させることを目的として実施するものです。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、このアンケートは、本市にお住まいの18歳以上の皆さまから無作為に抽出した3,000名の方をお願いしています。アンケートは無記名で行い、ご回答いただいた内容については、すべて統計的に処理し、個人の意見が公表されたり、他に漏れたりしてご迷惑をおかけすることはありません。

令和6年8月

江南市長 澤田 和延

■回答期限：令和6年9月24日（火）まで

【ご回答にあたってのお願い】

- ・ 質問ごとに、当てはまる番号を回答欄にご記入ください。なお、記入にあたって特に指示がある項目については、指示に従ってご回答ください。
- ・ 「その他」の場合は、（ ）内にできるだけご記入ください。
- ・ ご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒にこの用紙を入れていただき、郵便ポストにご投函ください（切手は不要です）。
- ・ 本調査は **WEB でご回答いただくことも可能**です。その場合は、**次の URL または二次元バーコードからサイトにアクセスし、9月24日まで**にご回答ください。

< アンケートサイト URL >

<https://forms.office.com/r/Gq6Va7zvJ6>

※パソコン・スマートフォンどちらでもご回答可能です

< 二次元バーコード >



< アンケートに関するお問合せ先 >

江南市役所 環境課 ごみ対策グループ

Tel 0587-54-1111（内線 407）

kankyou@city.konan.lg.jp

< アンケート受託機関 >

アジア航測株式会社 江南市アンケート担当 Tel 052-919-0186

1. 基礎的事項／回答者の属性について

あなた自身のことをお聞かせください。

問 1 あなた自身やご家族について、当てはまるものに○をつけてください。

年 齢	1. 10 歳代 4. 40 歳代 7. 70 歳以上	2. 20 歳代 5. 50 歳代	3. 30 歳代 6. 60 歳代		
江南市での 在住年数	1. 1 年未満 4. 11 年～20 年	2. 1 年～5 年 5. 21 年以上	3. 6 年～10 年		
あなたの 主な職業	1. 農林漁業 4. 公務員 7. パート・アルバイト 10. その他（具体的に	2. 自営業 5. 自由業 8. 無職	3. 会社員 6. 主婦・主夫 9. 学生)		
世帯人数	1. 1 人	2. 2 人	3. 3 人	4. 4 人	5. 5 人以上
同居している ご家族の職業 (複数回答可)	1. 農林漁業 4. 公務員 7. パート・アルバイト 10. その他（具体的に	2. 自営業 5. 自由業 8. 無職	3. 会社員 6. 主婦・主夫 9. 学生)		
お住まいの 小学校区	1. 古知野東小学校区 4. 古知野北小学校区 7. 宮田小学校区 10. 藤里小学校区 11. 不明（住所の字・丁目をお書きください	2. 古知野西小学校区 5. 布袋小学校区 8. 草井小学校区	3. 古知野南小学校区 6. 布袋北小学校区 9. 門弟山小学校区)		
居住形態	1. 戸建住宅（持ち家） 3. 集合住宅（持ち家） 5. 店舗兼住宅（持ち家・賃貸） 7. その他（具体的に	2. 戸建住宅（賃貸） 4. 集合住宅（賃貸） 6. 社宅・寮)			

2. ごみやリサイクルに対する関心や取組について

問 2-1 ごみの減量や資源のリサイクルに関心がありますか。【○は 1 つ】

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 非常に関心がある | 2. ある程度関心がある |
| 3. 特に関心はない | 4. 分からない |

問 2-2 関心があると答えた方（前問で 1 又は 2 を選択）は、次のどのような内容に関心がありますか。〔〇は 3 つまで〕

1. 使い捨てのスプーン、ストロー等の使い捨てプラスチック製品の問題
2. まだ使えるものを簡単に捨ててしまう風潮の問題
3. 資源となるものが十分にリサイクルされていない問題
4. 可燃ごみ置場や資源ごみ集積場所への排出マナーの問題
5. 空き地などへのごみの不法投棄の問題
6. プラスチックごみによる海洋汚染など地球環境につながる問題
7. その他（具体的に

）

問 2-3 次の A～L に示す暮らしの中でのごみ減量やリサイクルへの取組について、あなた（あなたのご家族）の現状は〔〇は A～M の項目ごとに 1 つ〕

	積極的 に実行して いる	たまに 実行してい る	今後多少 は実行し たい	実行 できない	分 から ない
A. 買い物袋（エコバッグ）を持参し、レジ袋を購入しない	1	2	3	4	5
B. コンビニやスーパー等で、プラスチックのスプーン、ストローなどを断るようにしている	1	2	3	4	5
C. 使い捨て商品ではなく、なるべく詰め替え商品を選択する	1	2	3	4	5
D. 壊れたら修理ができる商品を選択する	1	2	3	4	5
E. ものはすぐ捨てず別の用途で活用する（タオルを雑巾にする等）	1	2	3	4	5
F. 生ごみはコンポスト、生ごみ処理機等を用いて減量する	1	2	3	4	5
G. 食品は使いきれ的分だけ購入し、無駄なく調理する	1	2	3	4	5
H. ごみや環境問題について家族で話し合う	1	2	3	4	5
I. 不用品は人に譲ったり、フリマアプリなどを利用して譲渡している	1	2	3	4	5
J. 一時的に使うものは、レンタル・シェアリングサービスなどを利用する	1	2	3	4	5
K. 市の収集でゴミを分別して決められた場所へ出す	1	2	3	4	5
L. リサイクル講習会やごみの施設見学会等に参加する	1	2	3	4	5
M. 地域での清掃活動やリサイクル活動に参加する	1	2	3	4	5

問 2-4 A～Fは、現在江南市において行われている取組・ツール等です。A～Fに示す項目について、どの程度ご存じですか。また、あなた（あなたのご家族）は関心がありますか。〔〇はA～Fの項目ごとに各1つ〕

	認知度			関心度		
	知っている	意味は知らないが聞いたことはある	知らない・聞いたことはない	参加・活用したことがある	参加・活用したことはないが関心はある	関心はない
A. ごみ減量57（コウナン）運動	1	2	3	1	2	3
B. 江南市ゴミチェッカー（ごみ分別アプリ）	1	2	3	1	2	3
C. フードドライブ ^{注1)}	1	2	3	1	2	3
D. こうなんタベマルシェ ^{注2)}	1	2	3	1	2	3
E. 3010（さんまるいちまる）運動 ^{注3)}	1	2	3	1	2	3
F. 家庭用生ごみ処理機等の購入補助	1	2	3	1	2	3

注 1) フードドライブ：家庭で眠っている食品を寄付してもらい、支援を必要とする個人、団体に食品を提供すること。

注 2) こうなんタベマルシェ：食品ロスの削減をテーマに、協力店と市民をマッチングする仕組み。

注 3) 3010（さんまるいちまる）運動：外食産業における食べ残しを削減するため、会食や宴会時などで乾杯後30分と終了前10分を離席しないようにする呼びかけ。

3. 食品ロスに関する関心や取組について

「食品ロス」とは、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品のこと。作り過ぎて廃棄される食品、賞味期限・消費期限切れ等により廃棄される食品等のことを指します。

問 3-1 あなたは「食品ロス」という言葉やその意味を知っていますか。〔〇は1つ〕

- | | |
|------------|--------------|
| 1. よく知っている | 2. ある程度知っている |
| 3. あまり知らない | 4. まったく知らない |

問 3-2 あなたのご家庭では、どのくらいの頻度で食品ロスが発生しますか。〔〇は1つ〕

- | |
|-----------------------|
| 1. ほぼ毎日発生する |
| 2. ときどき（週に2～3回程度）発生する |
| 3. たまに（月に数回程度）発生する |
| 4. ほとんど発生しない（年に数回以内） |

問 3-3 あなたのご家庭では、どのような理由で食品ロスが発生しますか。〔〇は2つまで〕

1. 色や見た目、においなどの変化
2. 消費期限切れ
3. 賞味期限切れ
4. 食材の買いすぎ、料理の作りすぎ
5. もらい物だが、使わ（食べ）なかった
6. その他（ ）

問 3-4 あなたのご家庭で、廃棄することが多い食品はどのような種類ですか。

1. 野菜、果物
2. 肉類
3. 魚介類
4. 日配品（パン、乳製品、卵、豆腐、納豆など）
5. 加工食品（ハム、ソーセージなど）
6. 市販の総菜、お弁当など
7. 自分の家庭で調理したもの
8. その他（ ）

問 3-5 あなたのご家庭で、食品ロスを減らすために、行っていることはありますか。〔〇はA～Iの項目ごとに1つ〕

	取り組んでいる	今後やってみたい	取 り 組 み た い と 思 わ な い
A. 野菜の外葉や皮などを過度に除去しない	1	2	3
B. 食材を無駄にしないように、ちょうどいい量を購入する	1	2	3
C. 買い物に行く前に、食品の在庫を確認する	1	2	3
D. すぐ使う食品は、売り場の棚の手前から取る	1	2	3
E. 食事を作りすぎないように、献立を工夫する	1	2	3
F. 一度に食べ切れない食品は、小分け冷凍などの食材を長持ちさせる工夫をする	1	2	3
G. 残った食品などは、違う献立にして使い切る	1	2	3
H. フードバンク、フードドライブ（家庭で食べきれない食品を持ち寄り、支援を必要とする福祉施設や団体などに寄付する活動）に参加する	1	2	3
I. その他（具体的に ）	1	2	3

4. ごみや資源の処分方法について

問4-1 あなたの家庭では、生ごみ（A：料理くず、食べ残し等）はどのように処分していますか。〔〇は2つまで〕

1. 市の可燃ごみ（台所ごみ）収集に出す
2. 家庭用生ごみ処理機で処理する
3. 密封発酵容器（ボカシ容器）、コンポストなどで堆肥化する
4. 畑に埋める
5. その他（具体的に

（注）家庭用生ごみ処理機：生ごみを電気で乾燥させたり微生物によって分解させたりする機器。価格は数万円程度のもが主流。

コンポスト容器：土を掘り下げて設置し、生ごみと土をサンドイッチ状にして堆肥を作っていくもの。

密封発酵容器（ボカシ容器）：土がないところでも「ボカシ」を利用して生ごみの堆肥化が可能な容器。



問4-2 前問で1（可燃ごみ収集に出す）と回答された方に伺います。生ごみを減らすために、行っていることはありますか。

1. 生ごみは水切りをしてから捨てている
2. 生ごみは濡らさない、乾燥させるなどしてから捨てている
3. 特に何もしていない
4. その他（具体的に

問4-3 あなたの家庭では、次の家庭用生ごみ処理機器を用いて、生ごみの減量化・堆肥化をしていますか。〔機器ごとに〇は1つ〕

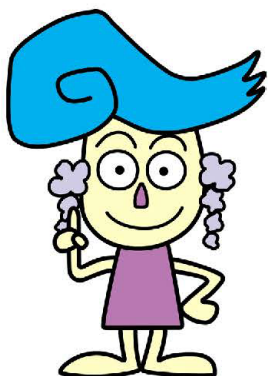
		家庭用生ごみ処理機	コンポスト容器	密封発酵容器 （ボカシ容器）
使用状況	購入して使用している	1	1	1
	以前使用していたが、現在は使用していない	2	2	2
	使用したことはないが、良いものであれば使用したい	3	3	3
	使用するつもりはない	4	4	4

問４－４ 紙類・布類（Ｂ～Ｇ）の処分はどうしていますか〔品目ごとに○は２つまで〕

		B 新聞・チラシ	C 雑誌	D 雑がみ	E ダンボール	F 牛乳パック	G 布類
処分方法	・市の可燃ごみ（台所ごみ）収集に出すことがある	1	1	1	1	1	1
	・市の資源ごみ収集（地区の資源ごみ集積場所）	2	2	2	2	2	2
	・市のリサイクルステーションに持参	3	3	3	3	3	3
	・子供会、自治会等の地域の集団回収	4	4	4	4	4	4
	・民間回収業者が設置するリサイクルコンテナ	5	5	5	5	5	5
	・スーパー、新聞店等の販売店の回収	6	6	6	6	6	6
	・その他（具体的に)	7	7	7	7	7	7

問４－５ 前問で、Ｂ～Ｇのいずれか１つでも１と回答された方に伺います。あなたがその品目を可燃ごみ収集に出した理由は何ですか。〔○は１つ〕

1. 市の資源ごみ収集の実施回数が少ないから
2. 地区の資源ごみ集積場所まで持っていくのが面倒だから
3. 地区の資源ごみ集積場所が遠く、持っていくことができないから
4. 仕事等の都合上、市の資源ごみ収集日に持っていくことができないから
5. その他（具体的に)



問４－６ プラスチック類（Ｈ～Ｌ）の処分はどうしていますか【品目ごとに○は２つまで】

		H 発泡トレイ	I 発泡スチロール	J ペットボトル	K 容器包装類 プラスチック製	L その他廃プラスチック類
処分方法	・市の可燃ごみ（台所ごみ）収集に出すことがある	1	1	1	1	1
	・市の資源ごみ収集（地区の資源ごみ集積場所）	2	2	2	2	2
	・市のリサイクルステーションに持参	3	3	3	3	3
	・スーパー等の販売店の回収	4	4	4	4	4
	・その他（具体的に)	5	5	5	5	5

問４－７ 前問で、Ｈ～Ｌのいずれか１つでも１と回答された方に伺います。あなたがその品目を可燃ごみ収集に出した理由は何ですか。【○は１つ】

1. 市の資源ごみ収集の実施回数が少ないから
2. 地区の資源ごみ集積場所まで持っていくのが面倒だから
3. 地区の資源ごみ集積場所が遠く、持っていくことができないから
4. 仕事等の都合上、市の資源ごみ収集日に持っていくことができないから
5. その他（具体的に)

問４－８ 剪定枝、草等（Ｍ）の処分はどうしていますか【○は１つ】

1. 市の可燃ごみ（台所ごみ）収集に出すことがある
2. 市の資源ごみ収集（地区の資源ごみ集積場所）
3. 市のリサイクルステーションに持参
4. その他（具体的に)



1. 広報紙	2. ホームページ	3. SNS
4. 地域の回覧板	5. 地域の掲示板	6. 新聞のチラシ
7. 市指定の可燃ごみ袋への印刷		
8. その他（具体的に		

問6 その他、ごみ減量や資源のリサイクルに関するご意見・ご要望を自由にご記入ください。

A cartoon girl with bright blue hair, purple pigtails, and a purple dress, standing at the bottom right corner of a lined paper template. The paper has horizontal lines and a vertical margin line on the left.

9

2.2 事業系アンケート調査票

江南市ごみ処理基本計画改訂に関するアンケート調査 (事業系ごみ)

事業所の皆様方には、日頃は本市のごみ処理行政にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび、市では「環境負荷を最小限に抑え、資源を有効活用する協働・循環のまち」の実現を理念に掲げて平成26年3月に策定した「ごみ処理基本計画」の見直しを行っております。

この調査は、本市の事業所の皆さまのごみ処理に関するお考えや、日頃実践していることなどについてお伺いし、計画に反映させることを目的として実施するものです。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、このアンケートは、本市に所在する事業所から無作為に抽出した200事業所をお願いしています。アンケートは無記名で行い、ご回答いただいた内容については統計的に処理するため、個々の事業所の意見が公表されたり、他に漏れたりしてご迷惑をおかけすることはありません。

令和6年8月
江南市長 澤田 和延

■回答期限：令和6年9月24日（火）まで

【ご回答にあたってのお願い】

- ・ 貴事業所が営業所や支店の場合は、貴事業所のみの状況についてご回答ください。
- ・ ご回答は、貴事業所において、ごみの処理を主に担当されている方がご記入ください。
- ・ 質問ごとに、当てはまる番号を回答欄にご記入ください。なお、ご記入にあたって特に指示がある項目については、指示に従ってご回答ください。
- ・ 「その他」の場合は、() 内にできるだけご記入ください。
- ・ ご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒にこの用紙を入れていただき、郵便ポストにご投函ください（切手は不要です）。
- ・ 本調査は WEBでご回答いただくことも可能です。その場合は、次の URL または二次元バーコードからサイトにアクセスし、9月24日までにご回答ください。

<アンケートサイト URL>

<https://forms.office.com/r/jfVSGTkZkf>

※パソコン・スマートフォンどちらでもご回答可能です

<二次元バーコード>



<アンケートに関するお問合せ先>

江南市役所 環境課 ごみ対策グループ

Tel 0587-54-1111（内線 407）

kankyou@city.konan.lg.jp

<アンケート受託機関>

アジア航測株式会社 江南市アンケート担当 Tel 052-919-0186

1. 基礎的事項／回答者の属性について

貴事業所についてお聞かせください。

問 1－1 貴事業所の形態は次のどれに当てはまりますか〔○は主なもの 1 つ〕

- | | |
|-----------------------|--------------|
| 1. オフィス（事務所、営業所） | 2. 店舗・食堂 |
| 3. 工場・作業場 | 4. 倉庫・配送センター |
| 5. その他（病院・集客施設・教育施設等） | |

問 1－2 貴事業所の業種は

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1－1 繊維関係製造業 | 1－2 食品関係製造業 |
| 1－3 木製品関係製造業 | 1－4 紙製造、印刷関係 |
| 1－5 その他の製造業 | |
| 2 運輸業 | |
| 3 卸売業 | |
| 4－1 各種商品小売 | 4－2 スーパーマーケット |
| 4－3 コンビニエンスストア | 4－4 上記以外の食料品小売 |
| 4－5 衣料、身の回りの品小売 | 4－6 自動車、自転車小売 |
| 5 飲食店 | |
| 6－1 教育関係 | 6－2 医療福祉関係 |
| 6－3 土木、建築関係 | 6－4 その他のサービス業 |
| 7 農業 | 8 その他（ ） |

問 1－3 貴事業所の従業員数は（経営者、長期パート等を含む）

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 1～4人 | 2. 5～9人 |
| 3. 10～19人 | 4. 20～29人 |
| 5. 30～49人 | 6. 50～99人 |
| 7. 100人以上 | |

2. ごみ問題への取組全般について

問2-1 事業所から排出されるごみを一般家庭の可燃ごみ置場に排出してはいけないなど、事業所から発生するごみについては、事業者自らの責任で処理すること（排出者責任）が法律で定められていることを知っていますか。〔〇は1つ〕

- 1. よく知っている
- 2. 法律はともかく、責任があることは知っている
- 3. 知らない

問2-2 貴事業所は、この排出者責任を果たしていると思いますか。〔〇は1つ〕

- 1. 十分に果たしている
- 2. 十分とはいえないかもしれないが、ある程度は果たしている
- 3. あまり果たしていない
- 4. 全く果たしていない
- 5. よく分からない

問2-3 貴事業所では、環境やごみ問題への取組をどのように捉えていますか。〔〇は1つ〕

- 1. 積極的に取り組むことが企業・事業所の責務である
- 2. 環境やごみ問題への取組はビジネスチャンスである
- 3. 環境やごみ問題へ取り組むことで、企業の業績が向上する
- 4. 環境やごみ問題へ取り組むことで、企業のイメージアップとなる
- 5. 費用ばかりかかって経営に対する負担となっている
- 6. その他（ ）

問2-4 貴事業所ではごみ減量担当の職員を配置していますか。〔〇は1つ〕

- 1. 配置している
- 2. 配置する予定である
- 3. 配置していない

3. ごみや資源の処分方法について

問3-1 貴事業所から日常的に発生している一般廃棄物の分別区分についてお聞きします。分別して収集しているごみは次の表の「①分別区分」の欄に○を付けてください。「②ごみの種類」に該当する分別区分がない場合は、「その他」に追加してください。

①分別区分 ※分別区分を設けている 場合○をつけてください	②ごみの種類
	1. 可燃ごみ（燃えるごみ）
	2. 不燃ごみ（燃えないごみ）
	3. ビン・カン類
	4. ペットボトル
	5. 紙類（ダンボール、新聞・雑誌、雑がみ、OA用紙等）
	6. その他 []]

【記入例】下図の区分の場合



①分別区分 ※分別区分を設けている 場合○をつけてください	②ごみの種類
○	1. 可燃ごみ（燃えるごみ）
	2. 不燃ごみ（燃えないごみ）
○	3. ビン・カン類
○	4. ペットボトル
	5. 紙類（ダンボール、新聞・雑誌、雑がみ、OA用紙等）
○	6. その他 [プラスチック類]]

問3-2 貴事業所から発生するごみや資源について、①発生の有無、②発生する場合の処理方法について記入してください。

なお、②処理方法は、表の下の1～9の選択肢から、該当する番号に○をつけ、「9. その他」の場合は、下に具体的に記載してください。

分類	品目	①発生の有無	②発生する場合の処理方法（選択肢から選んで○）									
可燃ごみ		あり なし	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
古紙類	新聞・チラシ	あり なし	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	雑誌	あり なし	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	ダンボール	あり なし	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	シュレッダーくず	あり なし	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	OA用紙	あり なし	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	雑がみ	あり なし	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
生ごみ	売れ残り食品	あり なし	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	調理くず、製造残渣	あり なし	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	食べ残し	あり なし	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
プラスチック類	ペットボトル	あり なし	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	プラ容器包装	あり なし	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	その他プラスチック類	あり なし	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
金属類	空き缶	あり なし	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	その他金属類	あり なし	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
ガラス類	空きびん	あり なし	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
その他	繊維類	あり なし	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	剪定枝、草等	あり なし	1	2	3	4	5	6	7	8	9	

【②処理方法の選択肢】

1. 許可業者に収集を依頼し、事業系ごみ（可燃）として処理している
2. 許可業者に収集を依頼し、資源物として処理している
3. 資源化業者に引き渡し、資源化している
4. 子供会、自治会等の地域の集団回収に出す
5. 江南市の資源ごみ収集に出す
6. 自社で焼却・資源化等の処理をしている
7. 納入業者が回収し、資源化している
8. ビルの管理会社等が処理しており、詳細は分からない
9. その他

【「9. その他」の場合】

品目	処理方法

問３－３ 前問で生ごみの発生が「ある」とご回答された事業所のみお答えください。貴事業所から出る生ごみを、堆肥化装置などを使って資源化处理することについてどのように思われますか。〔〇は１つ〕

- １．良いものであれば単独でも行いたい
- ２．回収の他、購入補助金など特別な便宜が図られれば、行ってもよい
- ３．関連業者間で協力体制がとれれば、行いたい
- ４．関心はあるがスペース、コスト、手間、衛生面等からできないと思う
- ５．特に関心がない
- ６．その他(具体的に)

問３－４ 貴事業所から出るごみについて、市や処理業者等から指導・指摘を受けたことはありますか。〔〇は１つ〕

- １．分別について指導・指摘を受けた
- ２．分別以外の点について指導・指摘を受けた
(内容：)
- ３．指導・指摘を受けたことはない

4. 事業所内でのごみ減量化への取組について

問４－１ ごみ・資源の排出を減らすための取組について、貴事業所の現況は

〔〇は①～⑩の項目ごと番号に１つ〕

	積 極 的 に 実 行 し て い る	た ま に 実 行 し て い る	今 後 多 少 は 実 行 し たい	関 係 な い ・ 実 行 で き ない
① 不要なコピーの用紙等の裏面をメモ用紙に使用する	1	2	3	4
② 両面コピー・印刷など、紙の節約を呼びかける	1	2	3	4
③ ダンボール箱の再利用、通い容器の使用など、流過程における梱包資材の使用を抑制する	1	2	3	4
④ 従業員が休憩時に使った飲料水の空き缶等の分別回収箱を設置している	1	2	3	4
⑤ ＯＡ用紙に再生紙を使用する	1	2	3	4
⑥ 仕入先、顧客等と協調して梱包資材等を減らしている	1	2	3	4
⑦ 分別用のごみ箱で、資源物が混ざらないように工夫している	1	2	3	4
⑧ 書類を電子化する等、ペーパーレス化に努めている	1	2	3	4
⑨ 従業員が集まる場でごみ減量を呼びかけるなど、教育を行っている	1	2	3	4
⑩ 従業員対象のごみ減量マニュアルを作成・配布している	1	2	3	4

問４－２ 小売店(コンビニエンスストア、スーパーマーケットを含む)の方のみお答えください。小売店のご協力によるごみ減量の施策として次のようなものがあげられます。これらの施策についての貴小売店における現状や考えをお答えください。
〔〇は①～⑩の項目ごと番号に１つ〕

	積極的に実施している	一部で実施中	今後実施の予定	実施の予定なし・分からない	関係ない
① 商品の簡易包装の実施（はかり売り、はだか売りなど）	1	2	3	4	5
② 紙のチラシやダイレクトメールを削減し、web チラシを充実	1	2	3	4	5
③ リサイクル型商品、詰替用商品、古紙利用商品の充実	1	2	3	4	5
④ 紙パック、空き缶、空きびん、トレイなどの店頭回収	1	2	3	4	5
⑤ 地域の集団回収への協力（回収場所の提供、参加など）	1	2	3	4	5
⑥ 仕入時の梱包資材のリサイクル（ダンボール、発泡スチロール）	1	2	3	4	5
⑦ 消費期限・賞味期限が近づいている商品の値引き販売	1	2	3	4	5
⑧ 修理サービスの充実	1	2	3	4	5
⑨ 消費者への啓発	1	2	3	4	5
⑩ その他（具体的に	1	2	3	4	5

問４－３ 貴事業所でごみ減量化を行う場合、問題となることは何ですか。〔〇は２つまで〕

１．回収（再資源化）業者をどのように選べばよいかわからない ２．適切な処理方法がわからないごみがある（具体的に ３．ごみを分別するのに手間がかかる ４．ごみ・資源の保管スペースがとれない ５．ごみ・資源の収集や処理、リサイクル等のコストが高くて困っている ６．ごみ処理や資源化について、質問・相談先がわからない ７．従業員にごみの減量・資源化に関する意識が定着しない ８．問題はない ９．その他(具体的に	))
--	--------------------------------

5. 食品ロスの削減への取組について

食品関係製造業、食料品卸売・小売業、飲食店の方のみご回答ください。

問5-1 「食品ロス」とは、本来は食べられるのに廃棄されてしまう食品のことをいいます。現在、わが国の食品ロスの量は年間 500 万トン以上にのぼり、そのうちの半数以上は、食品製造業、食品卸売・小売業、外食産業などの事業所から発生しています。

貴事業所は、食品ロスの問題についてご存じですか。 【〇は1つ】

- 1. よく知っている
- 2. ある程度知っている
- 3. あまり知らない
- 4. 全く知らない

問5-2 貴事業所の経営において、食品ロスの削減はどの程度重要な課題ですか。

【〇は1つ】

- 1. 非常に重要である
- 2. 重要である
- 3. どちらともいえない
- 4. あまり重要でない
- 5. 全く重要でない

問5-3 貴事業所で発生する食品ロスの発生要因として、多いものに〇をつけてください。【〇は3つまで】

- 1. 商品・原材料の仕入れ時や保管中の破損等
- 2. 見込み違い等による仕入れ過剰
- 3. 食品調理時に発生する端材
- 4. 食べ残し
- 5. 製造不良・調理ミス・試作ロス
- 6. 納品・販売期限切れによる売れ残り
- 7. 納品期限切れによる返品
- 8. 商品入替（季節品、販売終了等）に伴う余剰在庫、返品
- 9. その他（)

問 5-4 貴事業所では、食品ロス削減のため、以下の項目を実施していますか。〔○は①～⑮の項目ごと番号に1つ〕

	既に実施している	今後実施の予定	行っていない	該当しない
① 食品ロスの削減目標の設定	1	2	3	4
② 食品ロス削減に関する従業員教育	1	2	3	4
③ 食品ロス発生量の継続的な把握	1	2	3	4
④ 発注・生産計画に基づく予測精度の改善	1	2	3	4
⑤ 商品や原材料の保管状況の改善、容器の改善	1	2	3	4
⑥ 自社で発生する規格外品の活用	1	2	3	4
⑦ 取引先との調整（納品期限の緩和等）	1	2	3	4
⑧ 小容量販売（ばら売り、小分け、小盛り等）の導入	1	2	3	4
⑨ 商品の売り切りのための値引き・ポイント付与	1	2	3	4
⑩ 飲食店等での料理の持ち帰り希望への対応	1	2	3	4
⑪ フードシェアリングサービス ^{注1)} の充実	1	2	3	4
⑫ フードバンク活動への協力（食品提供など）	1	2	3	4
⑬ 食品ロスになりそうな商品の社内販売	1	2	3	4
⑭ 食品ロスに関する消費者啓発（食べ切り、手前どり、3010 運動等）	1	2	3	4
⑮ その他に行っている取組（ ）				

注 1) フードシェアリングサービス：食品ロスの削減をテーマに、協力店と市民をマッチングする仕組み。

6. その他のご意見について

問 6 その他、ごみ減量や資源のリサイクル、食品ロスの削減に関するご意見、ご要望を自由に
記入ください。

[illegible]

ご協力ありがとうございました。